

WN-G300R2

画面で見るマニュアル

■ 初期設定

導入方法

Step1 設置する 11 ページ

Step2 無線LANの接続設定をする ... 12 ページ

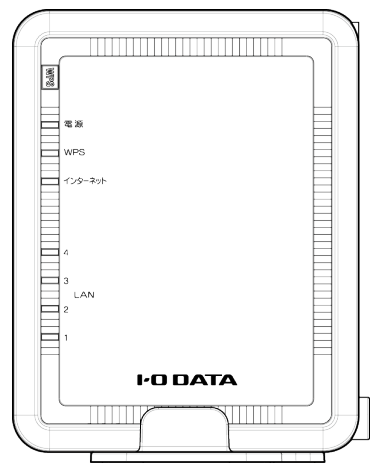
Step3 インターネットに接続する ... 56 ページ

■ よくある質問

設定画面の開き方 59 ページ

無線LANの設定を変更する場合
(SSID、暗号化設定の変更) 68 ページ

困ったときには 101 ページ



もくじ

安全のために	5
安全のために	6
使用上のご注意	8
導入方法	10
Step1 設置する	11
Step2 無線LANの接続設定をする	12
パソコンを接続する場合	13
パソコン内蔵の無線LAN子機を接続する場合	13
Windows 8の場合	13
Windows 7の場合	16
Windows Vistaの場合	18
Windows XPの場合	20
Mac OSの場合	21
外付けの無線LAN子機を接続する場合	23
弊社製無線LAN子機の場合（WPS接続の場合）	23
他社製またはWPS非対応無線LAN子機の場合	24
有線LAN接続する場合	25
スマートフォン/タブレットを接続する場合	26
簡単設定アプリ「QRコネクト」で接続する場合（初心者向け）	26
iPhone/iPad/iPod touchの場合	26
Androidの場合	28
設定メニューで接続する場合	30
iPhone/iPad/iPod touchの場合	30
Androidの場合（WPS接続の場合）	31
Androidの場合（アクセスポイントを検索して接続する場合）	33
NFCアプリ「NFCコネクト」で接続する場合（初心者向け）	34
ゲーム機を接続する場合	36
ニンテンドー3DSの場合	36
ニンテンドーDSiの場合（WPS接続の場合）	39
ニンテンドーDSiの場合（アクセスポイントを検索して設定）	41
ニンテンドーDS Lite/ニンテンドーDSの場合	42

Wiiの場合.....	44
PS Vitaの場合.....	47
PSPの場合.....	49
PS3の場合.....	51
Xbox 360の場合.....	53
Step3 インターネットに接続する	56
設定の変更/更新	58
設定画面の開き方	59
方法1：設定アプリ「Magical Finder」を利用して開く方法.....	60
Windowsの場合	60
Mac OSの場合	61
iPhone/iPad/iPod touchの場合.....	62
Androidの場合	63
方法2：IPアドレスを入力して開く方法.....	64
ルーターモード時.....	64
APモード時.....	64
アクセスポイントとして使用する方法（ルーター⇔APの切替方法）	65
APモードに切り替える方法	65
ルーターモードに切り替える方法	66
無線LANの設定を変更する場合(SSID、暗号化設定の変更)	68
無線LAN高速モードを使用する方法（帯域を40MHzに変更する方法） ...	72
ポートの開放手順	73
ECOモードの設定方法	75
ファームウェアのバージョンアップ方法	77
出荷時設定に戻す方法.....	79
初期化ボタンで戻す場合	79
設定画面で戻す場合	80
設定画面のリファレンス.....	81
ステータス	81

かんたん接続	82
インターネット	83
IPアドレス自動取得	83
IPアドレス固定設定	83
PPPoE認証	83
アクセスポイントモード	83
LAN設定	84
IPアドレス設定	84
DHCP	84
無線設定	85
基本設定.....	85
暗号化.....	85
詳細設定.....	87
フィルター	87
WPS.....	88
クライアントリスト	88
セキュリティ	89
パズスルー	89
DMZ.....	89
DoS	89
ECOモード	90
ECOモード	90
詳細設定	91
ポートの開放.....	91
UPnP	91
リダイレクト	91
ファミリースマイル	92
ファミリースマイル	92
URLフィルター	93
ブロックログ	93
システム	94
パスワード設定	94
時刻の設定	94
ログ	94
ファームウェア	94
バックアップ.....	95
初期化.....	95

仕様	96
各部の名前と機能	97
動作環境/仕様	98
動作環境	98
仕様	98
一般仕様	99
出荷時設定一覧.....	99
困ったときには	100
困ったときには	101
アフターサービスについて	117
お問い合わせについて	117
修理について.....	118
ハードウェア保証規定	119




安全のために

安全のために	6 ページ
使用上のご注意	8 ページ

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。


▼ 警告および注意表示

 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
 警告	この表示の注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。





▼ 絵記号の意味


	禁止
	指示を守る

危険


-  **本製品を修理・分解・改造しない**
火災や感電、やけど、故障の原因になります。


警告


-  **雷が鳴り出したら本製品や電源コードに触れない**
感電の原因になります。
-  **ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない**
火災・感電の原因になります。
 - ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
 - ・水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上には置かない。
 - ・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。
-  **本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない**
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。
-  **故障や異常のまま、通電しない**
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。

-  **煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する**

コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

-  **本製品を病院内で使用しない**
医療機器の誤動作の原因になることがあります。












-  **本製品を飛行機の中で使用しない**
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータから本製品を取り外してください。

-  **ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等の近くでは使用しない**



電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。飛行機の中ではコンピュータから本製品を取り外してください。

警告 (つづき)


電源 (ACアダプター・コード・プラグ) について

-  ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり火災の原因になります。
-  AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながらない
発熱、火災の恐れがあります。
-  電源コードやACアダプターにもものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線 (電気の流れるところ) が断線したり、ショートし、火災・感電の原因になります。
-  ゆるいコンセントにつながらない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して火災の原因になります。
-  電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、火災や感電の原因になります。
-  添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながらない
添付の電源コードおよびACアダプターは本製品専用です。他の機器につなぐと、火災や感電の原因になります。
-  コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、火災の原因になります。(トラッキング現象)
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。
-  煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
-  じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
火災の原因になります。
-  熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。
-  テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量 (「1500W」などの記載) を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、火災の原因になります。

注意

-  本製品を踏まない
破損し、ケガの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。
-  長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

電源 (ACアダプター・コード・プラグ) について

-  人が通行する場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- ・メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- ・コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

使用上のご注意

■ 以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。

- ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

■ 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。

携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■ 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

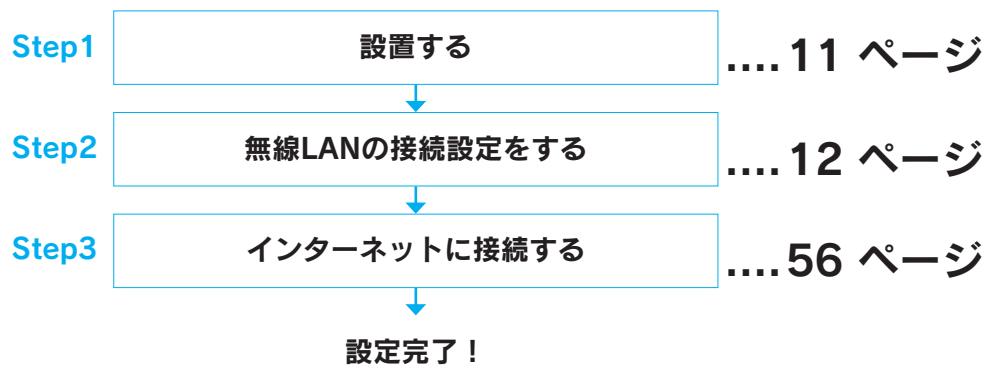
本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。

ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

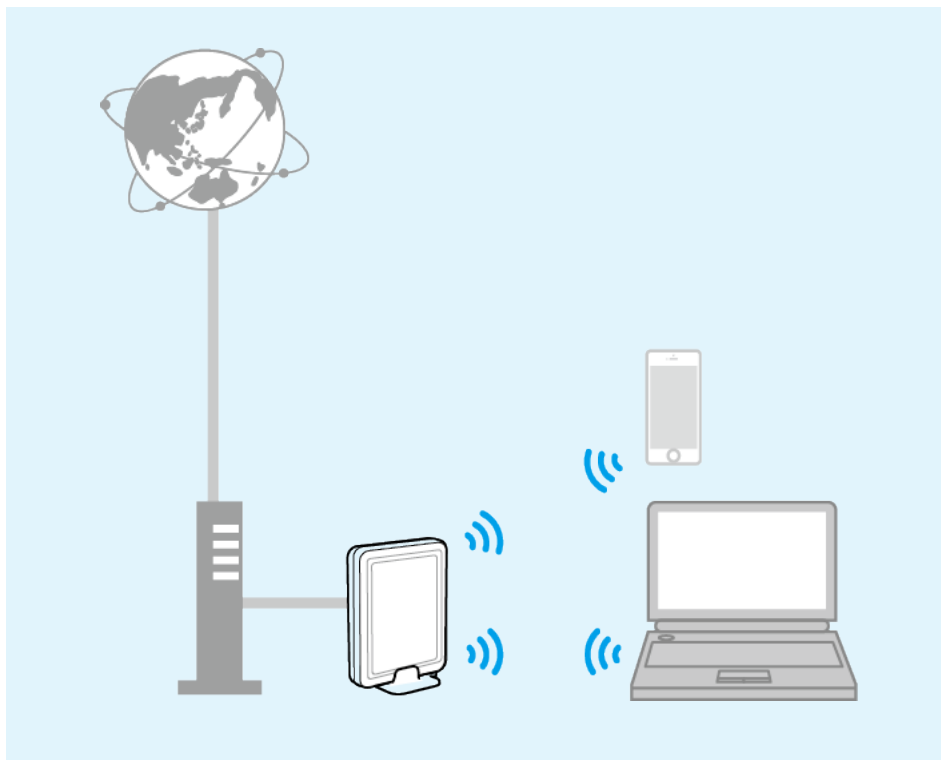
■ 本製品の電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5秒以上待ってから電源を入れてください。

■ IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11gで通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

導入方法



ご利用イメージ



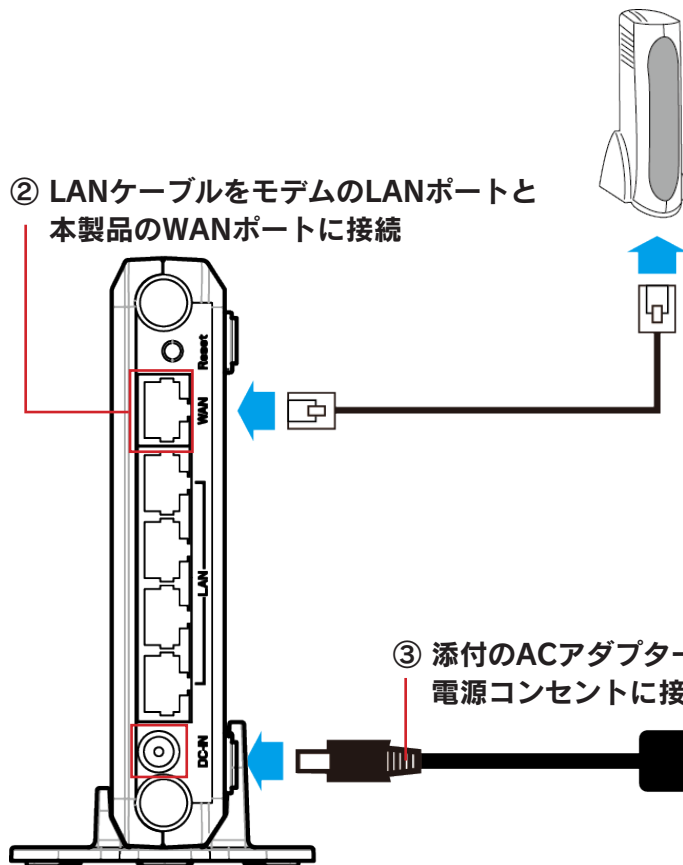
Step1 設置する

1

① モデムの電源を1分以上切り、電源を入れ直す

※ ご利用のモデムによっては 30 分以上電源を切る必要があります。

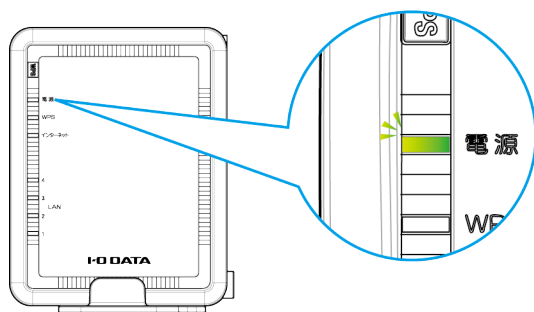
② LANケーブルをモデムのLANポートと本製品のWANポートに接続



③ 添付のACアダプターを本製品のDC INと電源コンセントに接続



2



電源ランプが緑点灯または点滅状態になっていることを確認

3

添付の「無線LAN設定情報カード」上に記載の [SSID1]、[暗号キー] を確認

※ [SSID1]、[暗号キー] は、【Step2 無線 LAN 接続設定をする】で設定時に必要です。



▼出荷時設定

SSID1	AirPortxxxxx
暗号キー	13桁の数字

※ "xxxxx" は機器により異なります。

※ 本製品裏面にも記載しています。

以上で本製品の設置は完了です。次に「Step2 無線LANの接続設定をする」12 ページへお進みください。

Step2 無線LANの接続設定をする

接続する無線LAN子機の手順をご覧ください。

パソコンを接続する場合

パソコン内蔵の無線LAN子機を接続する場合	13 ページ
Windows 8の場合	13 ページ
Windows 7の場合	16 ページ
Windows Vistaの場合	18 ページ
Windows XPの場合	20 ページ
Mac OSの場合	21 ページ
外付けの無線LAN子機を接続する場合	23 ページ
弊社製無線LAN子機の場合（WPS接続の場合）	23 ページ
他社製またはWPS非対応無線LAN子機の場合	24 ページ
有線LAN接続する場合	25 ページ

スマートフォン/タブレットを接続する場合

簡単設定アプリ「QRコネクト」で接続する場合（初心者向け）	26 ページ
iPhone/iPad/iPod touchの場合	26 ページ
Androidの場合	28 ページ
設定メニューで接続する場合	30 ページ
iPhone/iPad/iPod touchの場合	30 ページ
Androidの場合（WPS接続の場合）	31 ページ
Androidの場合（アクセスポイントを検索して接続する場合）	33 ページ
NFCアプリ「NFCコネクト」で接続する場合（初心者向け）	34 ページ

ゲーム機を接続する場合

ニンテンドー3DSの場合	36 ページ
ニンテンドーDSiの場合（WPS接続の場合）	39 ページ
ニンテンドーDSiの場合（アクセスポイントを検索して設定）	41 ページ
ニンテンドーDS Lite/ニンテンドーDSの場合	42 ページ
Wiiの場合	44 ページ
PS Vitaの場合	47 ページ
PSPの場合	49 ページ
PS3の場合	51 ページ
Xbox 360の場合	53 ページ

パソコンを接続する場合

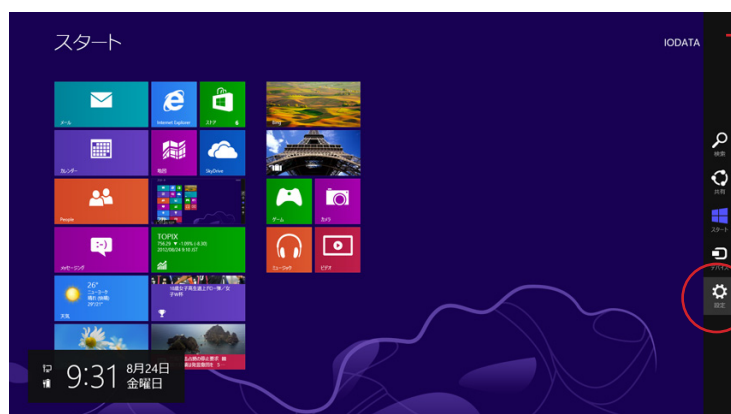
パソコン内蔵の無線LAN子機を接続する場合

Windows 8の場合

ヒント パソコンに内蔵の無線LAN用のスイッチがある場合は、スイッチをオンにしてください



1 ①マウスを画面の右上にかざして、チャームバーを表示



② [設定] をクリック

2 無線のアイコンをクリック



3 ネットワーク

機内モード

わ

Wi-Fi

自動的に接続する

接続(C)

① [AirPortxxxx]を選択

※ "xxxx" は機器により異なります。

※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

② [接続] をクリック

4

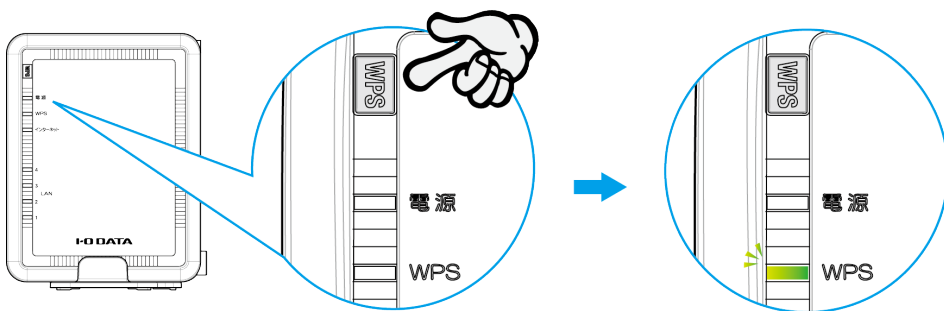


① 「ルーターのボタンを押しても接続できます。」のメッセージを確認

② 本製品のWPSボタンを長押し（約3秒間）

③ WPSランプが緑色に点滅したら離します

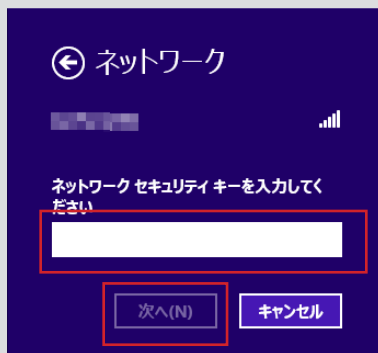
※ WPS ランプは約 5 分後に消灯しますが正常です。



Q & A

「ルーターのボタンを押しても接続できます」のメッセージが表示されない場合

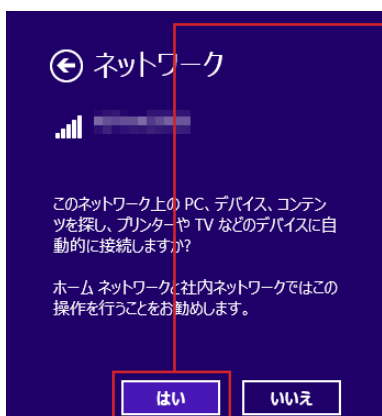
本製品添付の「無線LAN設定情報カード」に記載している暗号キー（13桁）を入力し、「次へ」をクリックしてください。



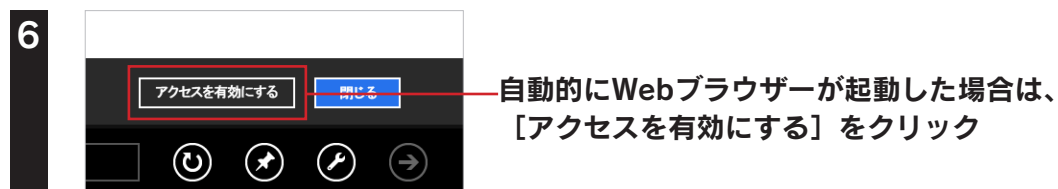
※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。

※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機で合わせる必要があります。

5



「このネットワーク上のPC、デバイス、コンテンツを探し、…接続しますか？」の画面または「PCの共有をオンにしてこのネットワークのデバイスに接続しますか？」の画面が表示された場合は、「はい」をクリック



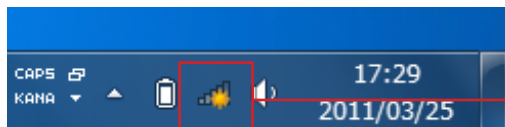
以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

Windows 7の場合

ヒント パソコンに内蔵の無線LAN用のスイッチがある場合は、スイッチをオンにしてください



1

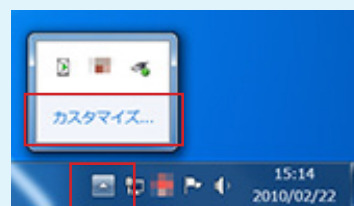


画面右下のタスクトレイにある「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」をクリック

ヒント

タスクトレイに「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」が表示されていない場合は、以下の手順でアイコンを表示してください。

- ① タスクトレイにある三角形のアイコンをクリックします。
- ② [カスタマイズ...] をクリックします。
- ③ [タスクバーに全ての通知と設定を表示する] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。



2

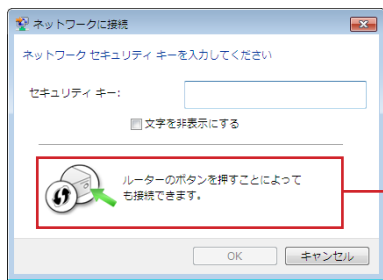


① [AirPortxxxxx]を選択

- ※ “xxxxx” は機器により異なります。
- ※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

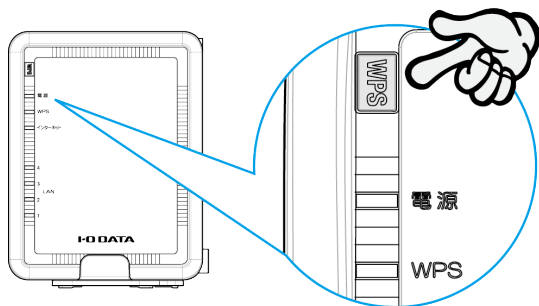
② [接続] をクリック

3



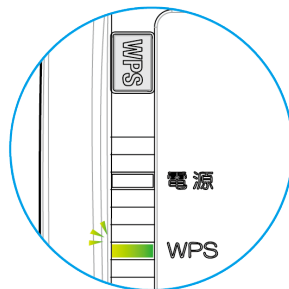
① 「ルーターのボタンを押すことによっても接続できます。」 のメッセージを確認

② 本製品のWPSボタンを長押し (約3秒間)



③ WPSランプが緑色に点滅したら離します

※ WPS ランプは約 5 分後に消灯しますが正常です。

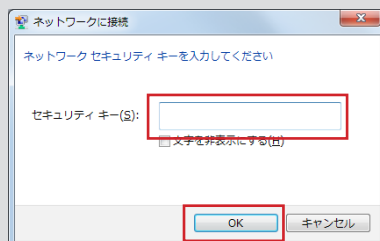


⇒しばらくお待ちください。
設定が完了すると自動的に画面が消えます。

Q & A

設定が完了しない場合、または「ルーターのボタンを押すことによっても接続できます。」のメッセージが表示されない場合

[セキュリティキー] に本製品添付の「無線LAN設定情報カード」に記載の [暗号キー] (13桁) を入力し、[OK] をクリックしてください。



※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。
※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機で合わせる必要があります。

手順3の画面が消えたら、以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

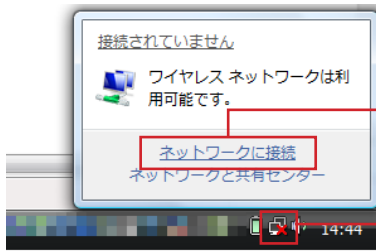
Windows Vistaの場合

ヒント

パソコンに内蔵の無線LAN用のスイッチがある場合は、スイッチをオンにしてください



1



② [ネットワークに接続] をクリック

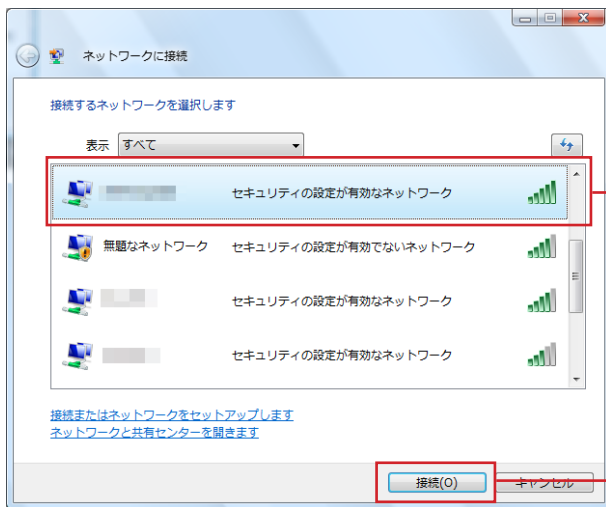
① 画面右下のタスクトレイある

[ワイヤレスネットワーク接続アイコン]



をクリック

2



① [AirPortxxxxx] を選択

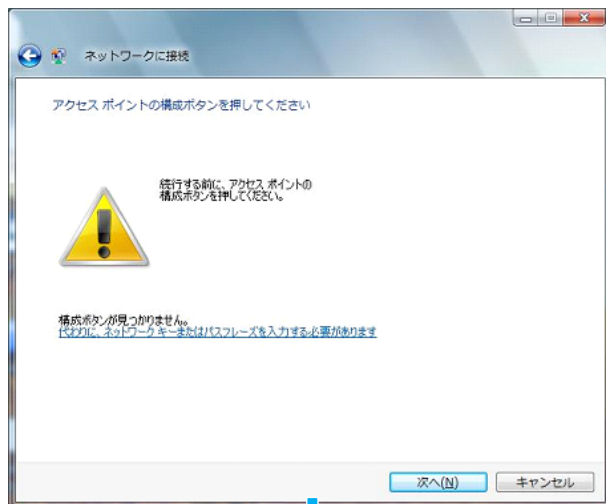
※ "xxxxx" は機器により異なります。

※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

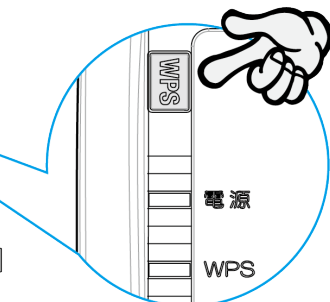
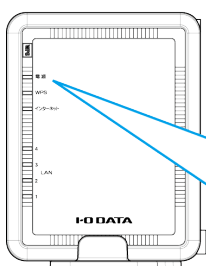
② [接続] をクリック

3

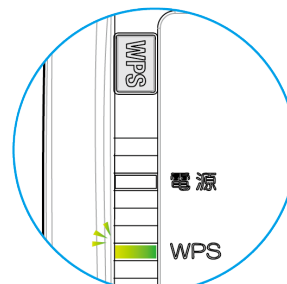
①以下の画面が表示されたことを確認



②本製品のWPSボタンを長押し（約3秒間）



③WPSランプが緑色に点滅したら離します



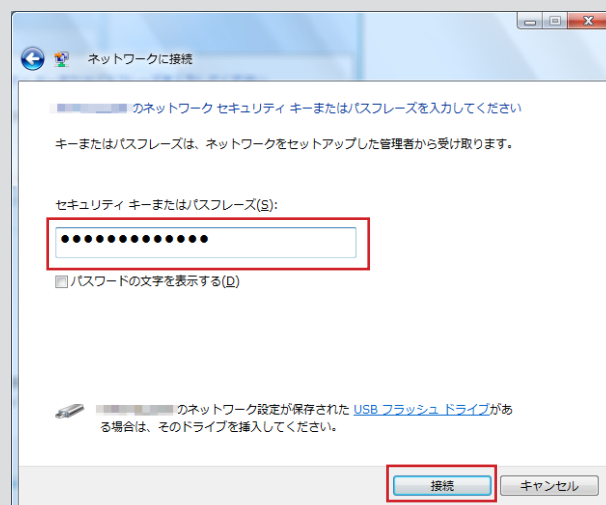
※ WPS ランプは約 5 分後に消灯しますが正常です。

⇒しばらくお待ちください。
設定が完了すると自動的に画面が消えます。

Q
&
A**設定が完了しない場合、または無線LAN子機がWPSに対応していない場合**

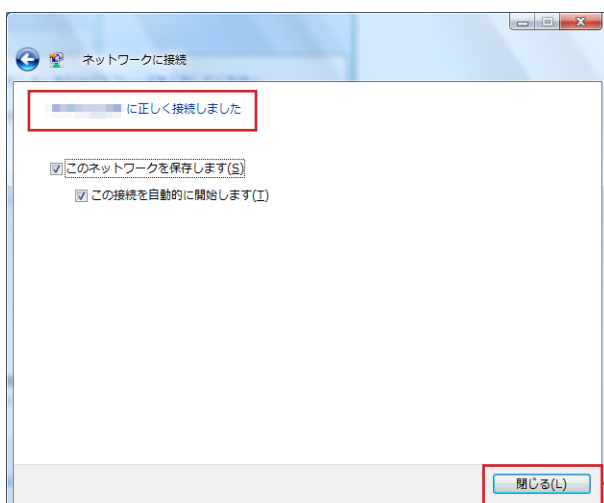
【セキュリティキー】に本製品添付の「無線LAN設定情報カード」に記載の【暗号キー】（13桁）を入力し、【接続】をクリックしてください。

※ 設定が完了しない場合は、【代わりに、ネットワークキーまたは…】をクリックすると以下の画面が表示されます。



- ※ 暗号キーは【*】や【●】で表示される場合があります。
- ※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機であわせる必要があります。

4

【正常に接続しました】を表示されたら、【閉じる】をクリック

手順4の画面が消えたら、以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

Windows XPの場合

ヒント

パソコンに内蔵の無線LAN用のスイッチがある場合は、スイッチをオンにしてください

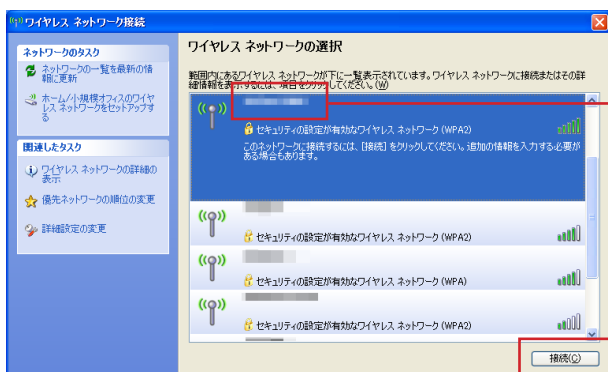


1



画面右下のタスクトレイにある「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」をクリック

2



① [AirPortxxxxx]を選択

※ “xxxxx” は機器により異なります。

※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

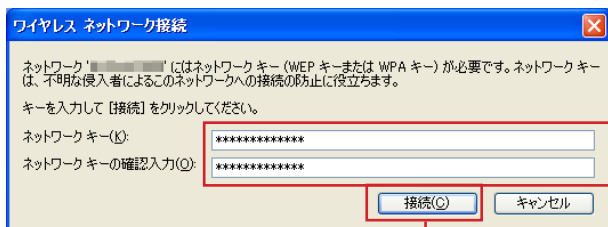
② [接続] をクリック

Q & A

「このワイヤレス接続を構成できません」と表示された場合

弊社製無線LAN設定ユーティリティ「クイックコネクトNEO」等や、パソコンメーカー側で独自の無線LANユーティリティがインストールされている可能性があります。この場合はユーティリティを削除してから、再度お試しください。

3



① [ネットワークキー] と「ネットワークキーの確認入力」欄に本製品の「暗号キー」（13桁）を入力

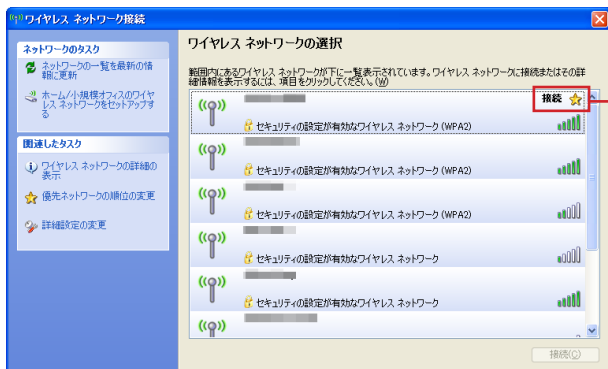
※ 暗号キーは、本製品裏面のシールに記載しています。

※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。

※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機とあわせる必要があります。

② [接続] をクリック

4



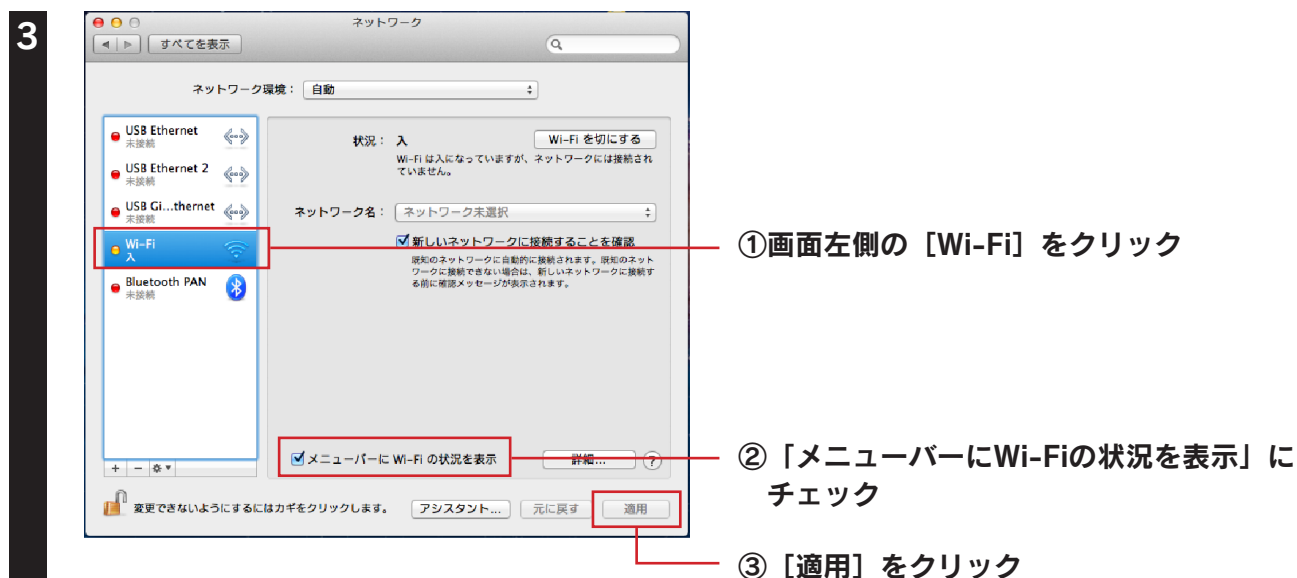
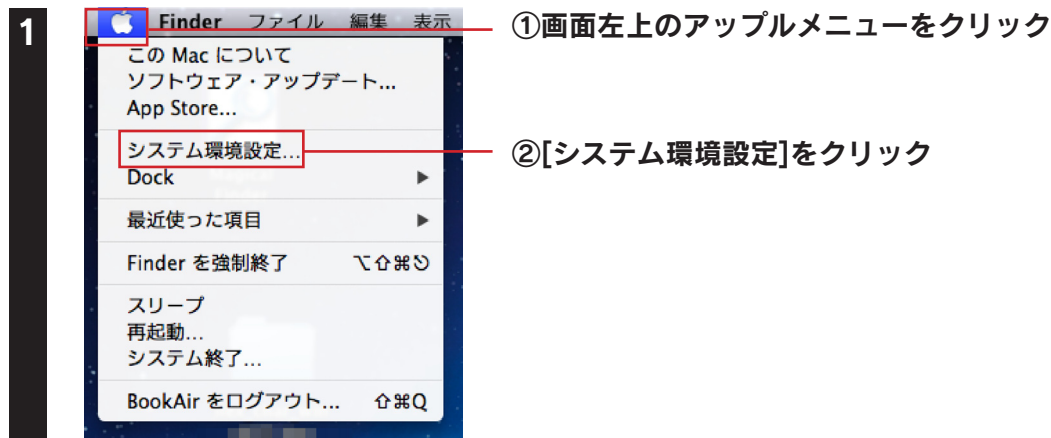
手順2で選択したSSIDに「接続☆」と表示されていることを確認

以上で無線LANの接続設定は完了です。

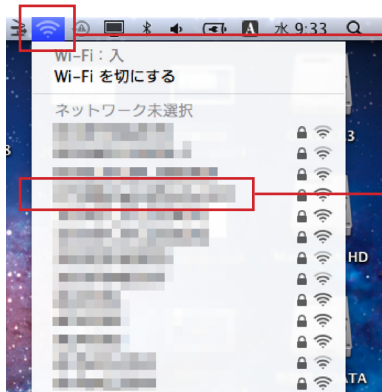
次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

Mac OSの場合

※ 画面例：Mac OS 10.9



4



①メニューバーに表示されているWi-Fiアイコンをクリック

② [AirPortxxxxx] を選択

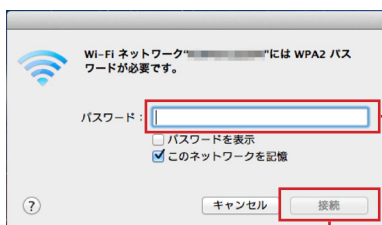
- ※ “xxxxx” は機器により異なります。
- ※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

Q
& A

アイコンが [切] の状態になっている場合

[Wi-Fiを入にする] を選び、有効にします。

5



①本製品の [暗号キー] (13桁) を入力

- ※ 暗号キーは、本製品裏面のシールに記載しています。
- ※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。
- ※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機であわせる必要があります。

② [OK] をクリック

以上で無線LANの接続設定は完了です。

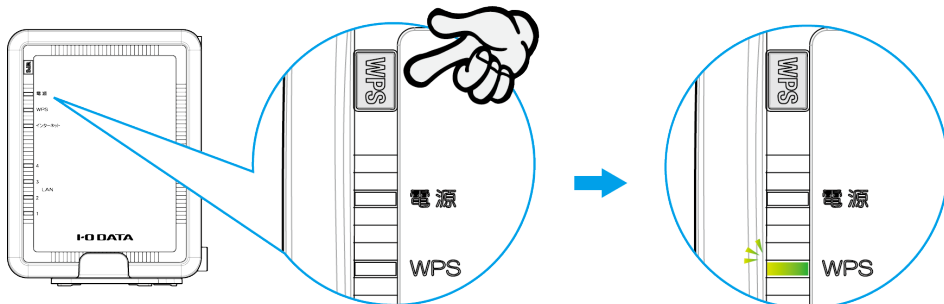
次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

外付けの無線LAN子機を接続する場合

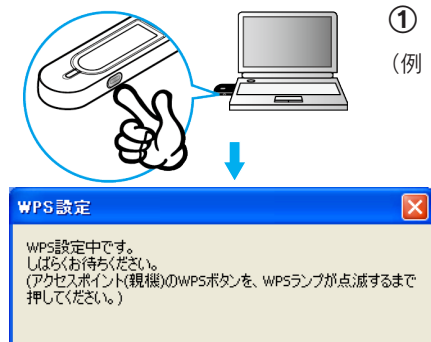
弊社製無線LAN子機の場合（WPS接続の場合）

1 無線LAN子機のドライバやユーティリティソフトをインストールします。
 ※ 詳しくは無線LAN子機の取扱説明書をご覧ください。

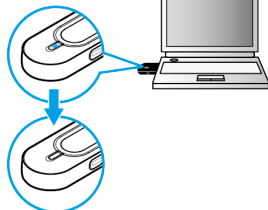
2 ①本製品のWPSボタンを長押し（約3秒間）
 ②WPSランプが緑色に点滅したら離します
 ※ WPSランプは約5分後に消灯しますが正常です。



3 ①「WPS設定中です」の画面が表示されるまで子機のWPSボタンを押す
 （例：弊社製 WN-AG300U の場合）



②WPSボタンから手を離し、子機のWPSランプが消えるまで待つ



手順3の画面が消えたら、以上で無線LANの接続設定は完了です。
 次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

Q&A WPSボタンで接続ができない場合

パソコン内蔵の無線LAN子機に接続する場合と同じ手順でお試してください。

- ▶ Windows 8の場合 13 ページ
- ▶ Windows 7の場合 16 ページ
- ▶ Windows Vistaの場合 18 ページ
- ▶ Windows XPの場合 20 ページ
- ▶ Mac OS Xの場合 21 ページ

他社製またはWPS非対応無線LAN子機の場合

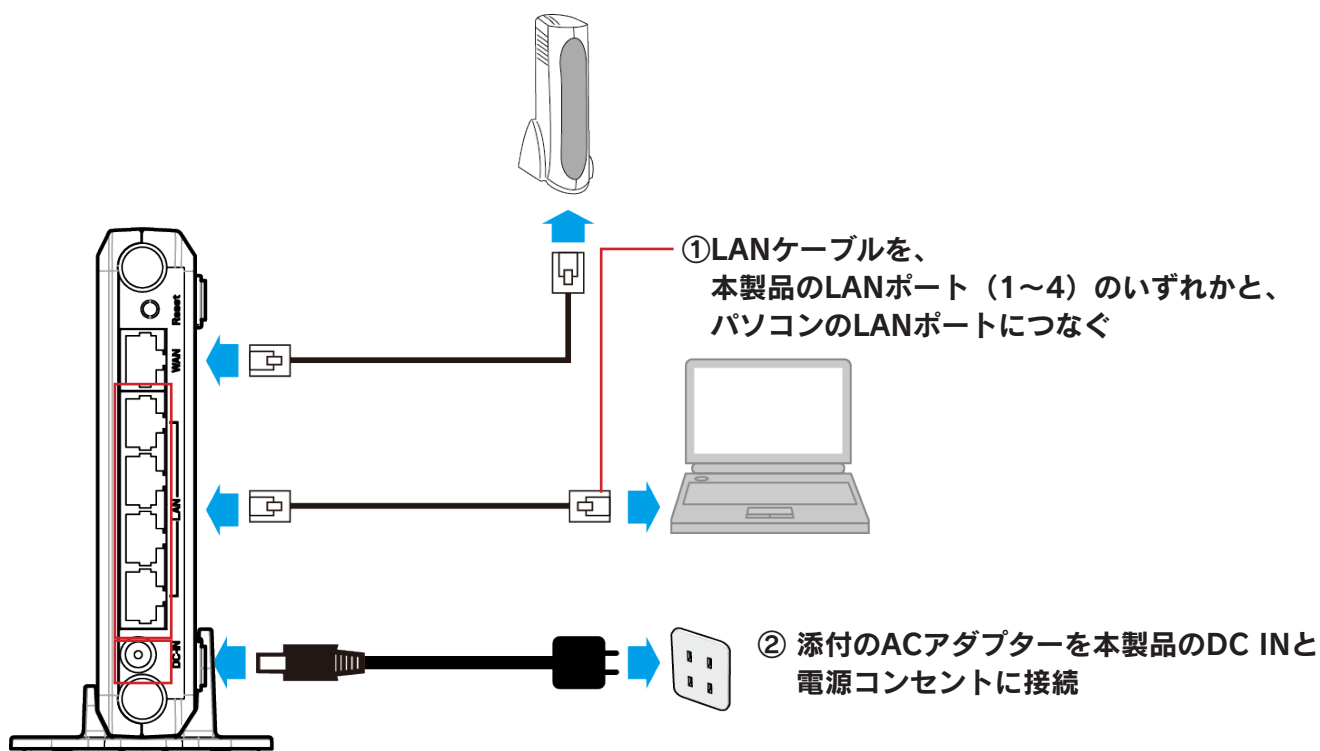
1 無線LAN子機のドライバやユーティリティソフトをインストールします。
※詳しくは無線 LAN 子機の取扱説明書をご覧ください。

2 本製品への無線LAN接続設定をします。
※詳しくは無線 LAN 子機の取扱説明書をご覧ください。
本製品の SSID と暗号キーの出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

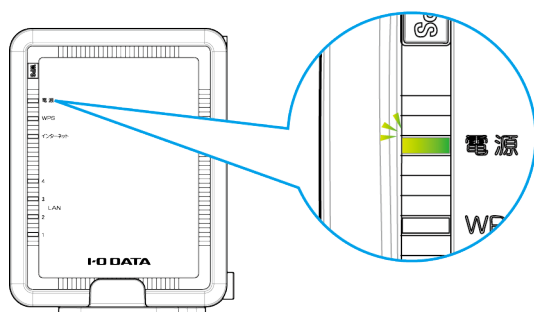
以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

有線LAN接続する場合

1



2



電源ランプが緑点灯または点滅状態になっていることを確認

以上で、接続は完了です。

スマートフォン/タブレットを接続する場合

簡単設定アプリ「QRコネクト」で接続する場合（初心者向け）

簡単設定アプリ『QRコネクト』（無料）をインストールし、設定します。

iPhone/iPad/iPod touchの場合

ヒント

【動作環境】iOS 4.0以降かつカメラ付きモデル



1 [AppStore] を開く

2 [QRコネクト] を検索し、インストール
⇒画面の指示にしたがってインストール

Q
&
A

AppStoreに接続できない場合

「設定メニューで接続する場合」「iPhone/iPad/iPod touchの場合」30 ページの手順で接続してください。

3 ホーム画面に戻り、インストールした [QRコネクト] アイコンをタップ

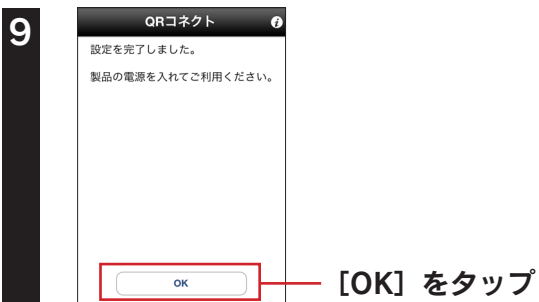
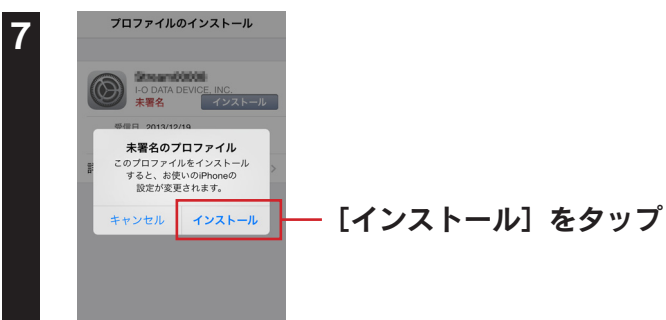
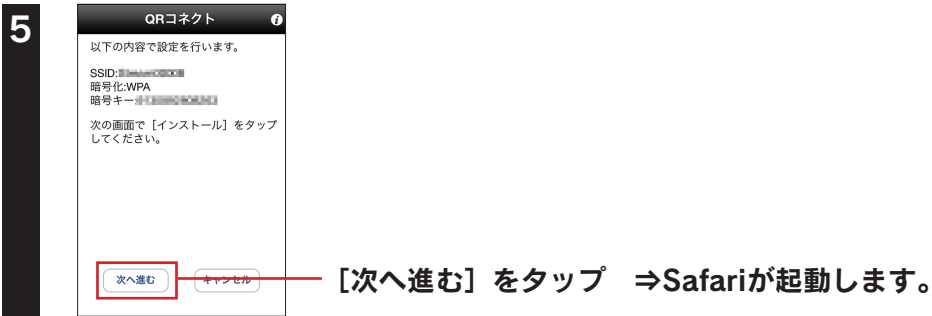


4 ① [読み取り開始] をタップ



② 添付の「無線LAN設定情報カード」に記載のQRコードを読み取り範囲内にかざす





以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

Androidの場合



ヒント 【動作環境】
Android 2.2以降（オートフォーカス機能のあるカメラを搭載した端末推奨）

1 Playストア(Google Play)またはAndroidマーケットを開く

2 【QRコネクト】を検索し、インストール
⇒画面の指示にしたがってインストール

Q & A Playストア（Google Play）またはAndroidマーケットに接続できない場合
「設定メニューで接続する場合」「Androidの場合（アクセスポイントを検索して接続する場合）」33 ページ
の手順で接続してください。

3 ホーム画面に戻り、インストールした【QRコネクト】アイコンをタップ



4 ① 【読み取り開始】をタップ



② 添付の「無線LAN設定情報カード」に記載のQRコードを読み取り範囲内にかざす



5 以下の内容で設定を行います。
SSID : AirPortxxxx
[OK] をタップ





以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

設定メニューで接続する場合

iPhone/iPad/iPod touchの場合

- 1**



ホーム画面から「設定」をタップ
- 2**



「Wi-Fi」をタップ
- 3**



① 「Wi-Fi」が「オフ」になっている場合は、「オン」にする

② 「AirPortxxxxx」をタップ

※ “xxxxx” は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。
- 4**



① 本製品の暗号キー（13桁）を入力

※ 暗号キーは、本製品裏面のシールに記載しています。
 ※ 暗号キーは「*」や「●」で表示される場合があります。
 ※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機で合わせる必要があります。

② 「JOIN」をタップ
- 5**



本製品のSSIDにチェックがついていることを確認

以上で無線LANの接続設定は完了です。

次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

Androidの場合（WPS接続の場合）

※ 以下は例です。ご利用の Android 端末により画面は異なります。

1 ホーム画面から [MENU] → [無線ネットワーク] → [Wi-Fi設定] の順にタップ



2 [Wi-Fi] にチェック



3 [WPSボタン接続] をタップ



ヒント

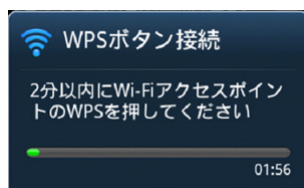
[WPSボタン接続] ではなく、[Wi-Fiカンタン登録] という項目になっている機種もあります



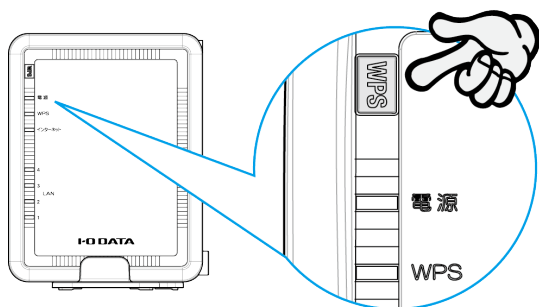
[Wi-Fiカンタン登録] の場合は、[Wi-Fiカンタン登録] をタップした後、[WPS方式] をタップします。

4

①以下の画面が表示されたことを確認

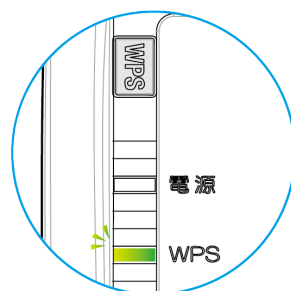


②本製品のWPSボタンを長押し
(約3秒間)



③WPSランプが緑色に点滅したら離します

※ WPS ランプは約 5 分後に消灯しますが正常です。



⇒しばらくお待ちください。

設定が完了すると自動的に画面が消えます。

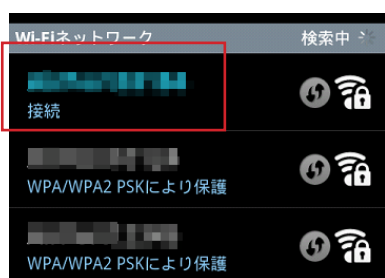
Q & A

設定が完了しない場合

しばらく待っても画面が消えない場合は、「Androidの場合（アクセスポイントを検索して接続する場合）」33 ページの手順で接続してください。

5

本製品のSSIDの下に「接続」の文字が表示されていることを確認



※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

以上で無線LANの接続設定は完了です。

次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

Androidの場合（アクセスポイントを検索して接続する場合）

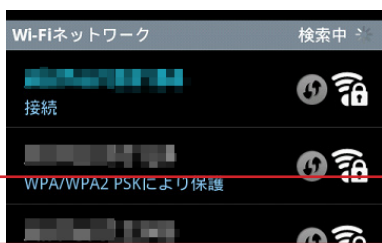
1 ホーム画面から [MENU] → [無線ネットワーク] → [Wi-Fi設定] の順にタップ



2 [Wi-Fi] にチェック

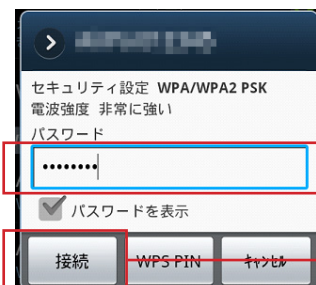


3 [AirPortxxxxx] をタップ



※ “xxxxx” は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

4 ①本製品の [暗号キー]（13桁）を入力



② [接続] をタップ

※ 暗号キーは、本製品裏面のシールに記載しています。
 ※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。
 ※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機であわせる必要があります。

5 本製品のSSIDの下に「接続」の文字が表示されていることを確認



以上で無線LANの接続設定は完了です。

次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

NFCアプリ「NFCコネクト」で接続する場合（初心者向け）



ヒント

【動作環境】

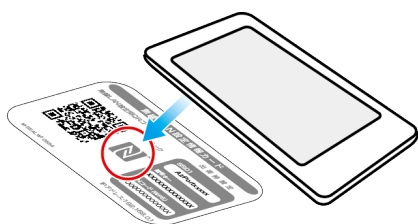
対応機種：NFC機能搭載Android端末

対応OS：Android 4.1～4.2

1 Playストア(Google Play)を開く

2 「NFCコネクト」を検索し、インストール ⇒画面の指示にしたがってインストール

3 Android端末を本製品の裏面のNマークにかざす

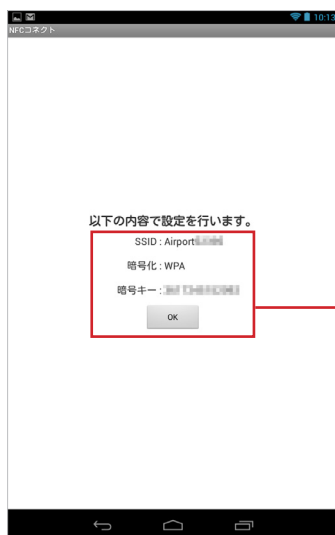


Q
&
A

アプリの選択画面が表示された場合

「NFCコネクト」の他にもNFCアプリがインストールされている場合、アプリの選択画面が表示されます。
「NFCコネクト」をタップしてください。

4



画面に表示された無線LANの設定を確認し、[OK]をタップ

Q
&
A

上記画面が表示されない場合

- Android端末に付けているケースを外し、本製品の裏面にかざしてみてください。
- Android端末を本製品裏面にゆっくりと動かしながらかざしてみてください。
- メインメニューから「NFCコネクト」アイコンをタップして起動してから、Android端末にかざしてください。
- Android端末のNFC機能が有効になっているか確認してください。
(確認方法についてはAndroid端末の取扱説明書参照)



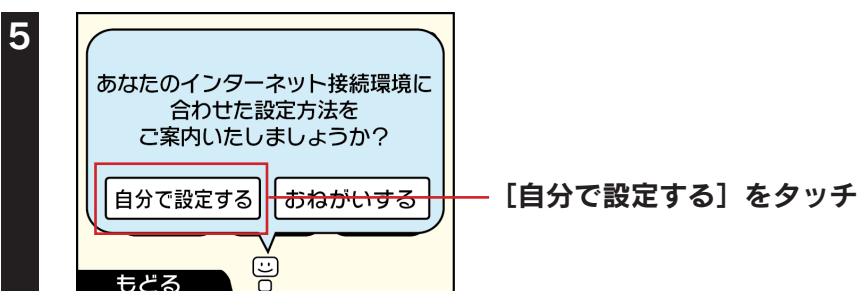
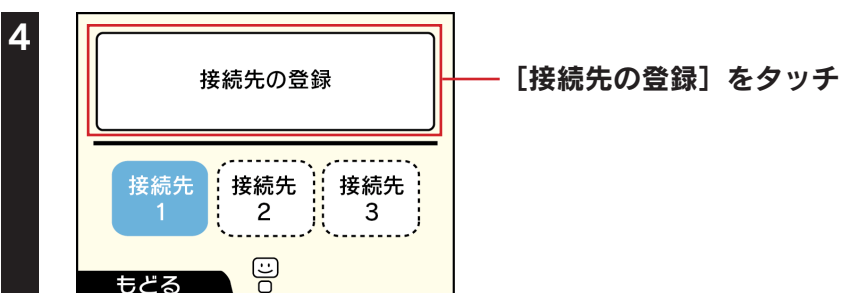
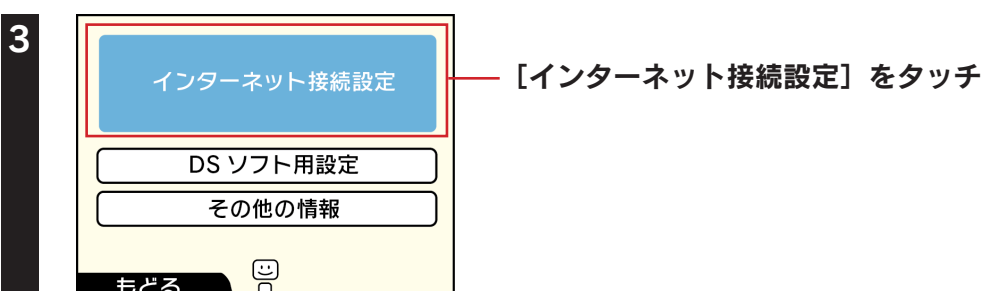
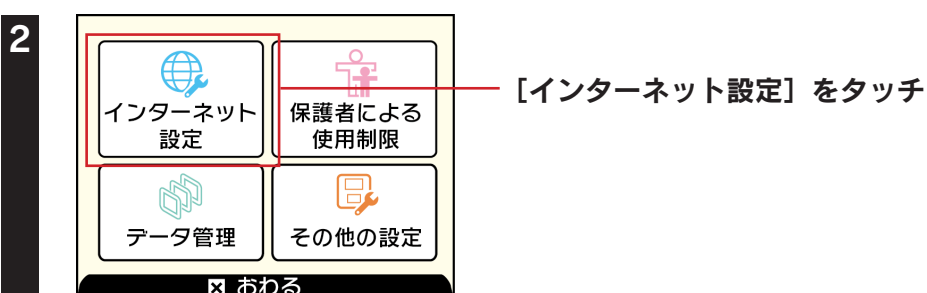
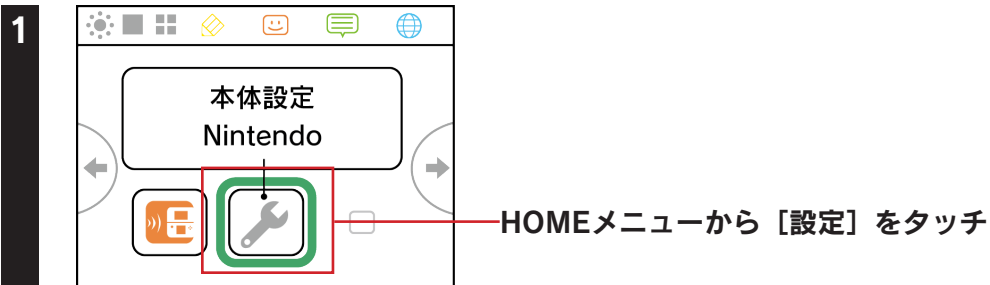
以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」56 ページへお進みください。

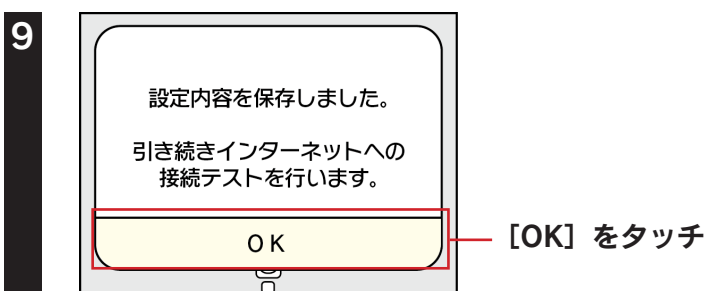
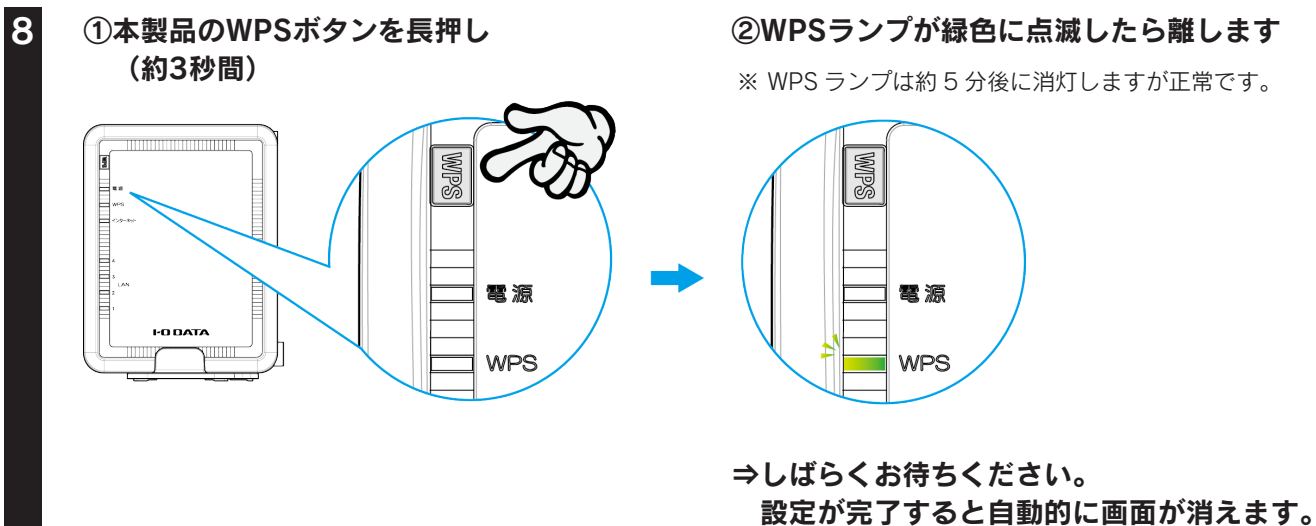
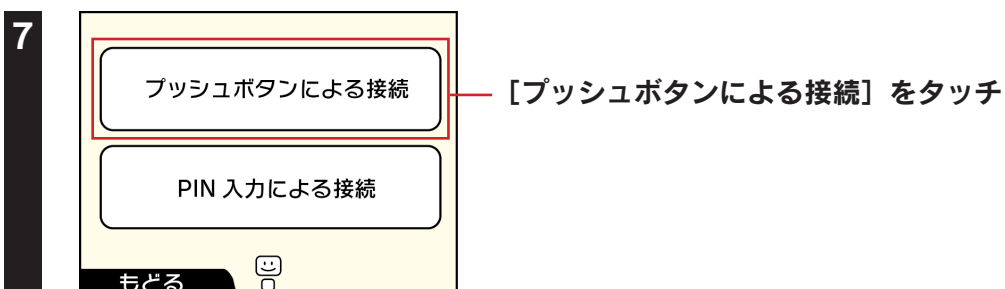
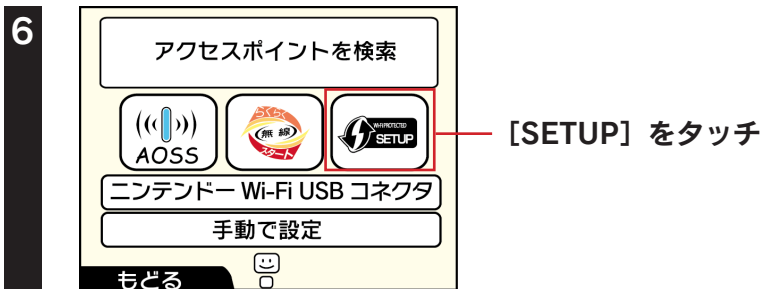
Q
&
A

Playストア（Google Play）に接続できない場合、またはNFCコネクトで本製品と接続できない場合
「Androidの場合（アクセスポイントを検索して接続する場合）」33 ページの手順で接続してください。

ゲーム機を接続する場合

ニンテンドー3DSの場合





インターネットへの接続テストが始まります。接続テストに成功したら設定は終了です。
インターネットをお楽しみください。

接続できない場合（アクセスポイントを検索して設定する方法）

以下の手順で接続してください。

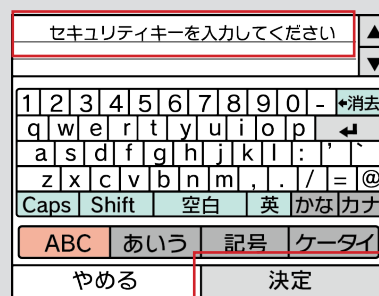
- ① 36 ページ手順1～5の操作をします。
- ② [アクセスポイントを検索] をタッチします。



- ③ [AirPortxxxxx] をタッチします。
 ※ “xxxxx” は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。



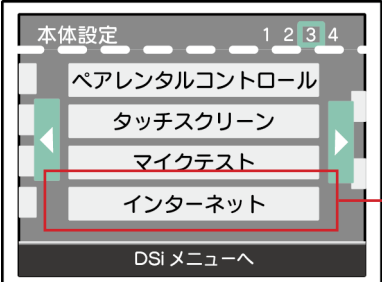
- ④ 暗号キーを入力する画面が表示されます。
 本製品裏面のシールに記載の暗号キー（13桁）を入力し、
 [決定]ボタンをタッチします。



- ⑤ [OK] をタッチします。
 - ⑥ [OK] をタッチします。
- インターネットへの接続テストが始まります。
 接続テストに成功したら設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

ニンテンドーDSiの場合（WPS接続の場合）

1



本体設定 1 2 3 4

ペアレンタルコントロール

タッチスクリーン

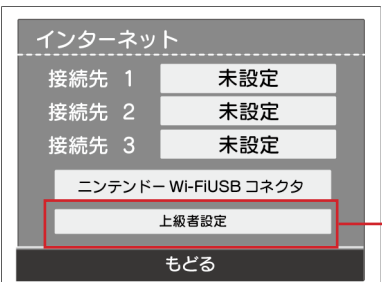
マイクテスト

インターネット

DSiメニューへ

[はじめる]（本体設定）から [インターネット] をタッチ

2



インターネット

接続先 1 未設定

接続先 2 未設定

接続先 3 未設定

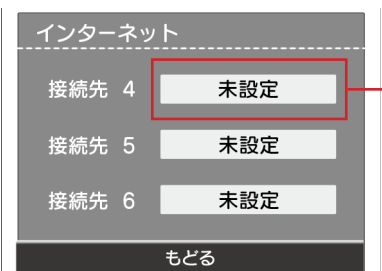
ニンテンドーWi-FiUSBコネクタ

上級者設定

もどる

[上級者設定] をタッチ

3



インターネット

接続先 4 未設定


接続先 5 未設定

接続先 6 未設定

もどる

接続先 4～6の中から「未設定」の一つをタッチ

4



接続先 4

アクセスポイントを検索

AOSS

WPS (Wi-Fi PROTECTED SETUP)

手動で設定

もどる

[WPS (Wi-Fi PROTECTED SETUP)] をタッチ

5



接続先 4

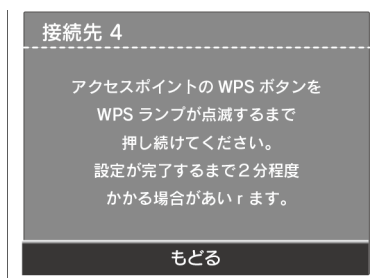
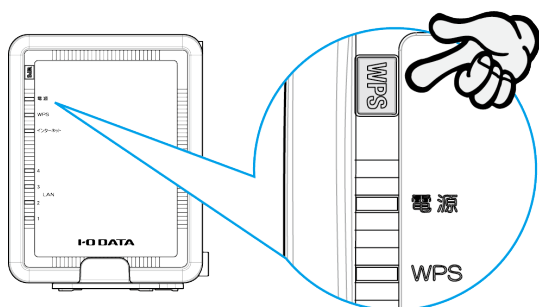
プッシュボタンによる接続

PIN入力による接続

もどる

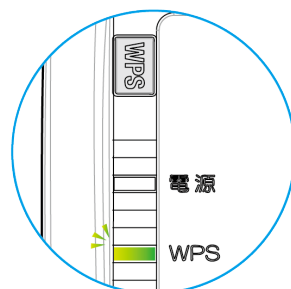
[プッシュボタンによる接続] をタッチ

6 ①以下の画面が表示されたことを確認

②本製品のWPSボタンを長押し
(約3秒間)

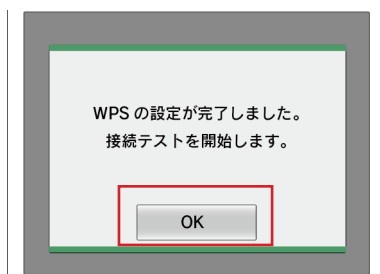
③WPSランプが緑色に点滅したら離します

※ WPS ランプは約 5 分後に消灯しますが正常です。



⇒しばらくお待ちください。
設定が完了すると自動的に画面が消えます。


7 「WPSの設定が完了しました。接続テストを開始します。」と表示されたら、[OK] をタッチ



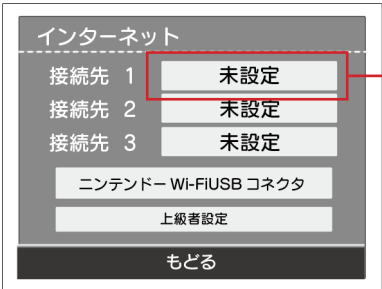
インターネットへの接続テストが始まります。接続テストに成功したら設定は終了です。
インターネットをお楽しみください。

ニンテンドーDSiの場合（アクセスポイントを検索して設定）


- 1**




[はじめる]（本体設定）から [インターネット] をタッチ
- 2**



接続先 1～3の中から「未設定」の一つをタッチ
- 3**



[アクセスポイントを検索]をタッチ
- 4**

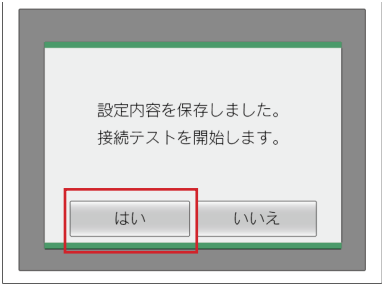


[Gamexxxx] をタッチ

※ “xxxxx” は機器により異なります。
 ※ SSID2 の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。
 ※ WEP 以外の暗号化での設定は可能です。
 ただし、通信対応ゲームなどで接続先として利用できません。
- 5**

本製品裏面に記載の暗号キー（13桁）を入力し、[決定] をタッチ
- 6**

「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」と表示されたら、[はい]をタッチ

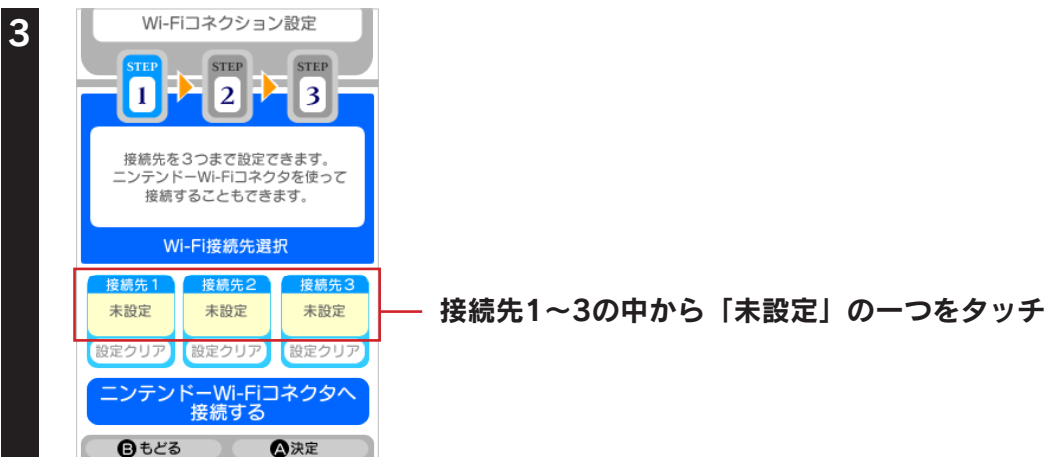
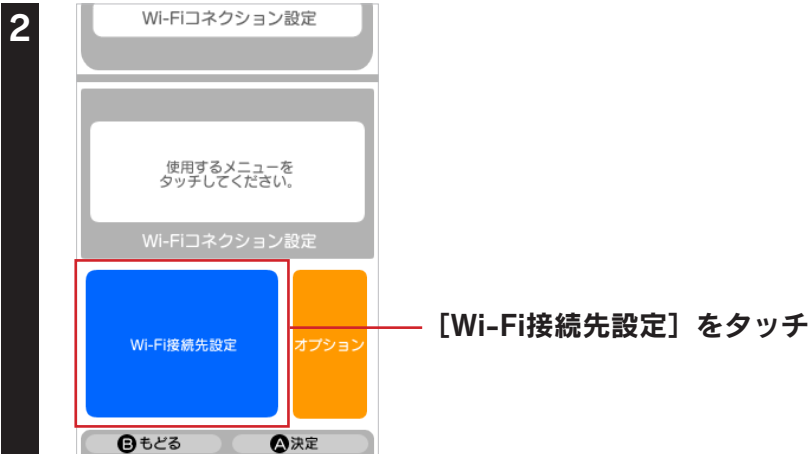


インターネットへの接続テストが始まります。接続テストに成功したら設定は終了です。
 インターネットをお楽しみください。

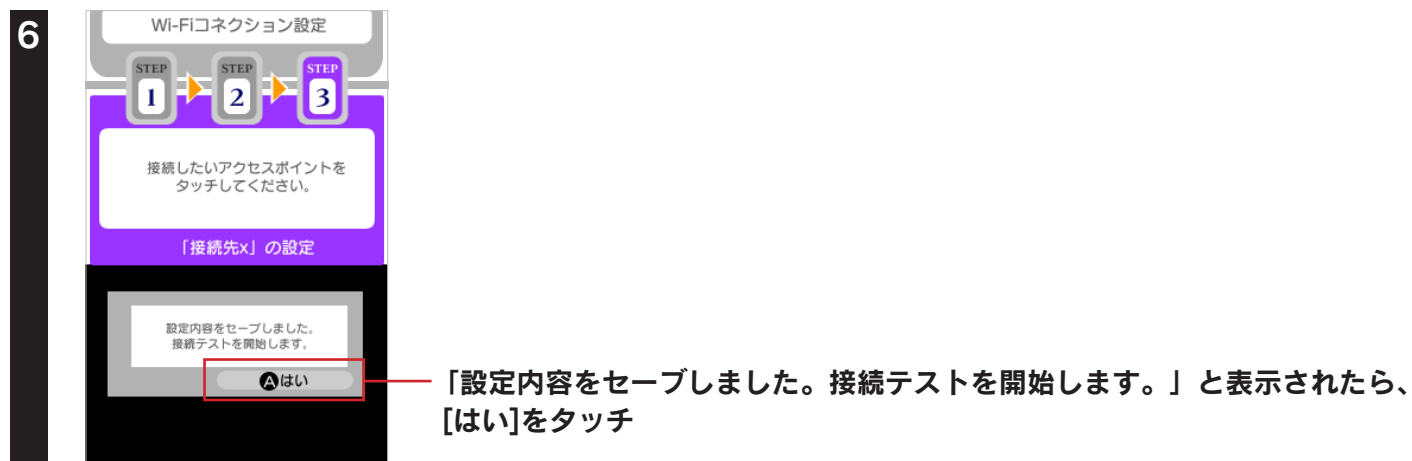
ニンテンドーDS Lite/ニンテンドーDSの場合

1 ニンテンドーWi-Fiコネクション対応のソフトを起動し、Wi-Fiコネクション設定画面を起動

※ 詳しくは、各ソフトの取扱説明書をご覧ください。

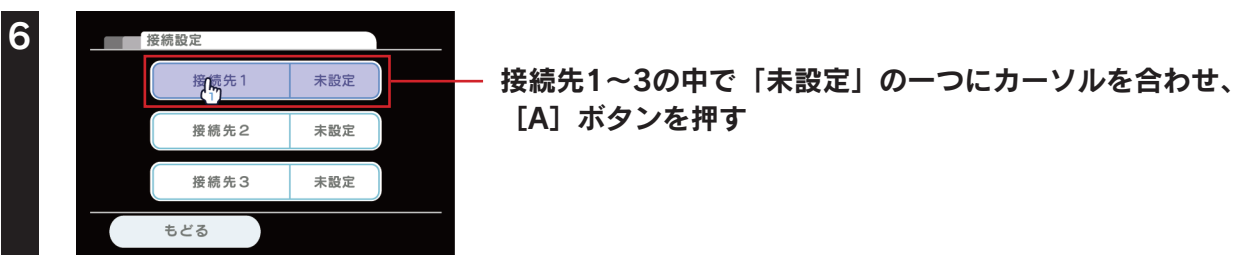
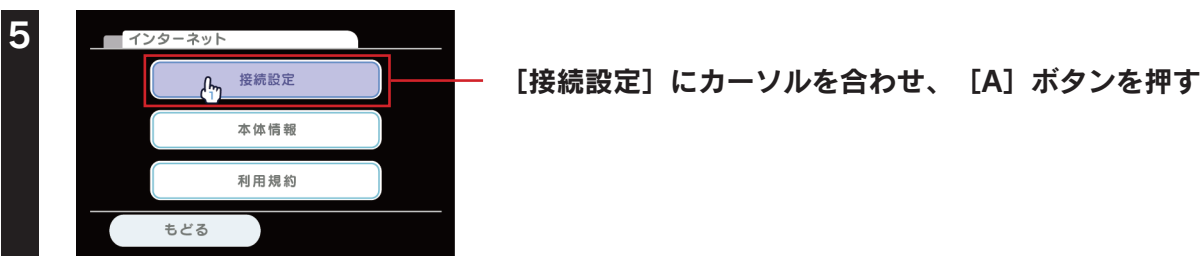
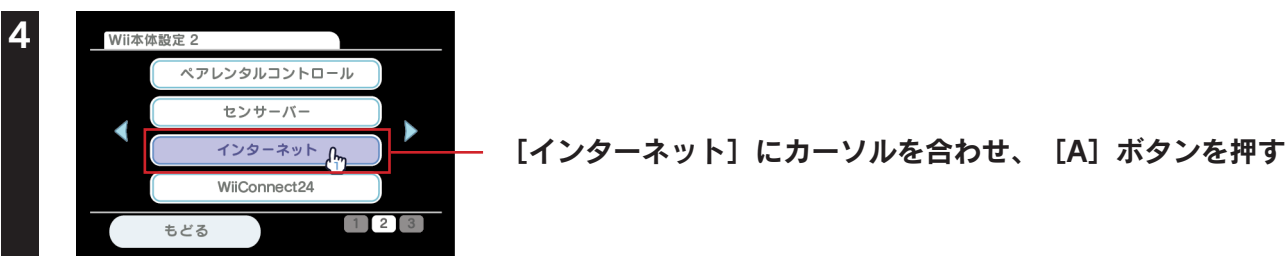
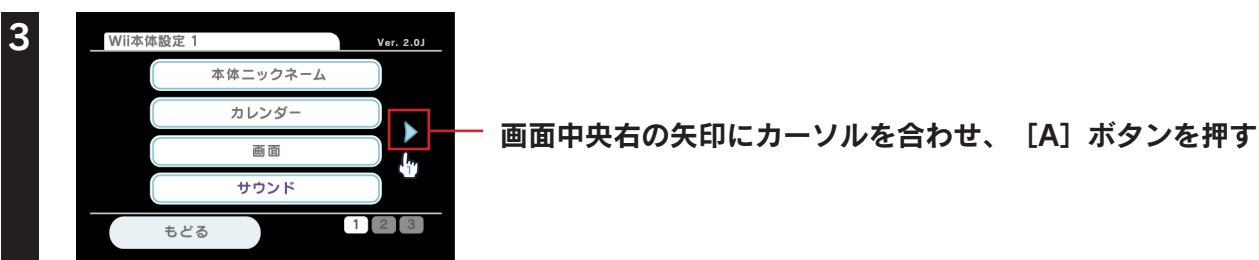
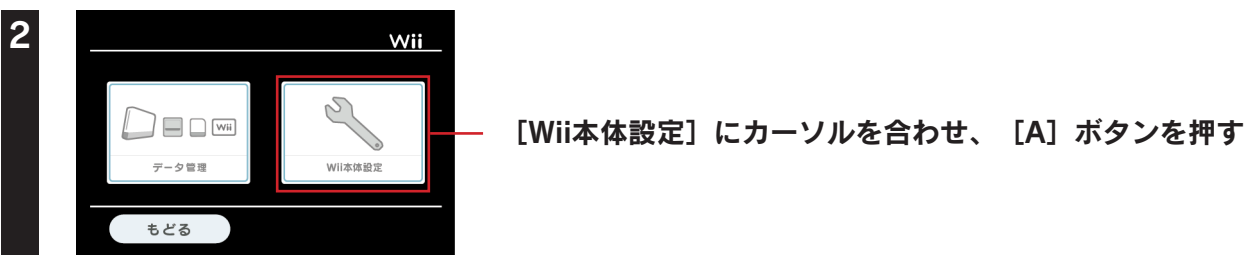
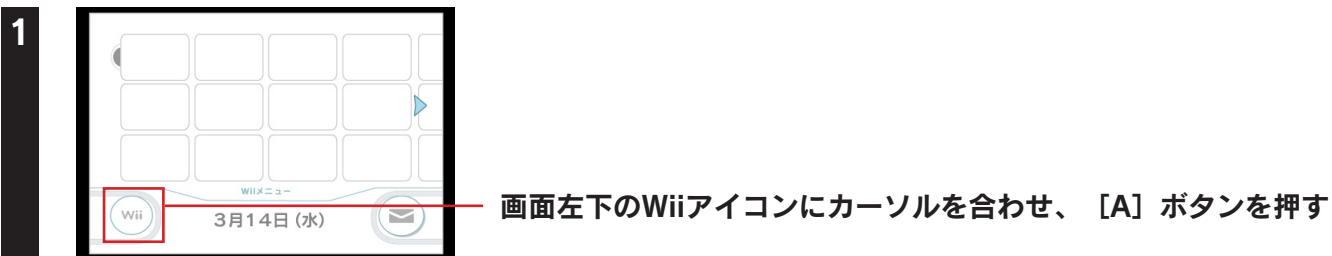


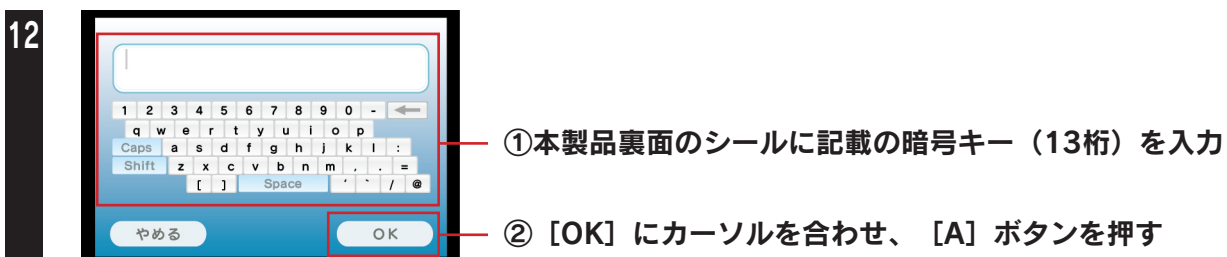
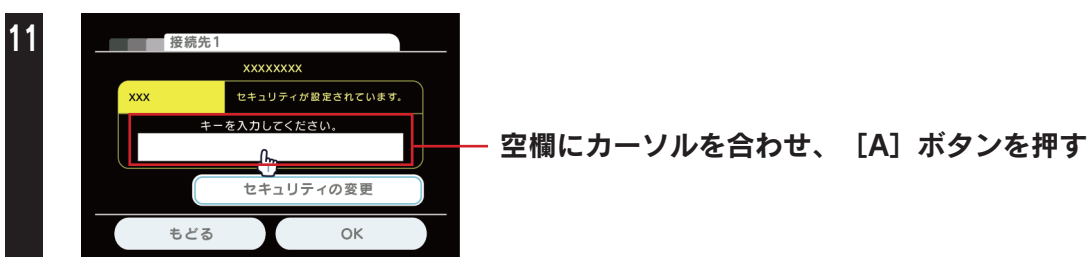
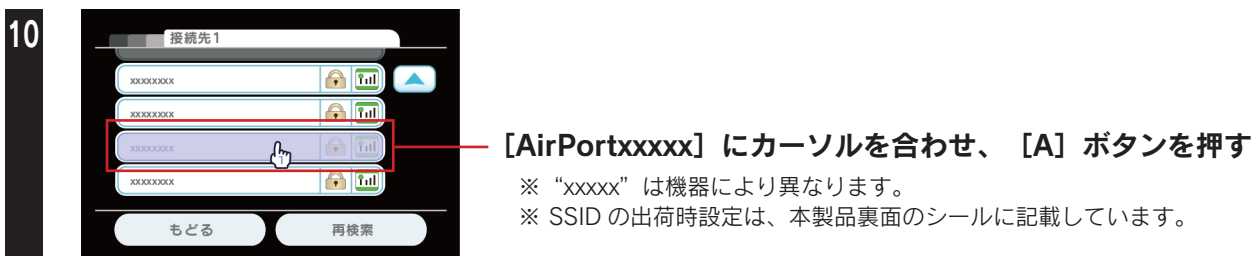
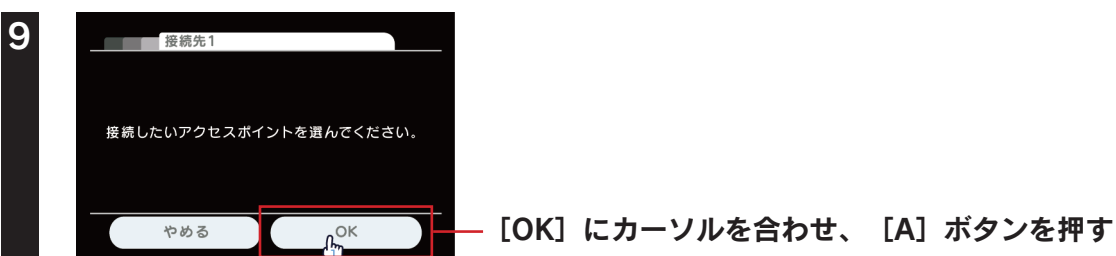
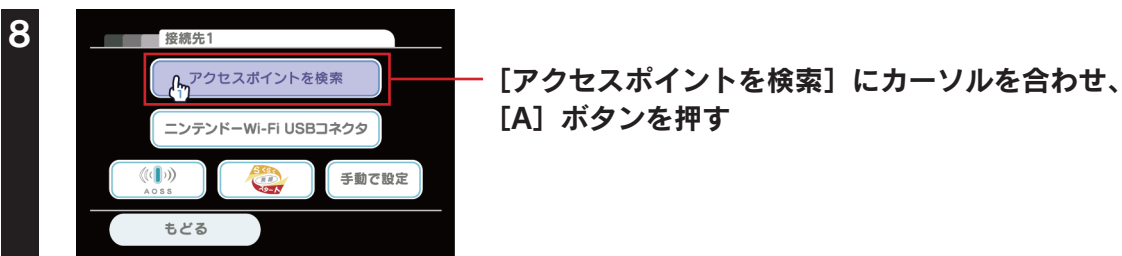
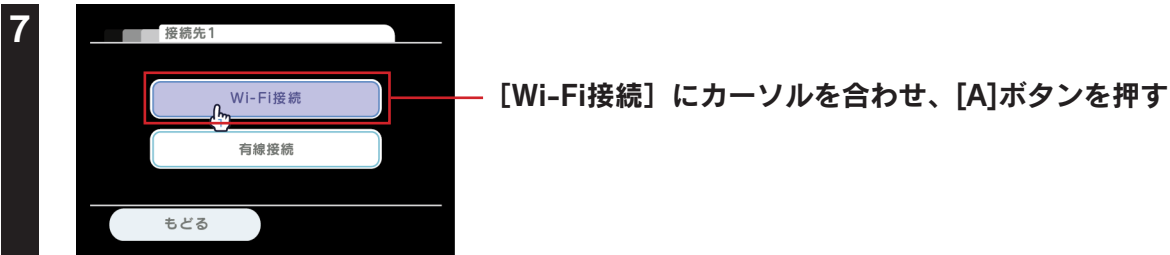
5 本製品裏面に記載の暗号キー（13桁）を入力し、【決定】をタッチ



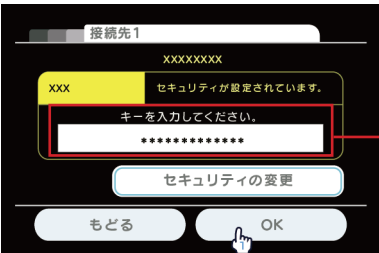
インターネットへの接続テストが始まります。接続テストに成功したら設定は終了です。
インターネットをお楽しみください。

Wiiの場合



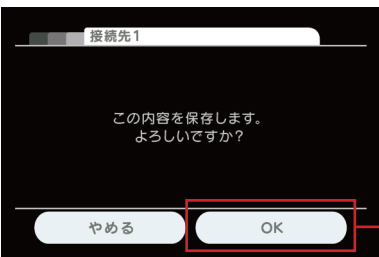


13



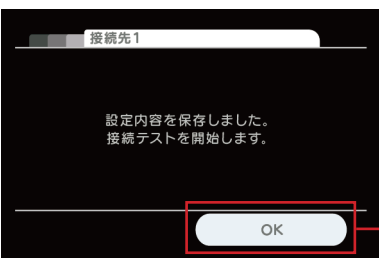
「[OK] にカーソルを合わせ、[A] ボタンを押す

14



「この内容で保存します。よろしいですか?」と表示されたら、
[OK] にカーソルを合わせ、[A] ボタンを押す

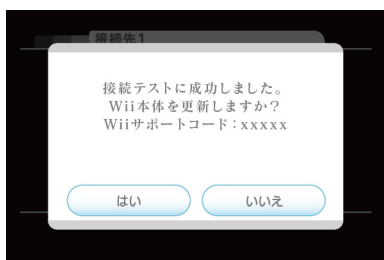
15



「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」と表示されたら、[OK] にカーソルを合わせ、[A] ボタンを押す

- 16 正常に通信できた場合は、「接続テストに成功しました。Wii本体を更新しますか?」と表示されます。
- ▶ 今すぐWii本体の更新をおこなう場合は [はい] にカーソルを合わせ、[A] ボタンを押す
 - ▶ 更新せず、設定を完了する場合は、[いいえ] にカーソルを合わせ、[A] ボタンを押す

※ 通常、[いいえ] で問題ありません。



以上で、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

PS Vitaの場合

1 ①ホームメニューの画面をフリックして下にスクロール



② [設定] をタップ

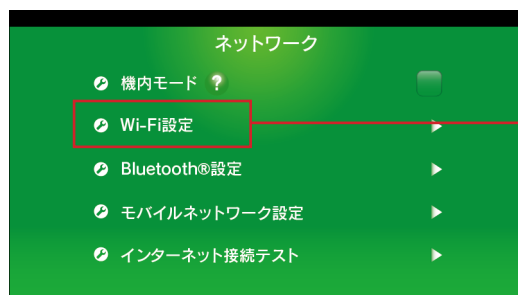
2 [はじめる] をタップ



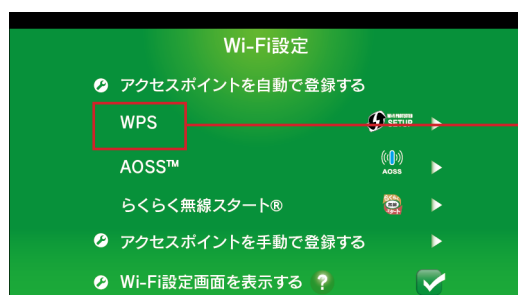
3 [ネットワーク] をタップ



4 [Wi-Fi設定] をタップ

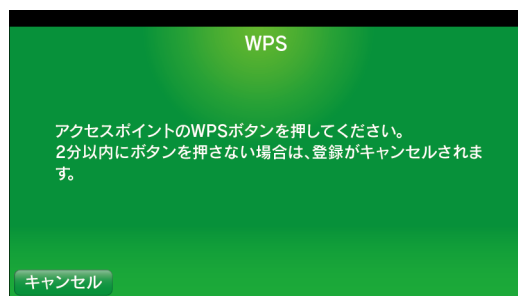
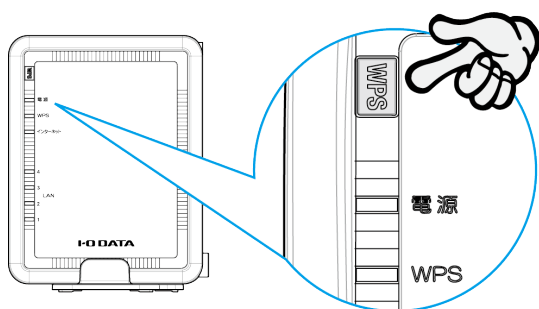


5 ①画面をフリックして下にスクロール



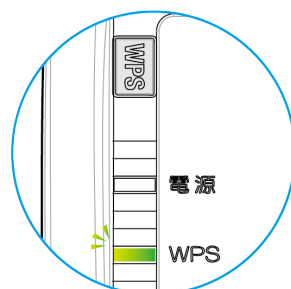
② [アクセスポイントを自動で登録する] の中の [WPS] をタップ

6 ①以下の画面が表示されたことを確認

②本製品のWPSボタンを長押し
(約3秒間)

③WPSランプが緑色に点滅したら離します

※ WPS ランプは約 5 分後に消灯しますが正常です。



⇒しばらくお待ちください。
設定が完了すると自動的に画面が消えます。

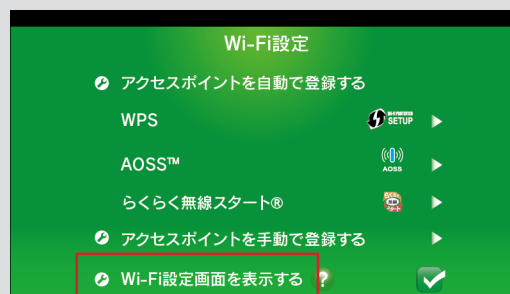
7 [OK] をタップ

以上で、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

Q & A 接続できない場合

以下の手順で接続してください。

- ①47 ページ手順1～4の操作をします。
- ② [Wi-Fi設定画面を表示する] をタップします。



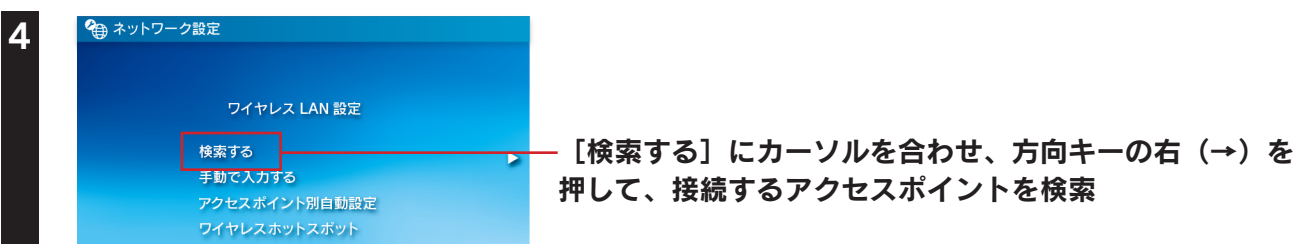
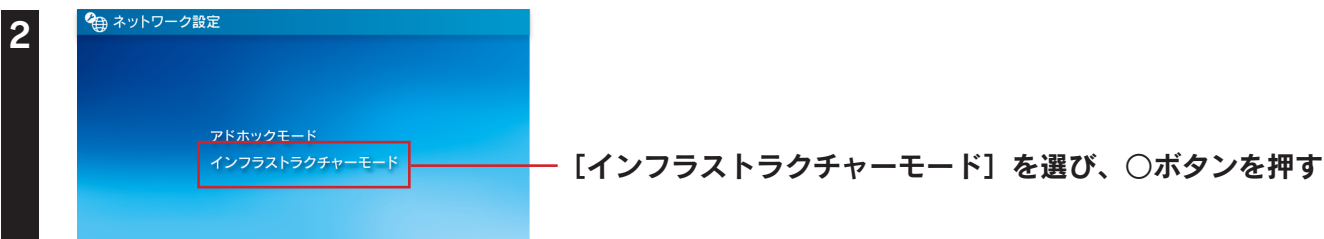
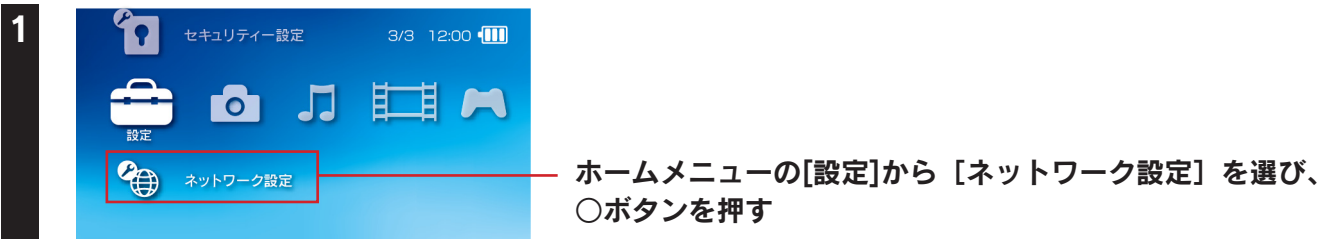
③ [AirPortxxxxx] をタップします。

※ “xxxxx” は機器により異なります。
※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

④ [パスワード] に本製品裏面のシールに記載の暗号キー（13桁）を入力し、 [OK] ボタンをタップします。

以上で、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

PSPの場合



6 方向キーの右 (→) を押して、次の画面へ進む

7



[WPA-PSK(AES)] を選択し、方向キーの右 (→) を押して、次の画面へ進む


8 本製品裏目に記載の暗号キー (13桁) を入力し、方向キーの右 (→) を押して、次の画面へ進む

9




[かんたん]を選び、方向キーの右 (→) を押して、次の画面へ進む

10



ネットワーク接続の名前を入力し、方向キーの右 (→) を押して、次の画面へ進む

11



[設定一覧]で、設定内容を確認し、方向キーの右 (→) を押して、次の画面へ進む

12 ○ボタンを押して、設定を保存

13 [接続テストをする] を選び、○ボタンを押す

接続テストに成功したら、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

PS3の場合

- 1 ホームメニューの[設定]から [ネットワーク設定] を選び、○ボタンを押す



2

インターネット接続の設定を行います。
有線で接続する場合は、LANケーブルを接続してください。

OK

【インターネット接続設定】を選び、○ボタンを押す

- 3 「インターネット接続設定を行うと現在の接続が切断されます。よろしいですか？」の画面が表示されたら、【はい】を選び、○ボタンを押す

4

設定方法を選択してください。

かんたん
カスタム

【かんたん】を選び、○ボタンを押す

5

接続方法を選択してください。
有線で接続する場合は、LANケーブルを接続してください。

有線
無線

【無線】を選び、○ボタンを押す

6

ワイヤレスLAN設定

検索する
手動で入力する
アクセスポイント別自動設定

【検索する】を選び、○ボタンを押す

7

利用するアクセスポイントを選択してください

SSID	セキュリティ	電波強度
AirPortxxxxx	WPA-PSK(AES)	100%
xxxxxxxxxxxx	WEP	100%

【AirPortxxxxx】を選び、○ボタンを押す

※ “xxxxx” は機器により異なります。

※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

8 SSIDの編集画面が表示されますが、何もせずに十字キーの右 (→) を押して、次の画面へ進む

9




ワイヤレスLANセキュリティ設定

なし
WEP
WPA-PSK/WPA2-PSK

[WPA-PSK/WPA2-PSK] を選び、○ボタンを押す

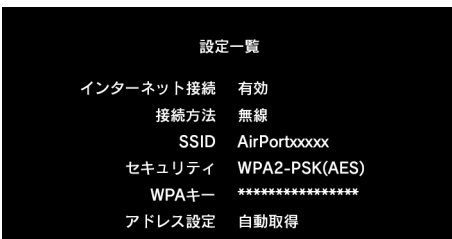
10



WPAキー

本製品裏面のシールに記載の暗号キー (13桁) を入力し、十字キーの右 (→) を押して、次の画面へ進む

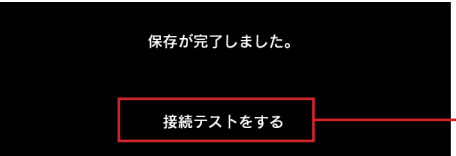
11 設定内容を確認し、○ボタンを押す



設定一覧

インターネット接続	有効
接続方法	無線
SSID	AirPorbxxxx
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
WPAキー	*****
アドレス設定	自動取得

12



保存が完了しました。

接続テストをする

○ボタンを押して、接続テストを開始

接続テストに成功したら、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

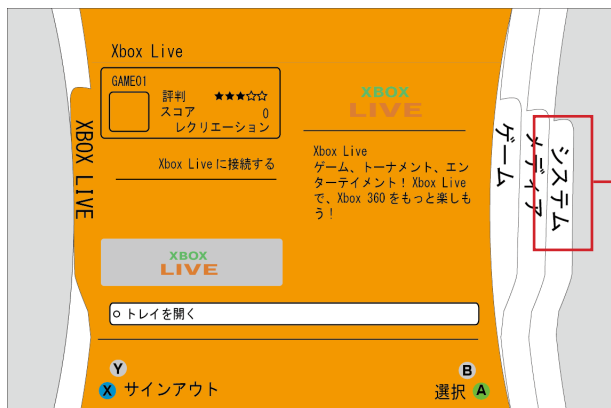
Xbox 360の場合

注意

ご利用になる前に、以下を確認してください

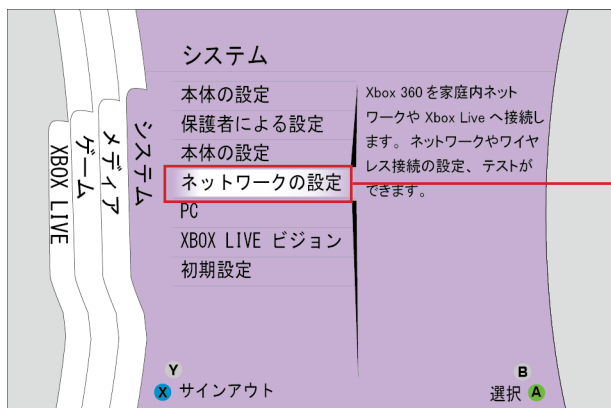
- Xbox 360で無線接続するには、別途Xbox 360ワイヤレスLANアダプターが必要です。
正しく取り付けられていることを確認し、以下の手順にお進みください

1



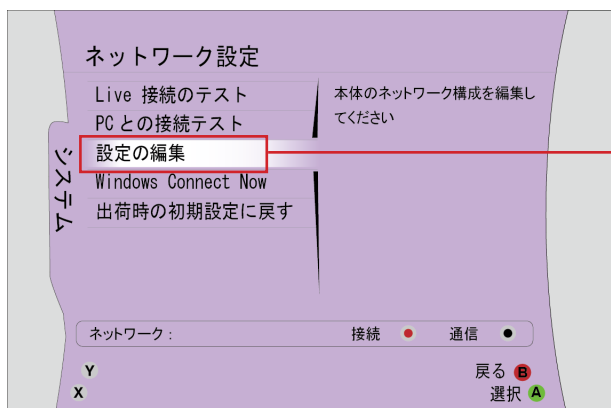
【ダッシュボード】の【システム】を選択

2



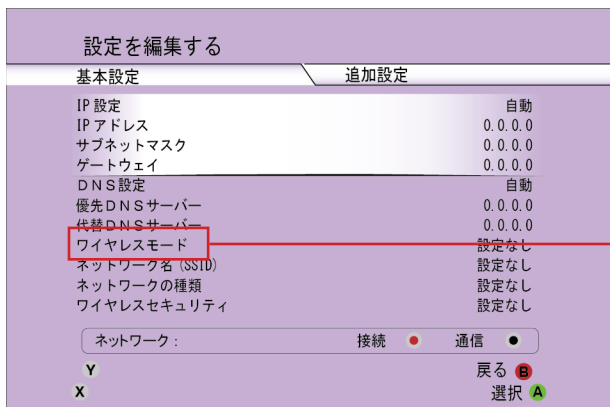
【ネットワークの設定】を選び、Aボタンを押す

3



【設定の編集】を選び、Aボタンを押す

4



[ワイヤレスモード] を選び、Aボタンを押す

5

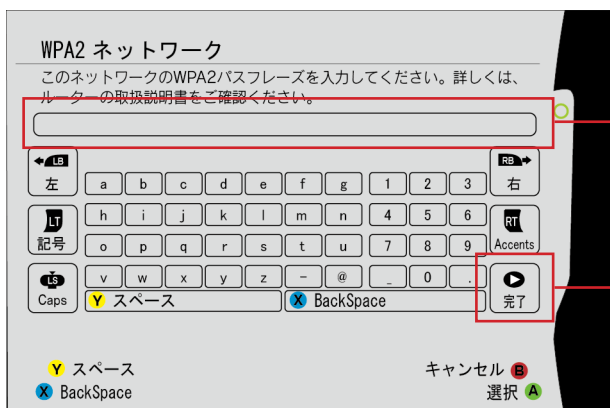


[AirPortxxxxx] を選び、Aボタンを押す

※ "xxxxx" は機器により異なります。

※ SSID の出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。

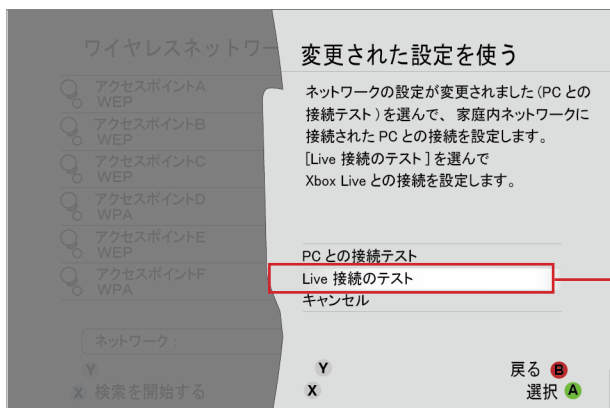
6



①本製品裏面のシールに記載の暗号キー（13桁）を入力

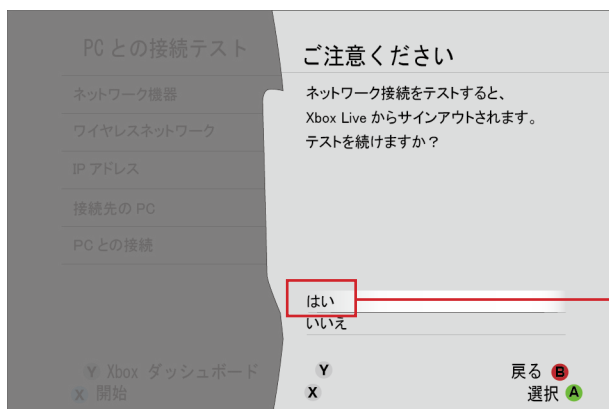
② [完了] を選し、Aボタンを押す

7



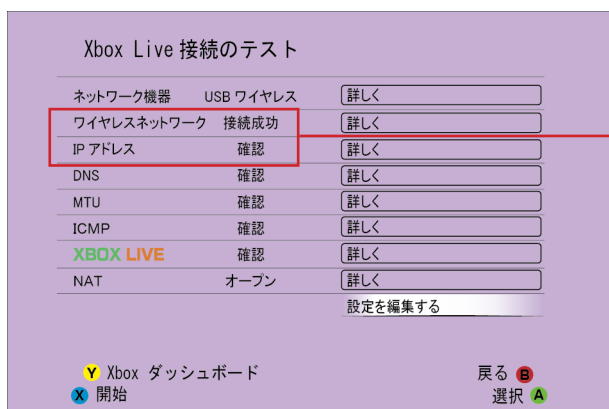
[Live接続のテスト] を選び、Aボタンを押す

8



【はい】を選び、Aボタンを押す

9



【ワイヤレスネットワーク】が【接続成功】、
【IPアドレス】が【確認】と表示されていること
を確認

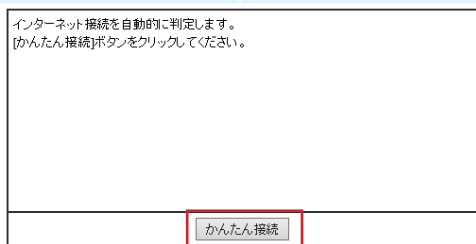
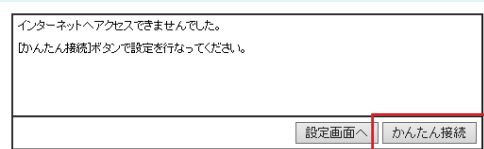
以上で、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

Step3 インターネットに接続する

- 1 自動的にWebブラウザ（Internet Explorer等）が起動しなかった場合は、Webブラウザのアイコンをダブルクリックし、起動する

- 2 ▼ 「インターネットへアクセスできませんでした」と表示された場合 ▼ インターネット画面が表示された場合

「かんたん接続」を順にクリック

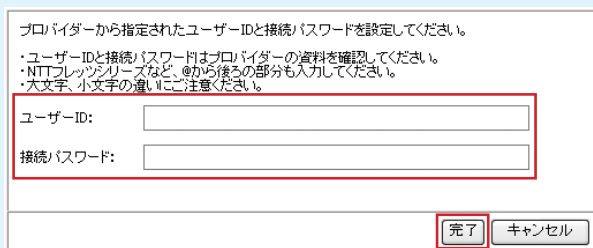


以上で設定は完了です。
インターネットをお楽しみください。

- 3 ▼ ユーザーIDと接続パスワードの入力画面が表示された場合

①プロバイダーから案内されている資料をもとに【ユーザーID】と【接続パスワード】を入力

- ※ ユーザーIDはプロバイダーにより「接続ID」、「認証ID」、「ログインID」、「接続ユーザー名」など表示されている場合があります。
- ※ 接続パスワードはプロバイダーにより「認証パスワード」、「ログインパスワード」など表示されている場合があります。
- ※ 特に指定がない個所は空欄（又は初期値）のまま変更する必要はありません。
- ※ NTTフレッツシリーズの場合は、ユーザーIDに@マークから後ろも全て入力します。
- ※ 入力内容が不明な場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。



②【完了】をクリック

③【終了】をクリック

以上で設定は完了です。

インターネットをお楽しみください。

▼ エラーが表示された場合

「インターネット接続ができません。本製品をAPモードに変更してください。」の
エラーが表示された場合

- ① [終了] をクリックします。
- ② 「APモードに切り替える方法」 65 ページを参照し、APモードに変更してください。

「ブリッジモードではインターネット回線の種別を自動的に検出できません。…」の
エラーが表示された場合

- ① [終了] をクリックします。
- ② 「出荷時設定に戻す方法」 79 ページを参照し、本製品を出荷時に戻してから、無線LANの接続設定をやり直してください。

「インターネットポートが未接続か、通信ができない状態になっています。…」の
エラーが表示された場合

- ① [終了] をクリックします。
- ② LANケーブルの接続・接触を再確認してください。
またモデム・ONUの電源が入っているかどうか、確認してください。
- ③ 本製品の設定画面より [インターネット] メニューを開き、ご利用環境にあった設定をおこなってください。
- ④ 上記対処をおこなってもインターネットに接続できない場合は、「困ったときには」 101 ページをご参照ください。

「インターネットに接続できませんでした…」の
エラーが表示された場合

- ① [終了] をクリックします。
- ② LANケーブルの接続・接触を再確認してください。
またモデム・ONUの電源が入っているかどうか、確認してください。
- ③ モデムの電源を30分以上切ってください。
- ④ 本製品の設定画面より [インターネット] メニューを開き、ご利用環境にあった設定をおこなってください。
- ④ 上記対処をおこなってもインターネットに接続できない場合は、「困ったときには」 101 ページをご参照ください。

設定の変更/更新

設定画面の開き方	59 ページ
アクセスポイントとして使用する方法 （ルーター⇄APの切替方法）	65 ページ
無線LANの設定を変更する場合 (SSID、暗号化設定の変更)	68 ページ
無線LAN高速モードを使用する方法 （帯域を40MHzに変更する方法）	72 ページ
ポートの開放手順	73 ページ
ECOモードの設定方法	75 ページ
ファームウェアのバージョンアップ方法	77 ページ
出荷時設定に戻す方法	79 ページ
設定画面のリファレンス	81 ページ

設定画面の開き方

本製品の設定画面では、本製品の詳細な設定や、設定の変更などがおこなえます。必要に応じて設定してください。

設定画面の開き方には、「設定アプリ「Magical Finder」を利用して開く方法」と「IPアドレスを入力して開く方法」の2つの方法があります。

※ 設定画面は、本製品がパソコンに LAN 接続されていれば（インターネットに接続されていなくても）、開くことができます。

※ 以下の対応ブラウザソフトをご用意ください。

OS	対応ブラウザソフト
Windows	Internet Explorer 6以降
Mac OS	Safari 4以降
iOS	Safari 5.1以降
Android	Android 2.2以降の標準ブラウザまたはGoogle Chrome

方法1：設定アプリ「Magical Finder」を利用して開く方法

「Magical Finder」（無料）をダウンロードし、インストールして利用します。（Magical Finderは最新版をご利用ください。）
※ 設定画面は、本製品がパソコンにLAN接続されていれば（インターネットに接続されていなくても）、開くことができます。
※ スマートフォンからは一部のメニューのみ設定できます。

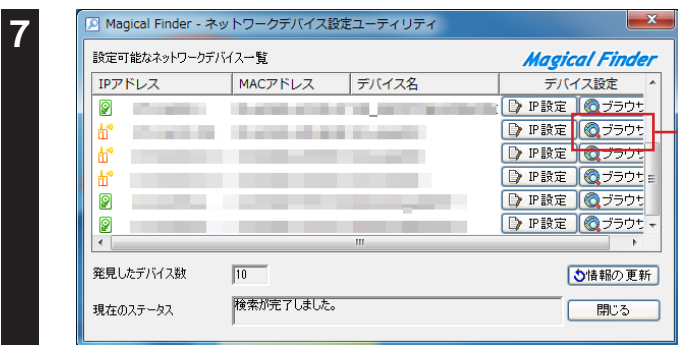
Windowsの場合

- 1 Webブラウザ（Internet Explorerなど）を起動
- 2 ①アドレスバーに“http://www.iodata.jp/r/3022”と入力してアクセス



②ご利用のOSを選択

- 3 [ダウンロード] をクリック
- 4 [実行] をクリック
- 5 デスクトップ上にダウンロードした [mfinderXXX.exe] ファイルをダブルクリック
※ “XXX” には数字が入ります。
- 6 [mfinderXXX] フォルダを開き、[MagicalFinder.exe] をダブルクリック
※ “XXX” には数字が入ります。



本製品のIPアドレスの **ブラウザ**（ブラウザ）ボタンをクリック

以上で、設定画面が表示されます。
設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」81 ページをご覧ください。

ヒント

セキュリティ向上のためパスワードの設定をおすすめします



パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時は未設定です。設定画面からパスワードを設定することをおすすめします。

▶ 「システム」94 ページ参照

Mac OSの場合

- 1 Webブラウザ（Internet Explorerなど）を起動
- 2 ①アドレスバーに“http://www.iodata.jp/r/3022”と入力してアクセス



②ご利用のOSを選択

- 3 ②ご利用のOSを選択し、[ダウンロード]をクリック
- 4 Dockの[ダウンロード] → [MagicalFinder_for_Mac_XXX.dmg] ファイルの順にダブルクリック
※ “XXX” には数字が入ります。
- 5 デスクトップ上にあるダウンロードした [MagicalFinder for Mac XXX] → [Magical Finder] の順にダブルクリック
※ “XXX” には数字が入ります。
- 6 インターネット上からのダウンロードファイルを開く場合の警告が表示された場合、[開く]をクリック
- 7 お使いのパソコンに設定してあるパスワードを入力し、[OK]をクリック



本製品のIPアドレスの (ブラウザ) ボタンをクリック

以上で、設定画面が表示されます。
設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」81 ページをご覧ください。


ヒント セキュリティ向上のためパスワードの設定をおすすめします



パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。
出荷時は未設定です。設定画面からパスワードを設定することをおすすめします。

▶ 「システム」94 ページ参照

iPhone/iPad/iPod touchの場合

- 1 [AppStore] を開く
- 2 [Magical Finder] を検索し、インストール
- 3  ホームボタンを押し、メインメニューから [Magical Finder] をタップ



以上で、設定画面が表示されます。
設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」81 ページをご覧ください。

ヒント


セキュリティ向上のためパスワードの設定をおすすめします


パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時は未設定です。設定画面からパスワードを設定することをおすすめします。


▶ 「システム」94 ページ参照



Androidの場合

- 1 [Playストア]（Google Play）または[Androidマーケット]を開く
- 2 [Magical Finder]を検索し、インストール
- 3  ホームボタンを押し、メインメニューから [Magical Finder] をタップ

- 4  本製品をタップ

- 5  [Web設定画面を開く]をタップ

以上で、設定画面が表示されます。
設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」81 ページ参照をご覧ください。

ヒント



セキュリティ向上のためパスワードの設定をおすすめします

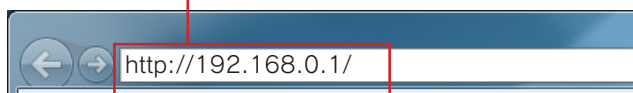
パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時は未設定です。パスワードを設定することをおすすめします。

▶ 「システム」94 ページ参照

方法2：IPアドレスを入力して開く方法

ルーターモード時

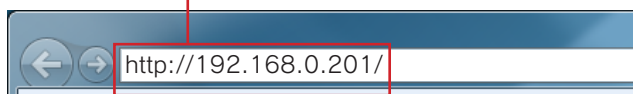
- 1 Webブラウザ（Internet Explorerなど）を起動
- 2 アドレスバーに“http://192.168.0.1/”と入力してアクセス



以上で、設定画面が表示されます。
設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」81 ページをご覧ください。

APモード時

- 1 Webブラウザ（Internet Explorerなど）を起動
- 2 アドレスバーに“http://192.168.0.201/”と入力してアクセス



以上で、設定画面が表示されます。
設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」81 ページをご覧ください。

アクセスポイントとして使用する方法 (ルーター⇄APの切替方法)

AP（アクセスポイント）またはルーターモードに切り替える方法を説明します。

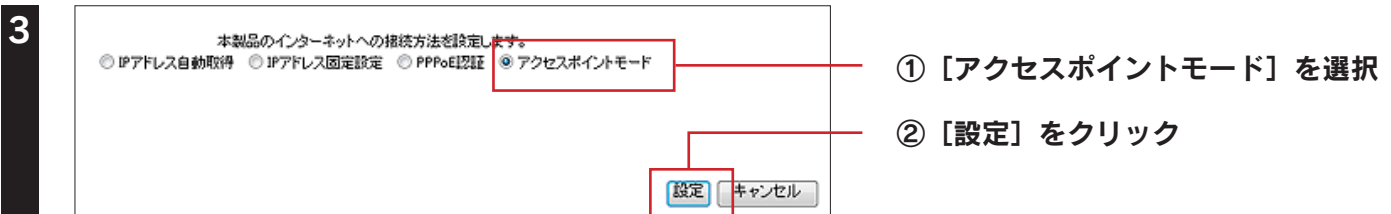
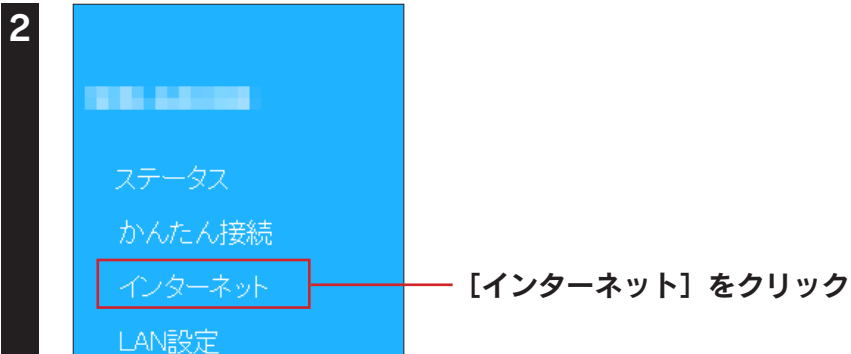
※ APモード時、本製品のWANポートはLANポートとして動作します。

※ 本製品の [IP アドレス] の初期値は [192.168.0.201] です。

IP アドレスは本製品の設定画面にて任意のアドレスに変更、もしくは DHCP による自動取得に設定することができます。

APモードに切り替える方法

1 設定画面を開く（「設定画面の開き方」59 ページ参照）



⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

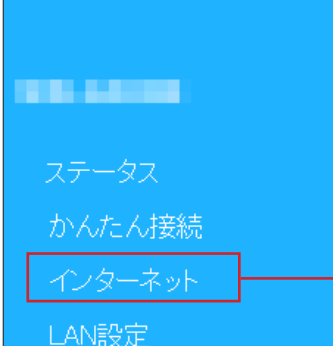
ヒント APモード時、本製品の設定画面のメニューが異なります
「セキュリティ」や「ファミリースマイル」等、ご利用になれないメニューは非表示となります。



ルーターモードに切り替える方法

1 設定画面を開く（「設定画面の開き方」59 ページ参照）

2

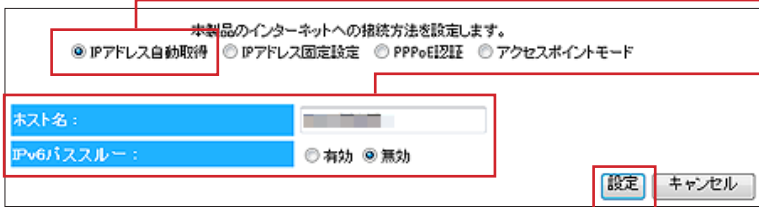


ステータス
かんたん接続
インターネット
LAN設定

[インターネット] をクリック

3 インターネットへの接続方法を選択し、[設定] をクリック

▼ IPアドレス自動取得の場合



本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得 IPアドレス固定設定 PPPoE認証 アクセスポイントモード

ホスト名:

IPv6パススルー: 有効 無効

① [IPアドレス自動取得] を選択

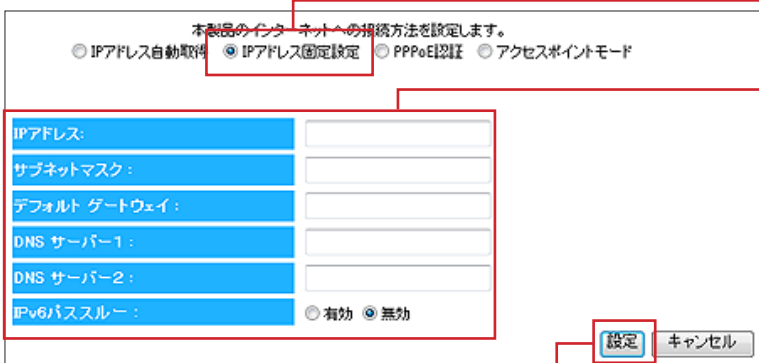
② 各項目を設定する

ホスト名	ホスト名を入力します。
IPv6パススルー	[有効] [無効] を選択します。IPv6を使用する場合は [有効] を選択します。

③ [設定] をクリック

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

▼ IPアドレス固定設定の場合



本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得 IPアドレス固定設定 PPPoE認証 アクセスポイントモード

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

DNSサーバー1:

DNSサーバー2:

IPv6パススルー: 有効 無効

① [IPアドレス固定設定] を選択

② 各項目を設定する

IPアドレス	プロバイダーから指定されたIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	プロバイダーから指定されたデフォルトゲートウェイを入力します。
DNSサーバー1	プロバイダーから指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。
DNSサーバー2	プロバイダーから指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。
IPv6パススルー	[有効] [無効] を選択します。IPv6を使用する場合は [有効] を選択します。

③ [設定] をクリック

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

▼ PPPoE認証の場合

本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得
 IPアドレス固定設定
 PPPoE認証
 アクセスポイントモード

ユーザーID:

接続パスワード:

MTU: (576 <=MTU 値 <=1492)

IPv6パススルー: 有効 無効

③ [設定] をクリック

① [PPPoE認証] を選択

② 各項目を設定する

ユーザーID	プロバイダーから指定されたアカウント名を入力します。 ※NTTフレッツシリーズの場合は、ユーザーIDに@マークから後ろも全て入力します。
接続パスワード	プロバイダーから指定された接続パスワードを入力します。
MTU	MTU値を変更する場合は576～1492の間で入力します。
IPv6パススルー	[有効] [無効] を選択します。IPv6を使用する場合は [有効] を選択します。

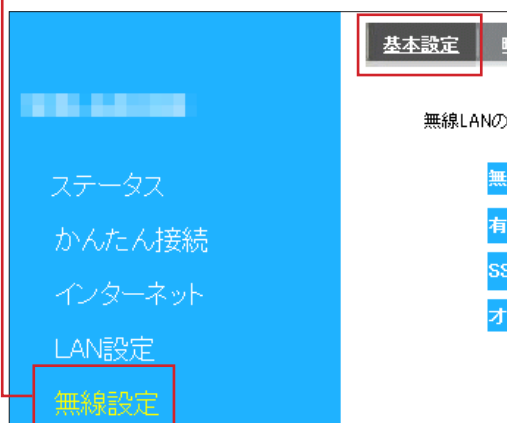
⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

無線LANの設定を変更する場合 (SSID、暗号化設定の変更)

本製品のSSIDや暗号化設定の変更をする場合は、以下の手順で設定します。

1 設定画面を開く（「設定画面の開き方」59 ページ参照）

2 [無線設定] をクリック



3 ① [基本設定] タブ内の項目で変更したい内容を設定

② [設定] をクリック



無線LAN	無線LANを使用するかどうかを設定します。 有効：無線LANを使用します。 無効：無線LANを使用しません。
有効SSID	使用するSSIDの数を変更します。
SSID1	1つ目のSSIDの名前を指定（変更）します。出荷時設定：[AirPortxxxxx](xxxxxは製品ごとに違います。)
SSID2	2つ目のSSIDの名前を指定（変更）します。出荷時設定：[Gamexxxxx](xxxxxは製品ごとに違います。)
オートチャンネル	無線LANのチャンネルを通信に最適な値に設定します。 [無効] にするとチャンネルを指定できます。 (詳しくは「チャンネルの選び方 ▶ 2.4GHz帯(IEEE802.11g/b)の無線で選択するチャンネル」71 ページ参照)

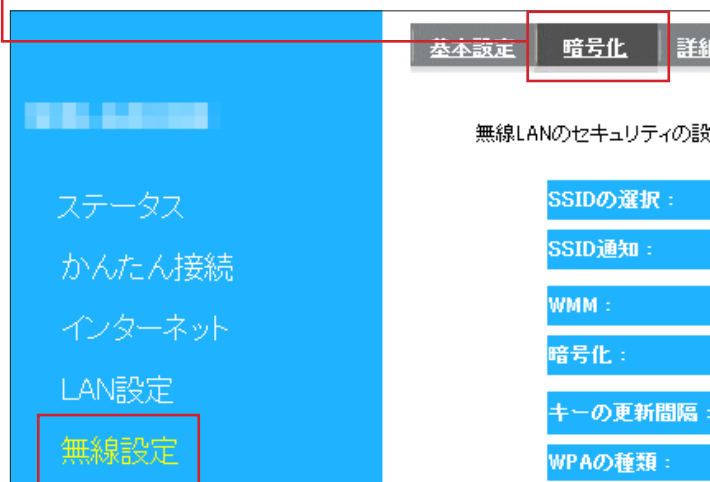
⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻るまで待ちます。

注意

SSIDやチャンネルの値が他の無線LANグループと重なると、他の無線LANグループに通信内容が流れたり、他の無線LANグループの通信内容が見えてしまったりします。

そのために起こったトラブルに対しては弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

4 同じく【無線設定】メニューの【暗号化】タブをクリック



5 暗号化を設定し、【設定】をクリック

※ 暗号化方式により設定内容が異なります。

▼WPA-PSKで暗号化する場合

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。				
SSIDの通知	SSIDの通知の [有効] [無効] を設定します。 ※SSID1の [SSID通知] を [無効] にするとWPS機能が利用できません。				
WMM	WMM機能は常に有効です。				
暗号化	暗号化をおこなう方法を設定します。				
キーの更新間隔	グループキーの更新間隔を指定します。				
WPAの種類	暗号化をおこなう種類を選択します。				
キーの種類	[ASCII文字] [16進数(64文字)] から選択します。				
暗号キー	暗号文字を入力します。 セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>ASCII(8~63文字)</td> <td>任意のPre Shared Keyを入力します。(半角英数字で8~63文字で入力します。)</td> </tr> <tr> <td>16進数(64文字)</td> <td>任意のPre Shared Keyを入力します。(0~9、A~Fで64文字入力します。)</td> </tr> </tbody> </table> 入力した暗号キーはメモしておくことをおすすめします。(無線LANアダプター設定時に必要になります。)	ASCII(8~63文字)	任意のPre Shared Keyを入力します。(半角英数字で8~63文字で入力します。)	16進数(64文字)	任意のPre Shared Keyを入力します。(0~9、A~Fで64文字入力します。)
ASCII(8~63文字)	任意のPre Shared Keyを入力します。(半角英数字で8~63文字で入力します。)				
16進数(64文字)	任意のPre Shared Keyを入力します。(0~9、A~Fで64文字入力します。)				

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

▼WEPで暗号化する場合

基本設定	暗号化	詳細設定	フィルター	WPS	クライアントリスト
無線LANのセキュリティの設定ができます。無線LANを暗号化することにより不正なアクセスを防げます。					
SSIDの選択 :	[SSID選択] ▼				
SSID通知 :	有効 ▼				
WMM :	有効 ▼				
暗号化 :	WEP ▼				
認証方式 :	Open System				
キーの長さ :	64bit ▼				
キーの種類 :	ASCII (5文字) ▼				
デフォルト キー :	キー 1 ▼				
暗号化 キー 1 :	<input type="text"/>				
暗号化 キー 2 :	<input type="text"/>				
暗号化 キー 3 :	<input type="text"/>				
暗号化 キー 4 :	<input type="text"/>				
					設定 キャンセル

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。								
SSIDの通知	SSIDの通知の [有効] [無効] を設定します。 ※SSID1の [SSID通知] を [無効] にするとWPS機能が利用できません。								
WMM	WMM機能は常に有効です。								
暗号化	暗号化をおこなう方法を設定します。 ※SSID1の [暗号化] を [WEP] にするとWPS機能が利用できません。								
認証方式	認証方式は [Open System] 固定です。								
キーの長さ	[64bit] または [128bit] を選択します。								
キーの種類	暗号化キーの文字の処理を選択します。 [ASCII (5文字)] [16進数 (10文字)] [ASCII (13文字)] [16進数 (26文字)] から選択します。								
デフォルトキー	どの暗号化キーを使うか指定します。								
暗号化キー 1~4	暗号文字を入力します。 セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>64ビット-ASCII</td> <td>任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で5文字で入力します。) 例: ABCDE</td> </tr> <tr> <td>64ビット-16進数</td> <td>任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで10文字入力します。) 例: 0123456789</td> </tr> <tr> <td>128ビット-ASCII</td> <td>任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で13文字で入力します。) 例: ABCDEFGHIJKLM</td> </tr> <tr> <td>128ビット-16進数</td> <td>任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで26文字入力します。) 例: 01234567890123456789ABCDEF</td> </tr> </tbody> </table> <p>入力した暗号キーはメモしておくことをおすすめします。(無線LANアダプター設定時に必要になります。)</p>	64ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で5文字で入力します。) 例: ABCDE	64ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで10文字入力します。) 例: 0123456789	128ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で13文字で入力します。) 例: ABCDEFGHIJKLM	128ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで26文字入力します。) 例: 01234567890123456789ABCDEF
64ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で5文字で入力します。) 例: ABCDE								
64ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで10文字入力します。) 例: 0123456789								
128ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で13文字で入力します。) 例: ABCDEFGHIJKLM								
128ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで26文字入力します。) 例: 01234567890123456789ABCDEF								

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

Q&A

本製品と無線LANアダプターの通信が途切れた場合

無線LANアダプターの無線設定（SSID、暗号化など）を本製品の設定と合わせてください。
有線LANアダプターがある場合は、有線LAN接続したパソコンから設定することをおすすめします。

ヒント

本製品に接続する無線LANアダプターのSSID、暗号化設定、暗号キーも同じ値に変更してください

無線LANアダプターの取扱説明書を参照し、本製品の設定と同じ値に設定してください。



ヒント

変更したSSIDや暗号キーはメモしてください

パソコンやスマートフォン等と接続する際に必要になります。



ヒント

「QRコネクト用QRコード生成サイト」にて、変更したSSIDと暗号キーのQRコードを作成することができます

無線LAN設定用QRコードを作成すれば、SSIDや暗号キーを変更した後でも、簡単設定アプリ「QRコネクト」を利用して、スマートフォンを簡単に接続できます。

- ・「QRコネクト用QRコード生成サイト」はこちら → https://wssl.iodata.jp/qr_code/
- ・「QRコネクト」の利用方法については、「iPhone/iPad/iPod touchの場合」26 ページまたは「Androidの場合」28 ページをご参照ください。



ヒント

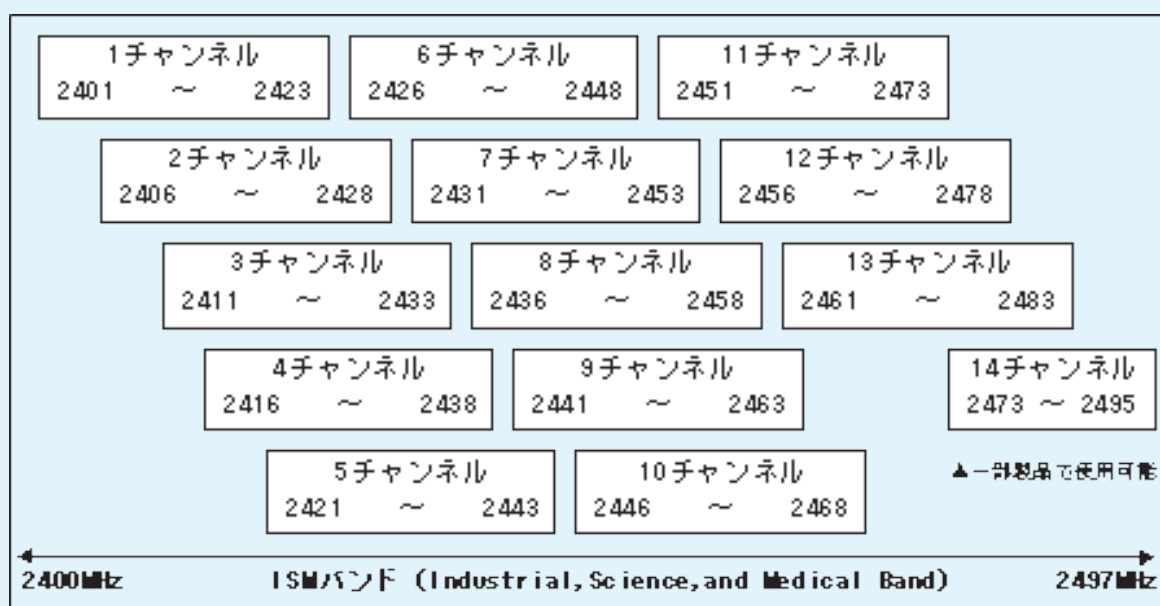
チャンネルの選び方 ▶ 2.4GHz帯(IEEE802.11g/b)の無線で選択するチャンネル

2.4GHz帯の無線では1～13 chまで選択できます。（一部製品では1～14 chまで）

複数の無線ネットワークを使用する場合、隣り合ったチャンネルは、電波の帯域が重なるため通信にロスを生じます。電波到達範囲内で複数の無線ネットワークが存在する場合は、下の表をご覧になり、帯域が重ならないように設定することをおすすめします。

また、14ch（2473～2495MHz）は、IEEE802.11、IEEE802.11bで使用されている可能性がありますので、重ならないように設定することをおすすめします。

例) 無線ネットワークが3つある場合は、それぞれ1,6,11チャンネルに設定



無線LAN高速モードを使用する方法 (帯域を40MHzに変更する方法)

本製品は初期設定で20MHzでの動作となります。40MHzでの動作へ変更することで最大300Mbpsでの使用が可能となります。40MHzでの動作に変更する場合は、以下の手順にしたがって設定をしてください。

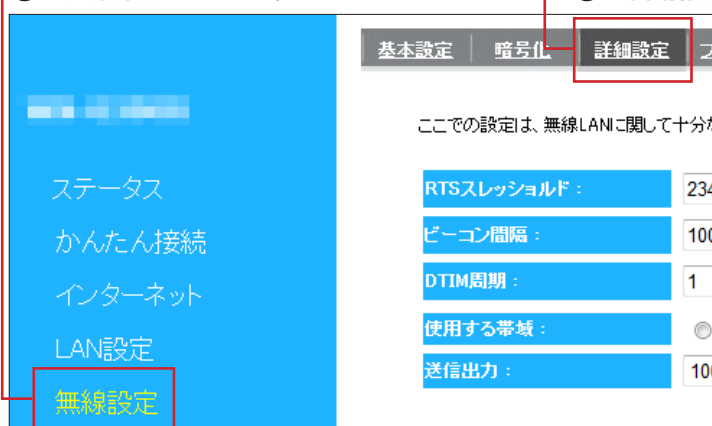
注意

周波数幅で [20/40MHz] を選択する前に以下を確認してください

- 40MHzシステムの使用設定をオンにする場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。
- 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに40MHz システムの使用設定をオフにしてください。
- 子機も40MHzでの動作に対応している必要があります。子機は親機に合わせて自動的に適切な通信速度に設定されるため、設定を変更する必要はありません。

1 設定画面を開く（「設定画面の開き方」59 ページ参照）

2 ① [無線設定] をクリック



② [詳細設定] タブをクリック

3 ① [20/40MHz] を選択



② [設定] をクリック

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

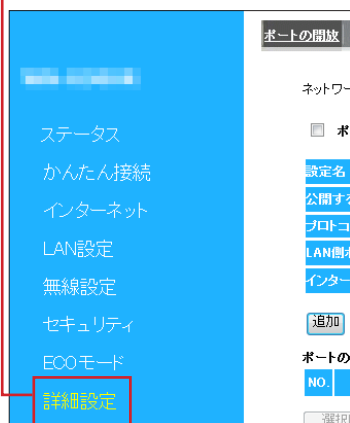
ポートの開放手順

ネットワークゲームやサーバーの公開をする場合は、[ポートの開放]で、特定のポートを開放します。

※ 最大 16 エントリーまで設定できます。

1 設定画面を開く（「設定画面の開き方」59 ページ参照）

2 [詳細設定] をクリック



3 ①各項目を設定する

ポートの開放 UPnP リダイレクト

ネットワークゲーム、ネットワークカメラ、サーバー等を公開する時に設定します。

ポートの開放を有効にする

設定名：

公開する機器のIPアドレス：

プロトコル：

LAN側ポート番号：

インターネット側ポート番号：

ポートの開放一覧：

NO.	設定名	IPアドレス	LAN側ポート	タイプ	インターネット側ポート	選択

② [追加] をクリック

設定名	識別するための名称を入力します。
公開する機器のIPアドレス	公開する機器のIPアドレスを入力します。
プロトコル	[TCP] [UDP] [両方] から選択します。
LAN側ポート番号	インターネット上から見えるポート番号を入力します。
インターネット側ポート番号	インターネットに公開するポート番号を入力します。

4

① [ポートの開放を有効にする] にチェック

ポートの開放
UPnP
リダイレクト

ネットワークゲーム、ネットワークカメラ、サーバー等を公開する時に設定します。

ポートの開放を有効にする

設定名 :

公開する機器のIPアドレス :

プロトコル :

両方 ▼

LAN側ポート番号 :

インターネット側ポート番号 :

追加
リセット

ポートの開放一覧 :

NO.	設定名	IPアドレス	LAN側ポート	タイプ	インターネット側ポート	選択

選択して削除
全て削除
リセット

設定

キャンセル

② [設定] をクリック

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

ECOモードの設定方法

ECOモードを設定すると本製品の消費電力を削減することができます。

ECOモードを有効にする場合は、以下の手順で設定してください。

ヒント

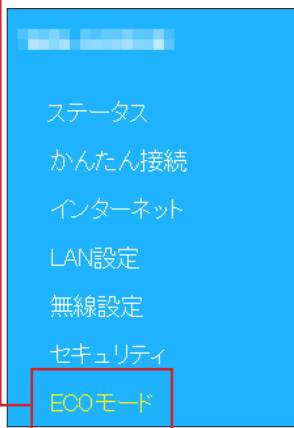
スマートフォンからも設定をおこなうことができます

- ・ 設定画面の開き方については、「設定画面の開き方」59 ページ参照
- ・ ECOモードの設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」81 ページ参照

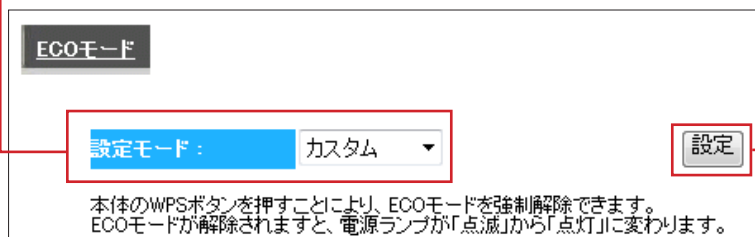


1 設定画面を開く（「設定画面の開き方」59 ページ参照）

2 [ECOモード] をクリック



3 ① [設定モード] から [推奨設定] または [カスタム] を選択



② [設定] をクリック

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。
元の画面に戻るまでしばらくお待ちください。

ヒント

[推奨設定] 選択時は以下の設定になります

- ランプ：[消灯モード]
- 有線LAN：[通常モード]
- 無線LAN：[低速モード]



4 ①手順3で【カスタム】を選択した場合は、【ランプ】、【有線LAN】、【無線LAN】を選択

ECOモード

設定モード： カスタム

設定

本体のWPSボタンを押すことにより、ECOモードを強制解除できます。
ECOモードが解除されると、電源ランプが「点滅」から「点灯」に変わります。

カスタム設定：

ランプ： 点灯モード

有線 LAN： 通常モード

無線 LAN： オン

②【設定】をクリック

ランプ	[点灯モード] [消灯モード] から選択します。	
有線 LAN	[全てオフ][LANオフ][通常モード]から選択します。	
	全てオフ	全ての有線ポートがオフになります。
	LANオフ	LAN1～4ポートがオフになります。
	通常モード	通常の動作をします。
無線 LAN	[オフ][低速モード][通常モード]から選択します。	
	通常モード	通常の動作をします。
	低速モード	無線の最大伝送速度が150Mbpsになります。
	オフ	無線がオフになります。

⇒「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻るまで待ちます。

5 ①スケジュールを設定する場合は、【スケジュール設定を利用する】にチェック

ECOモード

設定モード： カスタム

設定

本体のWPSボタンを押すことにより、ECOモードを強制解除できます。
ECOモードが解除されると、電源ランプが「点滅」から「点灯」に変わります。

カスタム設定：

ランプ： 点灯モード

有線 LAN： 通常モード

無線 LAN： オン

スケジュール設定

スケジュール設定を利用する

開始時間： 00:00 終了時間： 01:00

曜日設定

月 火 水 木 金 土 日

反映

曜日 時間 選択

選択して削除 全て削除

②【開始時間】、【終了時間】、【曜日設定】を選択

③【反映】をクリック

スケジュール設定を利用する	チェックすると、スケジュール設定を利用できます。 ※ スケジュールは9件まで作成できます。 ※ 同じ時間帯で複数の曜日を設定した場合は、1件としてカウントされます。 (例：13:00～17:00で土・日を選択した場合、これで1件のスケジュールとしてカウントします。)
開始時間	[開始時間] から [終了時間] までの間、ECOモードの設定が有効になります。
終了時間	
曜日設定	チェックした曜日のみECOモードの設定が有効になります。
選択	チェックし、[選択して削除] をクリックすると、選択したスケジュールを削除します。 [全て削除] をクリックすると、すべてのスケジュールを削除します。

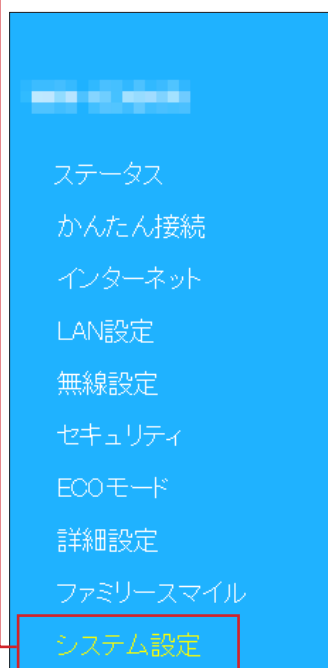
⇒「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

ファームウェアのバージョンアップ方法

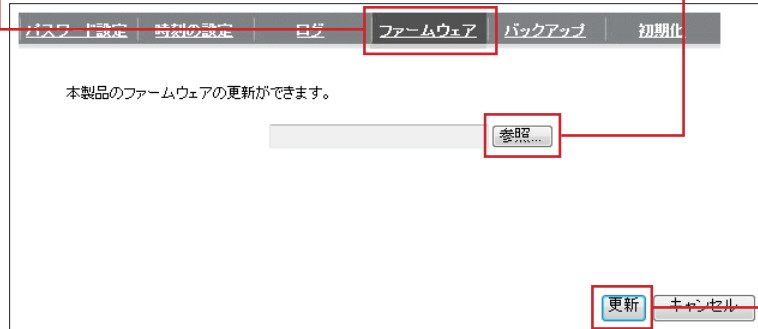
本製品のファームウェアのバージョンアップ方法を説明します。本製品を一旦、パソコンに有線LAN接続します。

- 1 Webブラウザに以下のURLを入力して最新のファームウェアファイルをダウンロードし、ファイルを解凍しておく
→ <http://www.iodata.jp/r/4469>
- 2 本製品をパソコンにLANケーブルで接続する（「有線LAN接続する場合」25 ページ参照）
- 3 パソコンに常駐アプリケーションがある場合は、一時的に常駐を解除する（タスクトレイに常駐しているアイコンを右クリックして終了する）
- 4 設定画面を開く（「設定画面の開き方」59 ページ参照）

- 5 [システム設定] をクリック

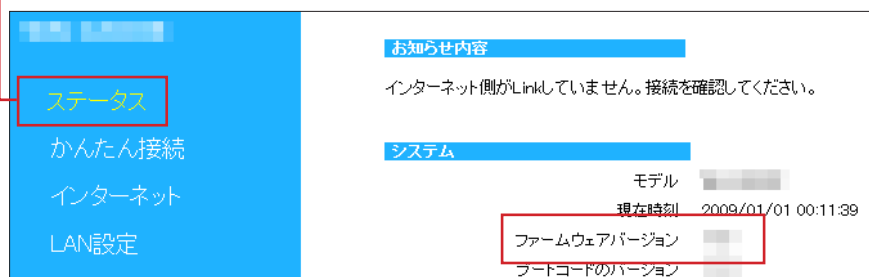


- 6 ① [ファームウェア] タブをクリック
② [参照] をクリックし、手順1でダウンロードし解凍したファイル“wnxxx.dlf”を選択
※ xxx には数字が入ります。
③ [更新] をクリック



⇒ 更新後、本製品を再起動します。50秒ほどお待ちください。

7 [ステータス] をクリックし、
[ファームウェアバージョン] が更新後のバージョンになっていることを確認



以上で、ファームウェアの更新は完了です。

出荷時設定に戻す方法

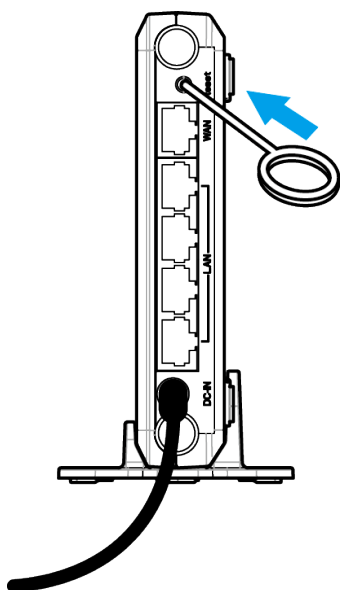
初期化ボタンまたは設定画面のいずれかの方法で出荷時設定に戻すことができます。

注意

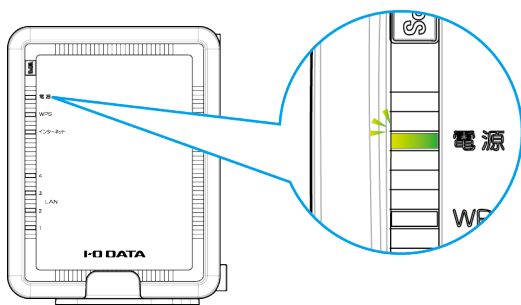
本手順をおこなうと、設定内容はすべて出荷時設定に戻ります。
出荷時設定に戻したら、再度はじめてから設定し直してください。

初期化ボタンで戻す場合

- 1 本製品からLANケーブルを外す
- 2 本製品側面にある初期化ボタンを細いピン等で押す



- 3 電源ランプが緑点滅になったら離す

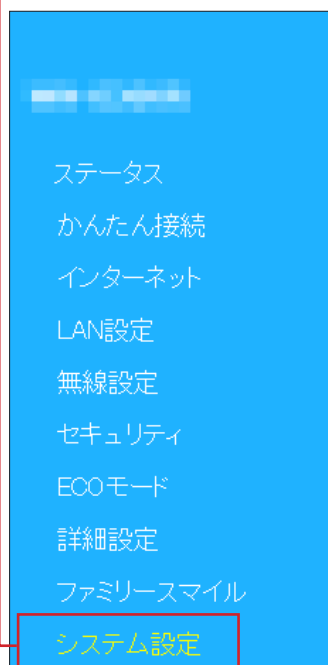


以上で、出荷時設定に戻りました。

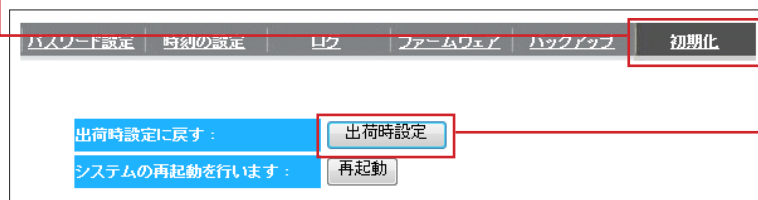
設定画面で戻す場合

1 設定画面を開く（「設定画面の開き方」59 ページ参照）

2 [システム設定] をクリック



3 ① [初期化] タブをクリック



② [出荷時設定] をクリック

以上で出荷時設定に戻りました。

設定画面のリファレンス

設定画面メニューの各項目について説明します。本製品の動作モードにより表示されるメニューは異なります。

ステータス

お知らせ内容	
インターネット側がLinkしていません。接続を確認してください。	
システム	
モデル	■■■■■
現在時刻	■■■■■
ファームウェアバージョン	■■■
ブートコードのバージョン	■■■
インターネットの設定	
接続方法	PPPoE
IPアドレス	---
サブネットマスク	---
デフォルトゲートウェイ	---
MACアドレス	■■■■■
DNS	---
LANの設定	
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	■■■■■
無線LANの設定	
チャンネル	4
SSID 1	
SSID	■■■■■
セキュリティ	WPA/WPA2 pre-shared key
MACアドレス	■■■■■

お知らせ内容	
本製品に関するお知らせ内容を表示します。	
表示内容	概要
お知らせはありません。	お知らせすべき内容がありません。
インターネットが接続されていません。接続および設定を確認してください。	インターネットが切断されています。(PPPoEやDHCPで接続できない) (「困ったときには」101ページ参照)
インターネット側がLinkしていません。接続を確認してください。	インターネットが切断されています。(インターネット側がリンクしていない) (「困ったときには」101ページ参照)
ファミリースマイルの有効期限が切れています。ライセンスを更新してください。	ファミリースマイルの認証で有効期限切れとなっています。 (「困ったときには」101ページ参照)
新しいファームウェアが提供されています。ここをクリックしてファームウェアをダウンロードして更新してください。	新しいファームウェアがあります。お知らせ内容の「ここをクリック」をクリックし、ファームウェアをダウンロードして、更新してください。 (「ファームウェアのバージョンアップ方法」77ページ参照)
システム	
モデル	本製品の名前を表示します。
現在時刻	現在の時刻を表示します。
ファームウェアのバージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。
ブートコードのバージョン	本製品のブートコードバージョンを表示します。
インターネットの設定	
接続方法	インターネットの接続方法を表示します。
IPアドレス	インターネット側のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	インターネット側のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	インターネット側のゲートウェイアドレスを表示します。
MACアドレス	インターネット側のMACアドレスを表示します。
DNS	使用するDNSを表示します。
LANの設定	
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。
DHCPサーバー	DHCPサーバーの状態を表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
無線LANの設定	
チャンネル	無線LANで使用中のチャンネルを表示します。
SSID1~2	
SSID	本製品のSSIDを表示します。
セキュリティ	暗号化の方法を表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。

かんたん接続

インターネット接続を自動的に判定します。
かんたん接続ボタンをクリックしてください。

かんたん接続

かんたん接続

インターネットへの接続を自動的に判定し、設定します。

インターネット

IPアドレス自動取得

本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得
 IPアドレス固定設定
 PPPoE認証
 アクセスポイントモード

ホスト名:

IPv6パスルー: 有効 無効

ホスト名	ホスト名を入力します。
IPv6パスルー	[有効] [無効] を選択します。IPv6を使用する場合は [有効] を選択します。

IPアドレス固定設定

本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得
 IPアドレス固定設定
 PPPoE認証
 アクセスポイントモード

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

DNSサーバー1:

DNSサーバー2:

IPv6パスルー: 有効 無効

IPアドレス	プロバイダーから指定されたIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	プロバイダーから指定されたデフォルトゲートウェイを入力します。
DNSサーバー1	プロバイダーから指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。
DNSサーバー2	
IPv6パスルー	[有効] [無効] を選択します。IPv6を使用する場合は [有効] を選択します。

PPPoE認証

本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得
 IPアドレス固定設定
 PPPoE認証
 アクセスポイントモード

ユーザーID:

接続パスワード:

MTU: (576 <= MTU 値 <= 1492)

IPv6パスルー: 有効 無効

ユーザーID	プロバイダーから指定されたアカウント名を入力します。 ※NTTフレッツシリーズの場合は、ユーザーIDに@マークから後ろも全て入力します。
接続パスワード	プロバイダーから指定された接続パスワードを入力します。
MTU	MTU値を変更する場合は576～1492の間で入力します。
IPv6パスルー	[有効] [無効] を選択します。IPv6を使用する場合は [有効] を選択します。

アクセスポイントモード

本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得
 IPアドレス固定設定
 PPPoE認証
 アクセスポイントモード

LAN設定

IPアドレス設定

IPアドレス設定 DHCP

IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定が行えます。

IPアドレス設定

IPアドレス:

サブネットマスク:

DHCPサーバー

DHCPサーバー:

リース時間:

開始IP:

終了IP:

IPアドレス設定	
IPアドレス	本製品LAN側のIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。本製品のサブネットマスクは「255.255.255.0」で固定です。
DHCPサーバー	
DHCPサーバー	DHCPサーバー機能の「有効」「無効」を選択します。「有効」にすると、本製品のLANポートに接続したパソコンのIPアドレスを自動的に割り当てます。
リース時間	IPアドレスを開放し、再取得する間隔を設定します。
開始IP	割り当てるIPアドレスの開始IPを設定します。
終了IP	割り当てるIPアドレスの終了IPを設定します。

DHCP

IPアドレス設定 DHCP

DHCPクライアントテーブル

DHCPクライアントテーブルは、DHCPサーバーにより割り当てられたクライアントのIPアドレスを表示します。

IPアドレス	MACアドレス	リース残り時間
<input type="text" value="192.168.0.1"/>	<input type="text" value="08:00:27:00:00:01"/>	0 day 23:39:23

特定のMACアドレスに対してIPアドレスを割り当てできます。

固定DHCP IPを有効にする

IPアドレス	MACアドレス
<input type="text"/>	<input type="text"/>

現在の固定DHCPテーブル:

NO.	IPアドレス	MACアドレス	選択
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

DHCPクライアントテーブル	
IPアドレス	割り当てられたIPアドレスを表示します。
MACアドレス	割り当てられたIPアドレスを表示します。
リース残り時間	IPアドレスを開放し、再取得するまでの時間を表示します。
固定DHCP IPを有効にする	チェックすると、IPアドレスを固定にできます。
IPアドレス	割り当てるIPアドレスを入力します。
MACアドレス	IPアドレスを割り当てる機器のMACアドレスを入力します。 ※MACアドレスは、「1234567890ab」のように連続した12桁の半角英数字で入力してください。
現在の固定DHCPテーブル	「固定DHCP IPを有効にする」にチェックし、設定したIPアドレス等を表示します。

無線設定

基本設定

無線LAN	無線LANを使用するか否かを設定します。 有効：無線LANを使用します。 無効：無線LANを使用しません。
有効SSID	使用するSSIDの数を変更します。
SSID1	1つ目のSSIDの名前を指定（変更）します。 出荷時設定：[AirPortxxxxx](xxxxxは製品ごとに違います。)
SSID2	2つ目のSSIDの名前を指定（変更）します。 出荷時設定：[Gamexxxxx](xxxxxは製品ごとに違います。)
オートチャンネル	無線LANのチャンネルを通信に最適な値に設定します。無効にするとチャンネルを指定できます。

暗号化

▼WPA-PSKの場合

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。
SSIDの通知	SSIDの通知の [有効] [無効] を設定します。 ※SSID1の [SSID通知] を [無効] にするとWPS機能が利用できません。
WMM	WMM機能は常に有効です。
暗号化	暗号化をおこなう方法を設定します。
キーの更新間隔	グループキーの更新間隔を指定します。
WPAの種類	暗号化をおこなう種類を選択します。
キーの種類	[ASCII文字] [16進数(64文字)] から選択します。
暗号キー	暗号文字を入力します。 セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。

ASCII (8~63文字)	任意のPre Shared Keyを入力します。(半角英数字で8~63文字で入力します。)
16進数 (64文字)	任意のPre Shared Keyを入力します。(0~9、A~Fで64文字入力します。)

入力した暗号キーはメモしておくことをおすすめします。(無線LANアダプター設定時に必要になります。)

▼WEPの場合

基本設定 | 暗号化 | 詳細設定 | フィルタ | WPS | クライアントリスト

無線LANのセキュリティの設定ができます。無線LANを暗号化することにより不正なアクセスを防ぎます。

SSIDの選択: []

SSID通知: 有効

WMM: 有効

暗号化: WEP

認証方式: Open System

キーの長さ: 64bit

キーの種類: ASCII (5文字)

デフォルト キー: キー 1

暗号化 キー 1: []

暗号化 キー 2: []

暗号化 キー 3: []

暗号化 キー 4: []

設定 キャンセル

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。								
SSIDの通知	SSIDの通知の [有効] [無効] を設定します。 ※SSID1の [SSID通知] を [無効] にするとWPS機能が利用できません。								
WMM	WMM機能は常に有効です。								
暗号化	暗号化をおこなう方法を設定します。 ※SSID1の [暗号化] を [WEP] にするとWPS機能が利用できません。								
認証方式	認証方式は [Open System] 固定です。								
キーの長さ	[64bit] または [128bit] を選択します。								
キーの種類	暗号化キーの文字の処理を選択します。 [ASCII (5文字)] [16進数 (10文字)] [ASCII (13文字)] [16進数 (26文字)] から選択します。								
デフォルト キー	どの暗号化キーを使うか指定します。								
暗号化キー 1~4	暗号文字を入力します。 セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。 <table border="1" data-bbox="1018 792 1509 1245"> <tr> <td>64ビット-ASCII</td> <td>任意のWEPキーを入力します。 (半角英数字で5文字で入力します。) 例: ABCDE</td> </tr> <tr> <td>64ビット-16進数</td> <td>任意のWEPキーを入力します。 (0~9、A~Fで10文字入力します。) 例: 0123456789</td> </tr> <tr> <td>128ビット-ASCII</td> <td>任意のWEPキーを入力します。 (半角英数字で13文字で入力します。) 例: ABCDEFGHIJKLM</td> </tr> <tr> <td>128ビット-16進数</td> <td>任意のWEPキーを入力します。 (0~9、A~Fで26文字入力します。) 例: 01234567890123456789ABCDEF</td> </tr> </table> 入力した暗号キーはメモしておくことをおすすめします。(無線LANアダプター設定時に必要になります)	64ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。 (半角英数字で5文字で入力します。) 例: ABCDE	64ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。 (0~9、A~Fで10文字入力します。) 例: 0123456789	128ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。 (半角英数字で13文字で入力します。) 例: ABCDEFGHIJKLM	128ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。 (0~9、A~Fで26文字入力します。) 例: 01234567890123456789ABCDEF
64ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。 (半角英数字で5文字で入力します。) 例: ABCDE								
64ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。 (0~9、A~Fで10文字入力します。) 例: 0123456789								
128ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。 (半角英数字で13文字で入力します。) 例: ABCDEFGHIJKLM								
128ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。 (0~9、A~Fで26文字入力します。) 例: 01234567890123456789ABCDEF								

▼無効の場合

基本設定 | 暗号化 | 詳細設定 | フィルタ | WPS | クライアントリスト

無線LANのセキュリティの設定ができます。無線LANを暗号化することにより不正なアクセスを防ぎます。

SSIDの選択: []

SSID通知: 有効

WMM: 有効

暗号化: 無効

設定 キャンセル

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。
SSIDの通知	SSIDの通知の [有効] [無効] を設定します。 ※SSID1の [SSID通知] を [無効] にするとWPS機能が利用できません。
WMM	WMM機能は常に有効です。
暗号化	暗号化をおこなう方法を設定します。

詳細設定

基本設定 暗号化 詳細設定 フィルター WPS クライアントリスト

ここでの設定は、無線LANに関して十分な知識を持っている上級者向けです。

RTSスレッシュホールド: (1-2347)

ビーコン間隔: (20-1024 ms)

DTIM周期: (1-255)

使用する帯域: 20/40 MHz 20 MHz

送信出力:

RTSスレッシュホールド (RTSしきい値)	設定した値よりも大きいパケットを送信する場合に、RTS (送信要求) をおこないません。減らすとRTSは増えますが、通信効率が上がることがあります。
ビーコン間隔	無線電波の送出間隔を設定します。減らすと通信品質は上がりますが、他の機器との干渉が大きくなります。
DTIM周期	無線LAN/パソコンからの応答間隔を指定します。減らすと他の機器との干渉が少なくなりますが、通信品質は下がります。
使用する帯域	使用する帯域を選択します。
送信出力	本製品の通信出力を設定します。

フィルター

基本設定 暗号化 詳細設定 フィルター WPS クライアントリスト

MACアドレスフィルタリングテーブルに追加されたMACアドレスを持つクライアントのみがアクセスポイントに接続できます。

MACアドレスフィルタリング有効

説明	MACアドレス
<input type="text"/>	<input type="text"/>

MACアドレスフィルタリングテーブル:

NO.	説明	MACアドレス	選択
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

MACアドレスフィルタリング有効	<p>チェックすると、指定したMACアドレスを持つ無線LAN機器のみがアクセスポイントに接続できるようになります。</p> <p>※「MACアドレスフィルタリング」機能を有効にする場合、本製品のWPS機能を無効にする必要があります。</p> <p>以下の手順でフィルターの設定およびWPSを無効にする設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [WPS] タブをクリックします。 ② [WPS] の [有効] のチェックを外し、[設定] をクリックします。 ③ [フィルター] タブをクリックします。 ④ [説明] に任意の説明文を入力します。 ⑤ [MACアドレス] に機器のMACアドレスを入力します。 ※MACアドレスは、[1234567890ab] のように連続した12桁の半角英数字で入力してください。 ⑥ [追加] をクリックします。 ⑦ [MACアドレスフィルタリング有効] にチェックします。 ⑧ [設定] をクリックします。 <p>追加されたMACアドレスは下の [MACアドレスフィルタリングテーブル] に表示されます。</p>
------------------	--

WPS

基本設定 | 暗号化 | 詳細設定 | フィルター | **WPS** | クライアントリスト

WPS : 有効

Wi-Fi Protected Setup 情報

WPS情報 : Configured

接続する機器にボタンがある場合は、下のボタンをクリックするか、WPSランプが点滅するまで本体の[セットアップ]ボタンを押し、接続する機器のボタンを押して下さい。

WPS プッシュボタン設定 :

接続する機器にPINコードがある場合は、下にPINコードを入力し、[接続]ボタンをクリックしてください。

WPS PINコード設定 :

接続する機器に、PINコードを入力する場合は、下のPINコードを入力してください。

PINコード :

WPS	チェックすると、WPS接続が可能になります。
WPS情報	WPSの状態を表示します。[設定をリセットする]を押すと、UnConfiguredの設定になります。 ※Configuredにするには、SSID1のSSIDを変更するか、もしくはWPSで子機を接続してください。
WPSプッシュボタン設定	プッシュボタンを押して、WPS接続をおこないます。 ※ [セットアップ] を押した後、2分間待ち受けします。
WPS PINコード設定	PINコードを入力し、[接続] を押して接続をおこないます。
PINコード	本製品のPINコードを表示します。 本製品と接続する機器にPINコードを入力する場合は、このPINコードを入力してください。

クライアントリスト

基本設定 | 暗号化 | 詳細設定 | フィルター | WPS | **クライアントリスト**

無線LANクライアントテーブル:

無線LANクライアントテーブルは、本製品に接続しているクライアントのMACアドレスを表示します。

インターフェース	MACアドレス
ルーターにクライアントが接続されていません	

無線LANクライアントテーブル
本製品に無線LANで接続しているクライアントのMACアドレスを表示します。

セキュリティ

パススルー

パススルー DMZ DoS

PPTPパススルー: 有効 無効

IPSecパススルー: 有効 無効

設定 キャンセル

PPTPパススルー	[有効] [無効] を選択します。
IPSecパススルー	[有効] [無効] を選択します。

DMZ

パススルー DMZ DoS

DMZ設定を行うことで、インターネット上にDMZホストによるサービスを提供することができます。ただし、ローカルプライベートネットワーク(LAN)への不正アクセス等、外部からの侵入を防止することができなくなりますので注意が必要です。通常、DMZホストには、ウェブ(HTTP)サーバ、FTPサーバ、SMTP(メール)サーバおよびDNSサーバ等、インターネットから直接アクセスが必要なデバイスが該当します。

DMZを有効にする

ローカル IPアドレス: パソコンの選択 ▼

設定 キャンセル

DMZを有効にする	チェックすると、DMZを有効にします。
ローカルIPアドレス	DMZホスト機能を有効に設定するパソコンのIPアドレスを入力します。 [パソコンの選択] からIPアドレスを選択すると、簡単に入力できます。

DoS

パススルー DMZ DoS

DoS攻撃防御を設定します。

DoS攻撃防御: 有効 無効

設定 キャンセル

DoS攻撃防御	[有効] [無効] を選択します。
---------	-------------------

ECOモード

ECOモード

▼パソコンの場合

ECOモード

設定モード: カスタム 設定

本体のWPSボタンを押すことにより、ECOモードを強制解除できます。ECOモードが解除されると、電源ランプが「点滅」から「点灯」に変わります。

カスタム設定:

ランプ: 点灯モード

有線 LAN: 通常モード

無線 LAN: オン

スケジュール設定

スケジュール設定を利用する

開始時間: 00:00 終了時間: 01:00

曜日設定

月	火	水	木	金	土	日	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	反映

曜日	時間	選択
----	----	----

選択して削除
全て削除

▼スマートフォンの場合

I-O DATA

ECOモードを設定すると本製品の消費電力を削減することができます。

設定モード: 利用しない

推奨: ランプ「消灯モード」、有線LAN「低速モード」、無線LAN(2.4G)「低速モード」、無線LAN(5G)「低速モード」に設定されます

ECOモード時は電源ランプが点灯します。

本体のWPSボタンを短く(1秒以内)押すことにより、ECOモードを一時的に解除できます。

設定

設定モード	<p>[推奨設定] [カスタム] [利用しない] から選択します。</p> <p>[推奨設定] または [カスタム] を選択すると、消費電力を削減できます。</p> <p>[設定] ボタンを押すと設定が反映されます。</p> <p>▼ [推奨設定] 設定時 ランプ: [消灯モード] 有線LAN: [オン] 無線LAN: [オン]</p>						
ランプ	<p>[設定モード] で [カスタム] を選択すると設定できます。</p> <p>[点灯モード] [消灯モード] から選択します。</p> <p>[設定] ボタンを押すと設定が反映されます。</p>						
有線LAN	<p>[設定モード] で [カスタム] を選択すると設定できます。</p> <p>[全てオフ][LANオフ][通常モード]から選択します。</p> <p>[設定] ボタンを押すと設定が反映されます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">全てオフ</td> <td>全ての有線ポートがオフになります。</td> </tr> <tr> <td>LANオフ</td> <td>LAN1~4ポートがオフになります。</td> </tr> <tr> <td>通常モード</td> <td>通常の動作をします。</td> </tr> </table>	全てオフ	全ての有線ポートがオフになります。	LANオフ	LAN1~4ポートがオフになります。	通常モード	通常の動作をします。
全てオフ	全ての有線ポートがオフになります。						
LANオフ	LAN1~4ポートがオフになります。						
通常モード	通常の動作をします。						
無線LAN	<p>[設定モード] で [カスタム] を選択すると設定できます。</p> <p>[オフ][低速モード][通常モード]から選択します。</p> <p>[設定] ボタンを押すと設定が反映されます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">通常モード</td> <td>通常の動作をします。</td> </tr> <tr> <td>低速モード</td> <td>無線の最大伝送速度が150Mbpsになります。</td> </tr> <tr> <td>オフ</td> <td>無線がオフになります。</td> </tr> </table>	通常モード	通常の動作をします。	低速モード	無線の最大伝送速度が150Mbpsになります。	オフ	無線がオフになります。
通常モード	通常の動作をします。						
低速モード	無線の最大伝送速度が150Mbpsになります。						
オフ	無線がオフになります。						
スケジュール設定を利用する	<p>チェックすると、スケジュール設定を利用できます。</p> <p>※ スケジュールは9件まで作成できます。</p> <p>※ 同じ時間帯で複数の曜日を設定した場合は、1件としてカウントされます。</p> <p>(例: 13:00~17:00で土・日を選択した場合、これで1件のスケジュールとしてカウントします。)</p>						
開始時間	[開始時間] から [終了時間] までの間、ECOモードの設定が有効になります。						
終了時間	[設定] ボタンを押すと設定が反映されます。						
曜日設定	<p>チェックした曜日のみECOモードの設定が有効になります。</p> <p>[反映] ボタンを押すと設定が反映されます。</p>						
選択	<p>チェックし、[選択して削除] をクリックすると、選択したスケジュールを削除します。</p> <p>[全て削除] をクリックすると、すべてのスケジュールを削除します。</p>						

設定モード	<p>[推奨設定] [利用しない] から選択します。</p> <p>[推奨設定] を選択すると、消費電力を削減できます。 [設定] ボタンを押すと設定が反映されます。</p> <p>▼ [推奨設定] 設定時 ランプ: [消灯モード] 有線LAN: [通常モード] (通常の動作をします。) 無線LAN: [低速モード] (無線の最大伝送速度が150Mbpsになります。)</p>
-------	--

詳細設定

ポートの開放

ポートの開放

ネットワークゲーム、ネットワークカメラ、サーバー等を公開する時に設定します。

ポートの開放を有効にする

設定名:

公開する機器のIPアドレス:

プロトコル: 両方 ▼

LAN側ポート番号:

インターネット側ポート番号:

ポートの開放一覧:

NO	設定名	IPアドレス	LAN側ポート	タイプ	インターネット側ポート	選択

ポートの開放を有効にする	チェックするとポートの開放機能を利用できます。
設定名	識別するための名称を入力します。
公開する機器のIPアドレス	公開する機器のIPアドレスを入力します。
プロトコル	[TCP] [UDP] [両方] から選択します。
LAN側ポート番号	インターネット上から見えるポート番号を入力します。
インターネット側ポート番号	インターネットに公開するポート番号を入力します。

UPnP

ポートの開放 **UPnP** **リダイレクト**

UPnPの設定を行います。

UPnP: 有効 無効

UPnP	[有効] [無効] を選択します。
------	-------------------

リダイレクト

ポートの開放 **UPnP** **リダイレクト**

HTTPリダイレクトの設定を行います

HTTPリダイレクト: 有効 無効

HTTPリダイレクト	[有効] [無効] を選択します。 [有効] (出荷時設定) では、インターネットに接続できなかった場合に、「かんたん接続」画面が表示されます。
------------	---

ファミリースマイル

ファミリースマイル


▼パソコンの場合

ファミリースマイルを利用する	チェックすると、ファミリースマイルを利用できます。	
ライセンス番号	ライセンスキーを入力します。 ※ ライセンスキーは本製品背面に貼付のシール上に記載されています。	
サービス	ファミリースマイルの状態と有効期限を表示します。	
	開始	ファミリースマイルが有効な状態です。
	無効	ファミリースマイルのURLリストが利用不可能な状態です。
	期限切れ	ファミリースマイルのライセンス有効期限がきています。
無効	ファミリースマイルが無効の状態です。	
全体制限	本製品に接続されるパソコン、ゲーム機等の全ての機器に対しての制限のレベルを設定します。	
MACアドレス	本製品に接続される機器毎に、制限レベルを設定します。 制限レベルを設定する機器のMACアドレスを入力し、制限レベルを選択します。 設定した内容が下の【個別制限】に表示されます。 ※MACアドレスは、[1234567890ab]のように連続した12桁の半角英数字で入力してください。	

▼スマートフォンの場合

ファミリースマイルを利用する	チェックすると、ファミリースマイルを利用できます。	
ライセンス番号	ライセンスキーを入力します。 ※ ライセンスキーは本製品背面に貼付のシール上に記載されています。	
サービス	ファミリースマイルの状態と有効期限を表示します。	
	開始	ファミリースマイルが有効な状態です。
	無効	ファミリースマイルのURLリストが利用不可能な状態です。
	期限切れ	ファミリースマイルのライセンス有効期限がきています。
無効	ファミリースマイルが無効の状態です。	
全体制限	本製品に接続されるパソコン、ゲーム機等の全ての機器に対しての制限のレベルを設定します。	

※ 個別制限、カスタムレベルの編集は、パソコンから設定画面を開いて設定してください。

ヒント ファミリースマイルの使用方法については、弊社Webページよりファミリースマイルの「画面で見えるマニュアル（2カ月間無償版の場合）」をご覧ください 

➔ <http://www.iodata.jp/r/3861>

URLフィルター

URLフィルター を利用する	チェックすると、アクセスを許可するページ（ホワイトリスト）、許可しないページ（ブラックリスト）を個別に登録することができます。
URL	アクセスを制限したいURL（ホスト部に含まれるキーワード）を入力し、「許可」「拒否」を選択します。 設定した内容が下の「フィルタリスト」に表示されます。 例) http://aaa.co.jpを設定したい場合、「aaa.co.jp」を入力

ブロックログ

ブロックしたログ（日付、URL、ブロックしたURLにアクセスしようとしたIPアドレス、対象のカテゴリ）を表示します。

システム

パスワード設定

パスワード設定 | 時刻の設定 | ログ | ファームウェア | バックアップ | 初期化

本製品にアクセスするためのパスワードを変更できます。

ログイン名:

現在のパスワード:

新しいパスワード:

パスワード再入力:

設定 キャンセル

ログイン名	管理者用のログイン名を設定します。
現在のパスワード	現在使用しているパスワードを入力します。
新しいパスワード	変更するパスワードを入力します。
パスワード再入力	確認のため、「パスワード」と同じパスワードを入力します。

※ パスワードを設定すると、設定画面を開く際にログイン画面が表示され、ここで設定したログイン名、パスワードを入力します。

時刻の設定

パスワード設定 | 時刻の設定 | ログ | ファームウェア | バックアップ | 初期化

時刻の設定を行います。

時刻の設定方法: NTPサーバーとの同期

NTPサーバー:

設定 キャンセル

時刻の設定方法	時刻の設定方法を表示します。
NTPサーバー	時刻を入手するURLを選択します。

ログ

パスワード設定 | 時刻の設定 | ログ | ファームウェア | バックアップ | 初期化

ログを表示します。

```

day 1 00:11:32 [SYSTEM]: DNS, start DNS Proxy
day 1 00:11:29 [SYSTEM]: NET, start Firewall
day 1 00:11:29 [SYSTEM]: NET, start NAT
day 1 00:11:29 [SYSTEM]: NET, stop Firewall
day 1 00:11:29 [SYSTEM]: NET, stop NAT
day 1 00:11:29 [SYSTEM]: WAN, No PHY Link
day 1 00:11:27 [SYSTEM]: DHCP Server, Sending ACK of
day 1 00:11:27 [SYSTEM]: DHCP Server, Sending OFFER of
day 1 00:11:26 [SYSTEM]: WAN, start PPPoE mode
    
```

保存 クリア 更新

ログを表示します。表示されたログのファイル保存、削除、表示の更新がおこなえます。

ファームウェア

パスワード設定 | 時刻の設定 | ログ | ファームウェア | バックアップ | 初期化

本製品のファームウェアの更新ができます。

参照...

更新 キャンセル

本製品のファームウェアの更新がおこなえます。
 [参照] ボタンをクリックし、事前にダウンロードしたファームウェアファイルを指定して、[更新] をクリックします。

バックアップ

パスワード設定	時刻の設定	ログ	ファームウェア	バックアップ	初期化
---------	-------	----	---------	---------------	-----

本製品を工場出荷時設定に戻すには、出荷時設定ボタンを押してください。保存ボタンで現在の設定を保存できます。復元するには、保存したファイル(config.dif)を復元してください。

設定の保存 :

設定の復元 :

設定の保存	[保存] を押すと、本製品の各種設定情報をファイルに保存できます。 (保存先を選択し、[config.dif] ファイルを保存します。)
設定の復元	[設定の保存]で保存したファイルから本製品の各種設定情報を読み込み、復元します。 [参照] を押し、[設定の保存]で保存したファイルを読み込み、[復元] を押します。

初期化

パスワード設定	時刻の設定	ログ	ファームウェア	バックアップ	初期化
---------	-------	----	---------	--------	------------

出荷時設定に戻す :

システムの再起動を行います :

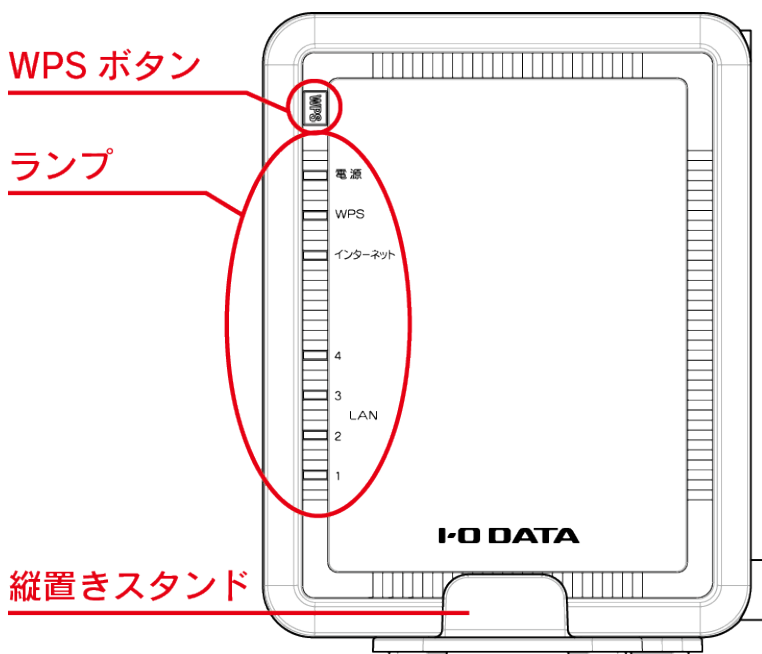
出荷時設定に戻す	[出荷時設定] を押すと、本製品の各種設定情報が出荷時設定に戻ります。
システムの再起動を行います	本製品を再起動します。 ※数分かかる場合があります。

仕様

各部の名前と機能	97 ページ
動作環境/仕様	98 ページ

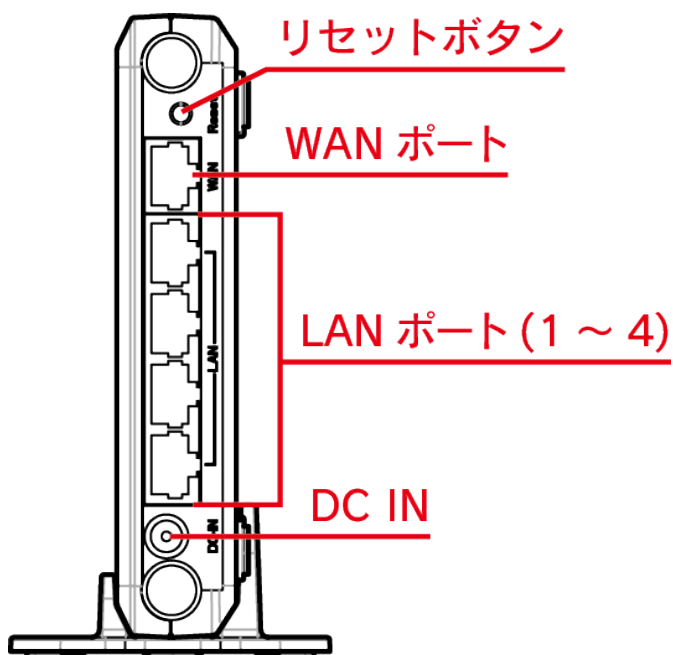
各部の名前と機能

▼ 前面



ボタン		概要	
WPS		約3秒間押すことで、無線LANアダプターとWPSでの設定モードとなります。(約120秒待ち受けします。)	
ランプ		状態	
電源	緑	点灯	電源オン
		点滅	エコモード
WPS	緑	点滅	無線LANアダプターとWPS機能を使い接続設定中。
		点灯	100/10Mbpsでリンク中
インターネット	緑	点滅	100/10Mbpsでデータ送受信中
		点灯	100/10Mbpsでリンク中
LAN1～4	緑	点灯	100/10Mbpsでリンク中
		点滅	100/10Mbpsでデータ送受信中

▼ 側面



ボタン		概要	
リセット		本製品の設定を初期値に戻します。本製品設定画面のパスワードを忘れてしまった場合などに使用します。 (「出荷時設定に戻す方法」79 ページ参照)	
ポート		概要	
WAN		FTTH/ADSL/CATVモデムをLANケーブルで接続するためのポートです。	
LAN (1～4)		パソコンやハブ (ローカルネットワーク側) を接続するためのポートです。(10Mbpsと100Mbpsを自動認識します。接続されたLANケーブルが、ストレートかクロスかを自動認識します。)	
DC IN		添付のACアダプターを接続します。	

動作環境/仕様

動作環境

通信できる無線LAN機器	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b準拠の無線LAN製品と通信できます。 ※ 無線LANの接続推奨台数として、4台以下でのご使用をおすすめします。 ※ 本製品は無線LANアクセスポイント機能付きWi-Fiルーターです。アクセスポイント間通信に対応していないため、他のアクセスポイント（本製品同士も含む）と無線での通信はできません。
対応OS (日本語版のみ)	Windows® 8.1 (32/64ビット版) Windows® 8 (32/64ビット版) Windows® 7 (32/64ビット版) SP1以降 Windows Vista® (32ビット版) SP2以降 Windows® XP SP3以降 Mac OS X 10.4.11~10.9
設定に必要なソフトウェア	Windows : Internet Explorer 6.0以降 Mac OS : Safari 4.0以降

仕様

ルーター部	
有線規格	IEEE802.3u(10BASE-TX)、IEEE802.3(10BASE-T)
対応プロトコル	TCP/IP (IPv4)
伝送速度	10Mbps(10BASE-T)、100Mbps(100BASE-TX)
インターネットポート	RJ-45×1ポート、Auto MDI/MDI-X、Auto-Negotiation
LANポート	RJ-45×4ポート、全ポートAuto MDI/MDI-X、Auto-Negotiation
インターネット接続方法	IPアドレス自動取得、PPPoE認証(1セッション)、IPアドレス固定
サブネットマスク	255.255.255.0固定
その他機能	SPI、DoS攻撃防御、DHCPサーバー(最大253台)、ポートの開放(最大16エントリー)、DMZホスト、UPnP、IPv6パズスルー、MTU設定、NTPクライアント、IPsecパズスルー、PPTPパズスルー

無線LAN側ネットワーク部	
無線規格	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b
通信周波数	2.4GHz帯
伝送方式	IEEE802.11g/11n : 直交周波数分割多重方式(OFDM) IEEE802.11b : 直接拡散スペクトラム拡散方式(DS-SS)
伝送速度	有線部 インターネット側 : 100Mbps、10Mbps LAN側 : 100Mbps、10Mbps 無線部 IEEE802.11n : 最大300Mbps IEEE802.11g : 最大54Mbps IEEE802.11b : 最大11Mbps
アンテナ方式	内蔵アンテナ×2 (送信×2、受信×2)
対応プロトコル	TCP/IP(IPv6/IPv4)
無線LANセキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES)/WPA-PSK(TKIP/AES)/WEP(128/64bit)
無線LAN機能	MACアドレスフィルタリング、SSID通知のON/OFF、自動チャンネル選択(オートチャンネル)、送信出力制限、WPS、WMM
無線LANに接続できる機器の台数	推奨4台

一般仕様

外形寸法	約125(W)×98(D)×27(H)mm (突起部含まず)
質量	約130g (本体のみ)
電源	DC5V (添付ACアダプターによる給電)
消費電流	最大640mA
使用温度範囲	0～35℃
使用湿度範囲	10～85% (結露しないこと)
環境対応	RoHS指令準拠

出荷時設定一覧

LAN側設定	IPアドレス	192.168.0.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
無線LAN設定	SSID1	AirPortxxxx (xxxxは機器により異なる。)
	SSID1 無線セキュリティ設定	WPA2-PSK(TKIP/AES)
	暗号キー	製品に貼付のシールに記載のキーを入力済み
	SSID2	Gamexxxx (xxxxは機器により異なる。)
	SSID2 無線セキュリティ設定	WEP
	暗号キー	製品に貼付のシールに記載のキーを入力済み
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー機能	有効
	開始IPアドレス	192.168.0.2
	終了IPアドレス	192.168.0.32
	リース時間	1日
パスワード設定	なし	
ポートの開放	無効	
DMZ	無効	
UPnP	有効	
セキュリティ設定	システム設定	インターネットからのPing拒否：有効 (固定) DoS攻撃防御：有効

困ったときには

困ったときには	101 ページ
アフターサービスについて..	117 ページ
ハードウェア保証規定.....	119 ページ

困ったときには

参照したいトラブルの対処をご覧ください。

インターネット接続時のトラブル

トラブルの内容	参照ページ
パソコン内蔵の無線LANでインターネット接続ができない	102 ページ
有線LANでインターネット接続ができない	103 ページ
NTTフレッツ光回線でインターネット接続ができない	103 ページ
LAN側のIPアドレスを変更したら接続できなくなった	104 ページ
1台目のパソコンは接続できているが、2台目以降のパソコンがインターネット接続できない	105 ページ

無線LANに関するトラブル

トラブルの内容	参照ページ
無線LANアダプター側のパソコンとの通信速度が遅い、不安定	106 ページ
Wi-Fi対応ゲーム機で通信できない	106 ページ
SSIDが検索されない	106 ページ
本製品のSSIDとセキュリティキー（暗号キー）の設定値を知りたい	106 ページ

設定画面に関するトラブル

トラブルの内容	参照ページ
「Magical Finder」で本製品が表示されない	107 ページ
設定画面が表示されない	107 ページ
パスワードを忘れてしまった	109 ページ

その他のトラブル

トラブルの内容	参照ページ
本製品に接続するパソコンを追加したい	109 ページ
ネットワークゲームやサーバー公開ができない	109 ページ
ファイルやプリンターを共有をしたい	110 ページ
パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい	112 ページ
パソコンのIPアドレスを手動設定（固定設定）にしたい	114 ページ

ヒント

弊社Webページにも製品Q&Aを掲載しています

併せてご覧ください。またファームウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。

➔ <http://www.iodata.jp/r/4469>



インターネット接続のトラブル

Q パソコン内蔵の無線LANでインターネット接続ができない

対処 パソコン内蔵の無線LAN機能をご利用になる場合、内蔵の無線LAN機能が有効（オン）になっていることを確認してください。詳しくはパソコンの取扱説明書等をご参照ください。

対処 Windows XPで、無線LANアダプター用のユーティリティソフトをインストールしている場合は、Windows XP標準の「Wireless Zero Configuration」のサービスが停止するため、無線LAN接続の設定ができない状態となります。ご利用の無線LANアダプターのユーティリティソフトを利用される場合は、無線LANアダプターの取扱説明書等を確認し、設定してください。

ユーティリティを使用せずに本製品と接続する場合は、ユーティリティソフトをアンインストールするか、「Wireless Zero Configuration」サービスが有効になるようにユーティリティソフト側で設定変更してください。設定方法については、ご利用の無線LANアダプターの取扱説明書をご参照ください。

対処 無線間の距離を短くし、障害物を取り除き、アクセスポイントの通信チャンネルを変更してから再度お試しください。また、本製品のチャンネル設定を変更してみてください。（チャンネル変更は本製品の設定画面の[無線設定]→[基本設定]からおこないます。）

対処 パソコンのIPアドレスが自動取得(DHCP)の場合は、電源を入れる順番をDHCPサーバーとなる機器から先に電源を入れて、最後にパソコンの電源を入れてください。（DHCPサーバーとなる機器が本製品の場合は、本製品から先に電源を入れます。）

パソコンのIPアドレスの設定については、「パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい」112ページをご参照ください。

対処 パソコンのIPアドレスが固定の場合は、本製品のIPアドレスをパソコンと同一クラスのIPアドレスに設定してください。

対処 本製品と無線LAN接続する機器（パソコンなど）のSSIDと暗号化設定が、すべて同じ設定になっているかどうかご確認ください。

同じ設定になっていない場合は、本製品のSSIDと暗号キーを確認し、設定し直してください。

※ 出荷時設定は、本製品裏面のシールや添付の「無線LAN設定情報カード」に記載されています。

※ SSID1の出荷時設定は「AirPortxxxxx」です。（“xxxxx”は機器により異なります。）

※ セキュリティーキーは暗号キー欄に記載している13桁の英数字です。

また、ニンテンドーDSi/DS Lite/DSの場合は、暗号化方式をWEPに変更してから接続します。（「ニンテンドーDS Lite/ニンテンドーDSの場合」42ページ参照）



Q 有線LANでインターネット接続ができない

- 対処**
- ・ 本製品のLANランプが点灯しているかご確認ください。
 - ・ LANケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
 - ・ パソコンのLANアダプターが正常に動作しているか確認してください。

- 対処**
- パソコンのネットワーク設定で、IPアドレスの設定が"自動取得"になっていることを確認してください。
 「パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい」 112 ページの手順で確認します。
- ※ 本製品のDHPCサーバーを無効にした場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレスを手動設定してください。この際、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレスは本製品のIPアドレスを設定してください。

Q NTTフレッツ光回線でインターネット接続ができない

- 対処**
- 以下の内容についてご確認の上、該当する対処をおこなってください。
- NTTから配布されているモデム（終端装置）にルーター機能があるか確認する。
 - ルーター機能がある場合は、NTT側のモデムにPPPoE認証設定をおこなっているか確認する。
 (PPPoE認証設定とは、ご契約のプロバイダーから通知されている「接続用ID（アカウント）」と「接続用パスワード」を設定することです。ご不明な場合はNTT東日本社・NTT西日本社にご確認ください。)
- ▼ モデムにルーター機能があり、モデムのPPPoE認証も設定済みの場合
1. 本製品の「WAN」ポートにモデムからのLANケーブルが接続されていて、[インターネット]ランプが点灯していることを確認します。
 ⇒ ランプが点灯していない場合は、LANケーブルを接続しているポートや、モデム、本製品の電源が入っているか確認してください。
 2. パソコン→本製品→モデムの順に電源を切ります。
 本製品は電源ボタンがないので、ACアダプターをコンセントから外して電源を切ってください。
 モデムについても電源ボタンがない場合は、通信していないことを確認してコンセントから電源を切ってください。
 3. モデム→本製品→パソコンの順に電源を入れます。
 電源を入れる際は、モデムの電源を入れて起動完了するまで（ランプの状態が落ち着くまで）待つてから、次に本製品の電源を入れるようにしてください。
 4. それでもインターネットにつながらない場合は、本製品をアクセスポイントモードに変更してご確認ください。
 (「APモードに切り替える方法」 65 ページ参照)
- ▼ モデムにルーター機能あり、モデムのPPPoE認証設定をおこなっていない場合
1. モデムにPPPoE認証設定をおこないます。
 設定方法は、モデムの取扱説明書、セットアップガイド等をご参照ください。
 ご不明な場合は、NTT東日本社、NTT西日本社、プロバイダーにご相談ください。
 2. 本製品をアクセスポイントモードに変更してご確認ください。
 (「APモードに切り替える方法」 65 ページ参照)

▼ モデムにルーター機能がない場合

本製品にPPPoE認証設定が必要です。既に設定をおこなった上で接続がうまくいかない場合は、本製品をリセットし、初期状態に戻してから、再度設定をし直してください。（「出荷時設定に戻す方法」79 ページ参照）

- 1.添付のLANケーブルを、モデムのLANポートと本製品のインターネットポートに接続します。
- 2.パソコンと本製品を接続します。（「Step2 無線LANの接続設定をする」12 ページからご利用の手順を参照）
- 3.Webブラウザを起動します。
4. [かんたん接続] をクリックします。
 - ※ [かんたん接続] の画面が表示されない場合はWEBブラウザを起動し、アドレス欄に [http://192.168.0.1] と入力し、Enterキーを押します。
- 5.プロバイダーから指定された [ユーザーID] と [接続パスワード] を入力し、 [完了] ボタンをクリックします。
 - ご契約のプロバイダーより提供されているユーザーID、接続パスワードが記載された資料をご用意ください。資料が見つからない場合は、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
 - 資料に記載されているユーザーID（※1）、接続パスワード（※2）を入力してください。
 - 入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
 - ※1 ユーザーIDは、接続ID、認証ID、ログインID、接続ユーザー名などと表記されている場合があります。NTTフレッツシリーズ（フレッツ光やフレッツADSL）をご利用の場合は@以降もすべて入力します。
 - ※2 接続パスワードは、認証パスワード、ログインパスワードなどと表記されている場合があります。

Q LAN側のIPアドレスを変更したら接続できなくなった

- 対処**
- ▼ パソコンに固定でIPアドレスを設定している場合
 - ・パソコンのIPアドレスには、新しく設定した（変更した）ルーターのLAN側IPアドレスと同じネットワーククラスのIPアドレスを設定してください。
 - ・パソコンのゲートウェイ（ルーターアドレス）とDNSアドレスには、新しく設定した（変更した）ルーターのLAN側IPアドレスを設定してください。
 - ▼ パソコンにIPアドレスを自動的に取得させている場合
 - パソコンの再起動、またはパソコンが自動的に取得しているIPアドレスの解放と更新をおこなってください。（下記ヒント参照）

ヒント

IPアドレスの解放と更新方法



コマンドプロンプトを起動して、IPアドレスの解放と更新をおこないます。

- ①以下の手順でコマンドプロンプトを起動
 - ・ Windows 8の場合：チャームバーより [検索] → [コマンドプロンプト] の順にクリック
 - ・ Windows 7/XPの場合： [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を順にクリック
 - ・ Windows Vistaの場合： [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] を順にクリック → [コマンドプロンプト] を右クリックして「管理者として実行」をクリック
- ②IPCONFIG -RELEASE と入力し、[Enter]キーを押す ⇒ IPアドレスなどがすべて0.0.0.0になります。
- ③IPCONFIG -RENEW と入力し、[Enter]キーを押す ⇒ IPアドレスを再取得します。
- ④IPCONFIG -ALL と入力し、[Enter]キーを押す ⇒ IPアドレスをご確認ください。

Q 1台目のパソコンは接続できているが、2台目以降のパソコンがインターネット接続できない

対処 追加するすべての機器で無線LANの接続設定が必要です。
「Step2 無線LANの接続設定をする」12 ページを参照し、設定してください。

対処 モデム、本製品、パソコンの電源を一旦切り、モデム→本製品→パソコンの順に電源を入れ直してください。また、パソコンが自動的に取得しているIPアドレスの解放と書き換えをおこなってください。
(下記ヒント「IPアドレスの解放と更新方法」参照)

無線LANに関するトラブル

Q 無線LANアダプター側のパソコンと通信速度が遅いまたは不安定

対処 無線間の距離を短くし、障害物を取り除き、アクセスポイントの通信チャンネルを変更してから再度お試しください。
また、本製品のチャンネル設定を変更してみてください。（チャンネル変更は本製品の設定画面の[無線設定]→[基本設定]からおこないます。）

対処 ノートパソコンで省電力機能が有効になっている場合は、無効に変更してください。（詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。）

Q Wi-Fi対応ゲーム機で通信できない

対処 接続するSSIDがあっているかどうかご確認ください。
出荷時設定は「AirPortxxxxx」です。
※ “xxxxx” は機器により異なります。
※ SSIDの出荷時設定は、本製品裏面のシールに記載しています。
また、ニンテンドーDSi/DS Lite/DSの場合は、暗号化方式をWEPに変更してから接続するか、SSID2に接続します。（「ニンテンドーDS Lite/ニンテンドーDSの場合」42 ページ参照）

Q SSIDが検索されない

対処 無線間の距離を短くし、障害物を取り除き、アクセスポイントの通信チャンネルを変更してから再度お試しください。

対処 無線LANアダプターが正しく動作しているかどうかご確認ください。確認方法については、お使いの無線LANアダプターメーカーへお問い合わせください。

対処 パソコン内蔵の無線LAN機能をご利用になる場合、内蔵の無線LAN機能が有効（オン）になっていることを確認してください。詳しくはパソコンの取扱説明書等をご参照ください。

Q 本製品のSSIDとセキュリティキー（暗号キー）の設定値を知りたい

対処 本製品裏面に貼付のシールや、添付の「無線LAN設定情報カード」に記載されています。
セキュリティキーは、暗号キー欄に記載している13桁の英数字です。



※ “xxxxx” は機器により異なります。

対処 出荷時より変更している場合は、本製品の設定画面の[無線設定] → [暗号化] の画面で確認します。

設定画面に関するトラブル

Q 「Magical Finder」で本製品が表示されない

対処 しばらく待ってから「情報の更新」ボタンを押してみてください。

対処 ご利用のパソコンのファイアウォール機能、ウイルス対策ソフトを一時的に停止、終了したうえで再度ご確認ください。設定完了後は、元に戻してください。

Q 設定画面が表示されない

対処 本製品が起動中または再起動中の場合は、本製品のインターネットランプが点滅するまでお待ちください。

対処 「パソコン内蔵の無線LANでインターネット接続ができない」102ページの対処をお試しください。

対処 セキュリティソフトの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくはセキュリティソフトのメーカーにお問い合わせください。

対処 Magical Finder上に表示されている本製品のIPアドレスを確認し、ご利用のパソコンのIPアドレスと同じネットワーククラスになっているかどうかご確認ください。（Magical Finderの開き方については「設定画面の開き方」59ページ参照）

（例）パソコンのIPアドレスが「192.168.3.xxx」

本製品のIPアドレスが「192.168.3.yyy」（xxx、yyyにはそれぞれ違う数字が入ります。）

ここが同じ数字ならパソコンと本製品は同じネットワーククラス

本製品とパソコンが違うネットワーククラスになっている場合は、以下の対処をおこなってください。

●パソコンのIPアドレスが自動取得(DHCP)の場合

電源を入れる順番をDHCPサーバーとなる機器から先に電源を入れて、最後にパソコンの電源を入れてください。

（DHCPサーバーとなる機器が本製品の場合は、本製品から先に電源を入れます。）

パソコンのIPアドレスを自動取得(DHCP)にする場合は、「パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい」112ページをご参照ください。

●パソコンのIPアドレスが固定の場合

本製品のIPアドレスをパソコンと同じネットワーククラスのIPアドレスに設定してください。

Magical Finderを開き、本製品の「IP設定」ボタンをクリックし、設定します。

対処 設定用パソコンのIPアドレスをいったん解放し、更新（再取得）をおこなってください。（IPアドレスの解放と更新についてはヒント「IPアドレスの解放と更新方法」104ページ参照）

対処 Webブラウザがダイヤルアップする設定になっている場合は、以下の手順でダイヤルしない設定に変更してください。（例：Internet Explorer 9）

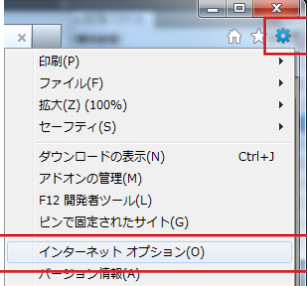
1 Internet Explorerを起動し、「ツール」メニューの「インターネット オプション」をクリック

2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」にチェックし、「OK」をクリック

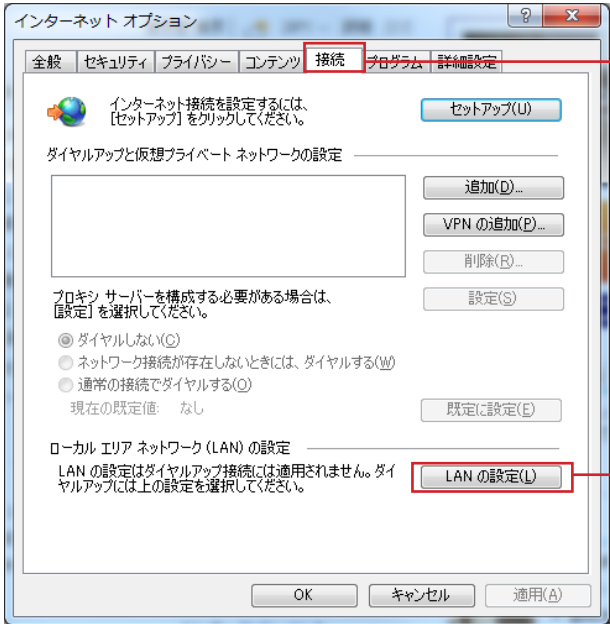
対処 Webブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出すことができません。ブラウザの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。

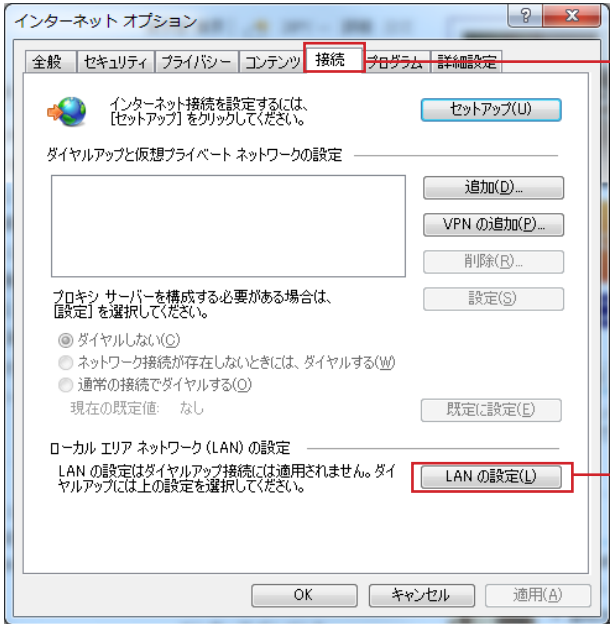
▼ Windowsの場合

1  ① Internet Explorerを起動し、 [ツール] メニューをクリック



② [インターネット オプション] をクリック

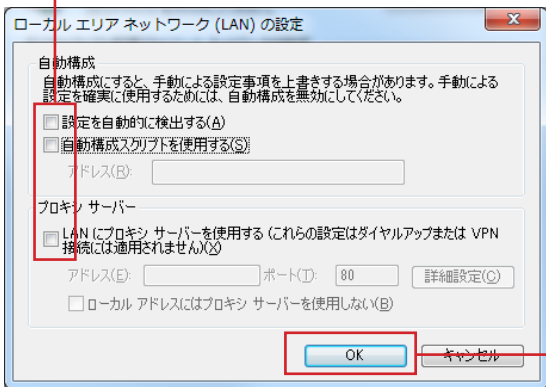
2  ① [接続] タブをクリック



① [接続] タブをクリック

② [LANの設定] ボタンをクリック

3 ①すべてのチェックを外す [OK] をクリック



② [OK] をクリック

4 [OK] をクリックし、画面を閉じる

▼ Mac OS場合

1 [アップルメニュー] → [ネットワーク環境 (場所)] → [ネットワーク環境設定] の順にクリック

2 ① [プロキシ] タブをクリックし、[Webプロキシ (HTTP)] のチェックを外す

② [今すぐ適用] ボタンをクリック

3 画面左上の [×] をクリックし、画面を閉じる

対処 Mac OSの場合、PPPoE設定を無効にしてください。

- 1 [アップルメニュー] → [ネットワーク環境 (場所)] → [ネットワーク環境設定] → [TCP/IP] の順にクリックし、[DHCPサーバを参照] を選択
- 2 [PPPoE] タブをクリックし、[PPPoEを使って接続] のチェックを外す

対処 PPPoEの広域帯を使用している場合は、削除 (無効に) してください。

▼ Windows XPの場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] の順にクリックし、[広域帯] を削除

▼ Mac OS X 10.4場合

[アップルメニュー] → [ネットワーク環境 (場所)] → [ネットワーク環境設定] → [PPPoE] タブの順にクリックし、[PPPoEを使って接続する] のチェックを外し、[今すぐ適用] をクリック

▼ Mac OS X 10.5場合

[アップルメニュー] → [ネットワーク環境 (場所)] → [ネットワーク環境設定] の順にクリックし、[接続解除] ボタンをクリック

Q パスワードを忘れてしまった

対処 出荷時、ログイン名、パスワードは空欄 (設定なし) に設定されています。また、パスワードには大文字/小文字の区別があります。

パスワードを忘れてしまった場合は、本製品を出荷時設定に戻してください。

(リセットすると、そのほかの設定もすべて出荷時設定に戻ります。再度設定し直してください。)

▶ 「出荷時設定に戻す方法」79 ページ参照

その他のトラブル

Q 本製品に接続するパソコンを追加したい

対処 「Step2 無線LANの接続設定をする」12 ページを参照し、接続してください。

Q ネットワークゲームやサーバー公開をしたい

対処 「ポートの開放手順」73 ページを参照し、設定をおこなってください。

Q ファイルやプリンターを共有したい

対処 本製品でインターネット接続ができているパソコン同士であれば、OS側で共有設定すれば、ファイルやプリンター共有をおこなうことができます。

※ 以下の手順で設定がうまくいかない場合は、ご使用のOSサポートメーカーやパソコンメーカーに設定をご相談ください。

※ なお、ファイアウォール関連のアプリケーションをご利用の場合は、以下の設定をおこなう前に、パソコンにインストールされているファイアウォール機能を動作しない状態に設定変更してください。

また、Windows XPに搭載されているファイアウォール機能いったん無効にしてください。

ネットワークの接続確認

▼ Windows 8/7/Vistaの場合

- 1 Windows 8の場合：チャームバーから [検索] → [コントロールパネル] → [ネットワークの状態とタスクの表示]の順にクリックします。
Windows 7/Vistaの場合：[スタート]→[コントロールパネル]（→[ネットワークとインターネット]）→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。
※ アイコン表示の場合は、[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]をクリックします。
- 2 左側メニューの[アダプターの設定の変更]（[ネットワーク接続の管理]）をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続]([ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 4 [ユーザーアカウント制御]が表示されますので、[続行]をクリックします。
- 5 [ローカルエリア接続のプロパティ]（[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]）にて、[接続の方法]にパソコンにセットアップされているLANアダプターのデバイス名が表示されているかを確認します。
また、「この接続は次の項目を使用します。」のところで、下記のものすべて登録されているかを確認します。
 - ・ Microsoftネットワーク用クライアント
 - ・ Microsoftネットワーク用ファイルとプリンターの共有
 - ・ インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)
- 6 コンピューター名とワークグループ名の設定を確認します。
 - ① [スタート]メニューから[コンピューター]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
※ Windows 8の場合は、チャームバーから [検索] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [システム] の順にクリックします。
 - ② 表示された画面で、[コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定]欄の右側にある[設定と (の) 変更]をクリックします。
 - ③ [ユーザーアカウント制御]が表示されますので、[続行]をクリックします。
 - ④ システムのプロパティが表示されますので、画面の右下の「変更」ボタンをクリックします。
 - ⑤ [フルコンピューター名]と[ワークグループ名]を半角英数字で設定します。
※ フルコンピューター名は他のパソコンと重複しないように設定します。
※ ワークグループ名は他のパソコンと統一しておく必要があります。

以上でパソコン間のネットワークの設定は完了です。

次にファイルまたはプリンターの共有設定をおこないます。次ページへお進みください。

▼ Windows XPの場合

- 1 [スタート]→[マイネットワーク]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 2 [ローカルエリア接続]([ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続のプロパティ]([ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ])にて、[接続の方法]にパソコンにセットアップされているLANアダプターのデバイス名が表示されているかを確認します。
また、「この接続は次の項目を使用します。」のところで、下記のものすべてが登録されているかを確認します。
 - ・ Microsoftネットワーク用クライアント
 - ・ Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタの共有
 - ・ インターネットプロトコル (TCP/IP)
- 4 コンピューター名とワークグループ名の設定を確認します。
 - ①[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
 - ②[システムのプロパティ]画面が表示されますので、[コンピュータ名]タブをクリックします。
 - ③[変更]ボタンをクリックし、[フルコンピュータ名]と[ワークグループ名]を半角英数字で設定します。
 - ※ フルコンピュータ名は他のパソコンと重複しないように設定します。
 - ※ ワークグループ名は他のパソコンと統一しておく必要があります。

以上でパソコン間のネットワークの設定は完了です。

次にファイルまたはプリンターの共有設定をおこないます。下記、または次ページへお進みください。

ファイルを共有する場合

▼ Windows 8/7/Vistaの場合

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]項目内の[ファイルの共有の設定]または[ホームグループと共有に関するオプションの選択]を開きます。
※ Windows 8の場合は、チャームバーから [検索] → [コントロールパネル] →[ネットワークとインターネット]項目内の [ホームグループと共有に関するオプションの選択] の順にクリックします。
※ アイコン表示の場合は、[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]をクリックします。
- 2 [ネットワーク探索]、[ファイル共有]、[プリンタ共有]をそれぞれ[有効]にします。
- 3 [コンピューター]や[エクスプローラ]で共有したいファイルやフォルダを右クリックして、[共有]を選択します。
- 4 [共有を行う人々を選んでください。]でアクセスを許可するユーザーを選択して、[共有]ボタンをクリックします。
⇒ アイコンに人の絵のマークがついたら、共有設定は完了です。他のパソコンから[ネットワークコンピューター]や[マイネットワーク]で共有ファイルやフォルダを設定したコンピューター名を開くと、そのファイルやフォルダが見えるようになります。

▼ Windows XPの場合

- 1 [マイコンピュータ]や[エクスプローラ]で共有したいファイルやフォルダを右クリックして、[共有]を選択します。
- 2 [共有する]にチェックして、[OK]ボタンをクリックします。
⇒ アイコンに手のマークがついたら、共有設定は完了です。他のパソコンから[ネットワークコンピューター]や[マイネットワーク]で共有ファイルやフォルダを設定したコンピューター名を開くと、そのファイルやフォルダが見えるようになります。

プリンターを共有する場合

▼ Windows 8/7の場合

- 1 [はじめに、共有プリンターを接続しているパソコン側の設定をします。
スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
※ Windows 8の場合は、チャームバーから [検索] → [コントロールパネル] → [デバイスとプリンターの表示] の順にクリックします。
- 2 共有させたいプリンターのアイコンを右クリックし、 [プリンターのプロパティ] をクリックします。
- 3 [共有]タブをクリックし、 [このプリンタを共有する] にチェックをつけます。
- 4 次に、共有プリンターを使用するパソコン側の設定をします。
使用するプリンターのドライバーをインストールします。
- 5 インストール時に [ネットワークプリンタ] を選択して、インストールをおこないます。
以上で、プリンターの共有設定は完了です。

▼ Windows Vista/XPの場合

- 1 はじめに、共有プリンターを接続しているパソコン側の設定をします。
スタートメニューから [デバイスとプリンター] (または [プリンタとFAX]) をクリックします。
- 2 共有させたいプリンターのアイコンを右クリックし、 [プロパティ] をクリックします。
- 3 [共有]タブをクリックし、 [このプリンタを共有する] にチェックをつけます。
- 4 次に、共有プリンターを使用するパソコン側の設定をします。
使用するプリンターのドライバーをインストールします。
- 5 インストール時に [ネットワークプリンタ] を選択して、インストールをおこないます。
以上で、プリンターの共有設定は完了です。

Q パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい

対処 ご利用のOSにより設定方法が異なります。

▼ Windows 8/7の場合

- 1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。
- 2 [スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックします。
※ Windows 8の場合は、チャームバーから [検索] → [コントロールパネル] → [ネットワークの状態とタスクの表示] の順にクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続] をクリックします。
- 4 [プロパティ] をクリックします。
- 5 [ユーザーアカウント制御] が表示されますので、 [続行] をクリックします。
- 6 [接続の方法] にLANアダプターの名称が表示されていることを確認します。
- 7 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] をクリックし、 [プロパティ] をクリックします。
- 8 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] にチェックして、 [OK] ボタンをクリックします。

9 元の画面に戻ります。 [OK]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

▼ Windows Vistaの場合

1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。

2 [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

3 [ネットワークと共有センター]が開きますので、左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックします。

4 [ローカルエリア接続(もしくは、[ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

5 [ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、[続行]をクリックします。

6 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

7 [IPアドレスを自動的に取得する]と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] にチェックして、 [OK] ボタンをクリックします。

8 元の画面に戻ります。 [OK]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

▼ Windows XPの場合

1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。

2 [スタート]→[コントロールパネル] (→[ネットワークとインターネット接続]) →[ネットワーク接続] の順にクリックします。

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、メニュー内の [プロパティ] をクリックします。

無線LANアダプターから設定している場合は、 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックし、メニュー内の [プロパティ] をクリックします。

4 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] をクリックし、 [プロパティ] ボタンをクリックします。

5 [IPアドレスを自動的に取得する]と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] にチェックして、 [OK] ボタンをクリックします。

6 元の画面に戻ります。 [OK]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

▼ Mac OSの場合

1 アップルメニューより [場所] → [ネットワーク環境設定] の順にクリックします。

2 ネットワーク環境設定をします。

①[表示]で、ご使用のLANアダプター (内蔵Ethernetなど) を選びます。

②[TCP/IP]をクリックします。

③[設定]で[DHCPサーバーを参照]を選びます。

④[今すぐ適用]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Q パソコンのIPアドレスを手動設定(固定設定) にしたい

対処 ご利用のOSにより設定方法が異なります。

▼ Windows 8/7の場合

- 1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。
 - 2 [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。
※ Windows 8の場合は、チャームバーから [検索] → [コントロールパネル] → 「ネットワークの状態とタスクの表示」の順にクリックします。
 - 3 [ローカルエリア接続] をクリックします。
 - 4 [プロパティ] をクリックします。
 - 5 [ユーザーアカウント制御] が表示されますので、[続行] をクリックします。
 - 6 [接続の方法] にLANアダプターの名称が表示されていることを確認します。
 - 7 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] をクリックし、[プロパティ] をクリックします。
 - 8 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ] 画面で [次のIPアドレスを使う] にチェックを入れ、IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定します。
- | | |
|-------------|--|
| IPアドレス | ルーターに接続可能なIPアドレスを設定します。
ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、192.168.0.xxx
(xxxが他のパソコンやネットワーク機器と重複しない数値で、ルーターがDHCPサーバーになっている場合やネットワーク上に別途DHCPサーバーがある場合は、DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲と重複しない値を設定してください。) |
| サブネット マスク | 255.255.255.0 を設定します。 |
| デフォルトゲートウェイ | ルーターのIPアドレスを指定します。
(例：ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する) |
- 9 [次のDNSサーバーのアドレスを使う] にチェックを付けて、[優先DNSサーバー] にルーターのIPアドレスを入力します。(例：ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)
 - 10 入力後、[OK]ボタンをクリックし、ウインドウを閉じます。

以上で設定は完了です。

▼ Windows Vistaの場合

- 1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。
- 3 [ネットワークと共有センター]が開きますので、左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックします。
- 4 [ローカルエリア接続(もしくは、[ワイヤレスネットワーク接続])]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 5 [ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、[続行]をクリックします。
- 6 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

- 7** [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ] 画面で [次のIPアドレスを使う] にチェックを入れ、IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定します。

IPアドレス	ルーターに接続可能なIPアドレスを設定します。 ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、192.168.0.xxx (xxxが他のパソコンやネットワーク機器と重複しない数値で、ルーターがDHCPサーバーになっている場合やネットワーク上に別途DHCPサーバーがある場合は、DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲と重複しない値を設定してください。)
サブネット マスク	255.255.255.0 を設定します。
デフォルトゲートウェイ	ルーターのIPアドレスを指定します。 (例：ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)

- 8** [次のDNSサーバーのアドレスを使う] にチェックを付けて、[優先DNSサーバー] にルーターのIPアドレスを入力します。(例：ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)

- 9** 入力後、[OK]ボタンをクリックし、ウインドウを閉じます。

以上で設定は完了です。

▼ Windows XPの場合

- 1** コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。

- 2** [スタート]→[コントロールパネル] (→[ネットワークとインターネット接続]) →[ネットワーク接続] の順にクリックします。

- 3** [ローカルエリア接続] を右クリックし、メニュー内の [プロパティ] をクリックします。
無線LANアダプターから設定している場合は、[ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックし、メニュー内の [プロパティ] をクリックします。

- 4** [インターネットプロトコル (TCP/IP)] をクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックします。

- 5** [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] にチェックして、[OK] ボタンをクリックします。

IPアドレス	ルーターに接続可能なIPアドレスを設定します。 ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、192.168.0.xxx (xxxが他のパソコンやネットワーク機器と重複しない数値で、ルーターがDHCPサーバーになっている場合やネットワーク上に別途DHCPサーバーがある場合は、DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲と重複しない値を設定してください。)
サブネット マスク	255.255.255.0 を設定します。
デフォルトゲートウェイ	ルーターのIPアドレスを指定します。 (例：ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)

- 6** [次のDNSサーバーのアドレスを使う] にチェックを付けて、[優先DNSサーバー] にルーターのIPアドレスを入力します。(例：ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)

- 7** 入力後、[OK]ボタンをクリックし、ウインドウを閉じます。

以上で設定は完了です。

▼ Mac OSの場合

- 1** アップルメニューより [場所] → [ネットワーク環境設定] の順にクリックします。

2

ネットワーク環境設定をします。

- ① [表示] で、ご使用のLANアダプター（内蔵Ethernetなど）を選びます。
- ② [IPv4を設定]（[設定]）で [手入力] を選択します。
- ③ IPアドレス・サブネットマスク・ルーター・DNSサーバーの設定をします。

IPアドレス	ルーターに接続可能なIPアドレスを設定します。 ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、192.168.0.xxx (xxxが他のパソコンやネットワーク機器と重複しない数値で、ルーターがDHCPサーバーになっている場合やネットワーク上に別途DHCPサーバーがある場合は、DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲と重複しない値を設定してください。)
サブネット マスク	255.255.255.0 を設定します。
デフォルトゲートウェイ	ルーターのIPアドレスを指定します。 (例：ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)

- ④ [今すぐ適用] をクリックします。

以上で設定は完了です。

アフターサービスについて

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**



「困ったときには」を参照 (101 ページ)



弊社サポートページのQ&Aを参照

➔ <http://www.iodata.jp/support/>



最新のソフトウェアをダウンロード

➔ <http://www.iodata.jp/lib>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3014

※受付時間 9:00~17:00 月~日曜日 (年末年始・夏期休業期間をのぞく)

FAX：076-260-3360

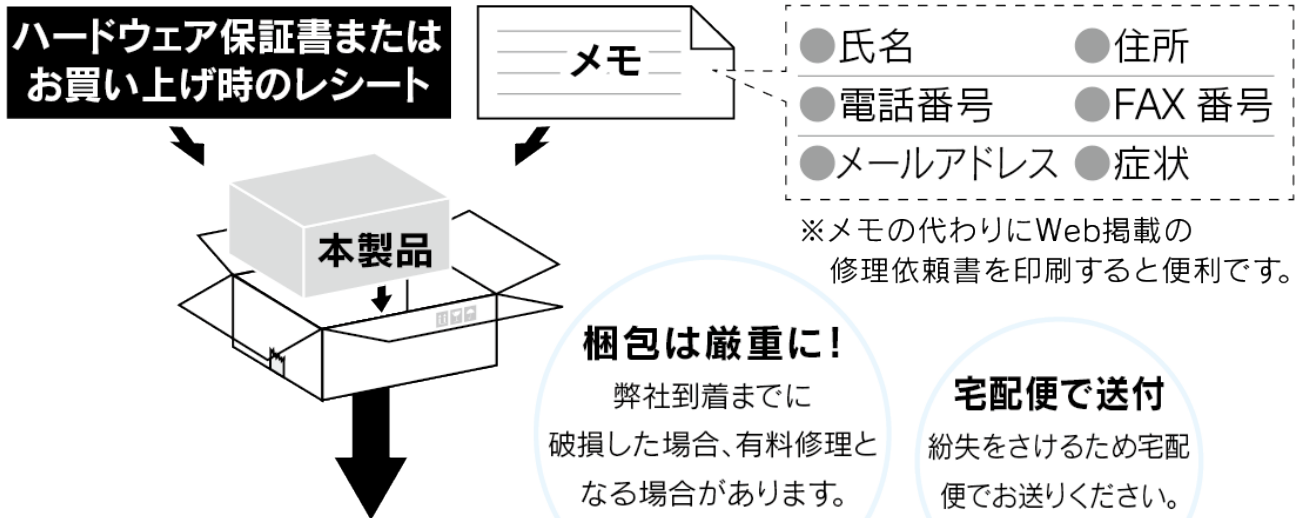
インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

<ご用意いただく情報>

製品情報 (製品名、シリアル番号など)、パソコンや接続機器の情報 (型番、OSなど)

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただきます。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料) 金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… <http://www.iodata.jp/support/after/>

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より12ヶ月、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 1) レシートや納品書に記載されたご購入日から12ヶ月の保証期間が経過した場合
- 2) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 3) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 4) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 5) 取扱説明書等に記載の使用法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 6) 合理的使用法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 7) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 8) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 9) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 10) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provide s the service under this warranty only in Japan.

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【使用ソフトウェアについて】

本製品には、MIT License、BSD License、Apache License と GNU General Public License Version 2.0 June 1991 に基づいたソフトウェアが含まれています。変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【商標について】

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- iPhone、iPad、iPod touch、App Store は Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- QR コード® は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- “N-Mark” ロゴは、NFC Forum, Inc. の商標あるいは登録商標です。
- 「PlayStation」、「PS3」、「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標、および商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**
ホームページ <http://www.iodata.jp/>